

「介護保険制度における居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の利用者および利用者の家族等に対する実態調査」

（家族等調査）

とりまとめ報告書

令和6（2024）年3月

一般財団法人 長寿社会開発センター

はじめに

介護保険制度は、制度創設以来23年を経過し、利用者の生活を支える上でなくてはならないものとして定着・発展している。

令和3年度介護保険事業状況報告（年報）によると、要介護（要支援）認定者数は、令和3年度末現在で690万人となっており、うち、第1号被保険者は677万人（男性211万人、女性465万人）、第2号被保険者は13万人（男性7万人、女性6万人）となっている。

なお、要介護（要支援）認定者数のうち、居宅介護（介護予防）サービス受給者数は、1か月あたり平均でみると、総数で405万となっており、約6割の方が、居宅サービスを利用しながら在宅で生活していることが推察される。

そこで、今回、介護保険制度における居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）を利用している「利用者の家族等」を対象に、介護保険制度および居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）に関しての負担感や充足感、要望などについての実態を把握することで、介護保険制度や居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）さらなる向上の一助となることを目的に調査を行った。

本調査結果は、

・「介護保険制度における居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）を利用している利用者の家族等」

に対し行った結果であるが、これとは別に、

・「介護保険制度における居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）を利用している利用者本人」

を対象に類似の調査を行っている。

詳細は、それぞれの報告書をご覧いただきたいが、介護保険制度や居宅サービスを利用する利用者・利用者の家族等、の貴重な回答となっているため、今後の支援やサービス提供の際の参考としてお読みいただきたい。

令和6（2024）年3月

一般財団法人 長寿社会開発センター

目 次

(1) 調査概要	1
1. 背景と目的	1
2. 実施方法等	1
1) 調査対象	1
2) 調査方法	1
3. 調査結果（総括）	2
 (2) 調査結果	 19
1. 調査協力者の同意等	19
2. 年齢	20
3. 性別	21
4. 主介護者として介護している人数	22
5. 介護協力者の人数	23
6. 仕事の有無	24
7. Q6で「仕事をしている」と回答した方の雇用形態	25
8. Q6で「仕事をしている」と回答した方の介護を契機とした仕事の変化	26
9. Q6で「仕事をしている」と回答した方の現在の職場における「仕事と介護の両立」のための会社独自の制度	27
10. 介護を契機とした、仕事以外での生活への影響	28
11. 被介護者との続柄	29
12. 被介護者の年齢	30
13. 被介護者の介護期間	31
14. 被介護者の要介護度	32
15. 被介護者との居住関係	35
16. 介護の負担感	36
17. 1週間の平均的な介護の頻度	39
18. 地域包括支援センターの認知度	40
19. 「地域包括支援センター」または「役所」への介護における相談の有無	41
20. Q19で「ある」と回答した方の相談時の満足度	42
21. Q20で「やや不満」「不満」と回答した理由	43
22. 被介護者がはじめて要介護認定申請を行った時の理由	44
23. 被介護者が要介護認定申請をはじめて行おうと思った際に、最初に相談をした人または機関	45
24. 被介護者の担当ケアマネジャーに対する満足度	47

25. Q24で「やや不満」「不満」と回答した理由	48
26. 被介護者が現在、利用している居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の種類	49
27. 被介護者が現在、利用したいと思っても利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の有無	50
28. Q27で「ある」と回答した理由	53
29. 被介護者に今後、生活を送ってもらいたい場所	54
30. 居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業等含む）選択等の主たる意思決定者	55
31. 被介護者に在宅生活を継続するうえで日常的に受けてもらいたいと思う支援	56
32. 被介護者が支払っている介護保険料の負担感	61
33. 被介護者が利用している居宅サービスの利用料金の負担感	63
34. 被介護者が利用している居宅サービスの充足感	68
35. 被介護者が利用している居宅サービスの利用のしやすさ	73
36. 介護保険制度に対する要望	75
37. 居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業等含む）に対する要望	77
(3) 調査票	79

(1) 調査概要

1. 背景と目的

介護保険制度は、制度創設以来23年を経過し、利用者の生活を支える上でなくてはならないものとして定着・発展している。

令和3年度介護保険事業状況報告（年報）によると、要介護（要支援）認定者数は、令和3年度末現在で690万人となっており、うち、第1号被保険者は677万人（男性211万人、女性465万人）、第2号被保険者は13万人（男性7万人、女性6万人）となっている。

なお、要介護（要支援）認定者数のうち、居宅介護（介護予防）サービス受給者数は、1か月あたり平均でみると、総数で405万となっており、約6割の方が、居宅サービスを利用しながら在宅で生活していることが推察される。

今回、介護保険制度における居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）を利用している「利用者の家族等」を対象に、介護保険制度および居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）に関する負担感や充足感、要望などについての実態を把握することで、介護保険制度や居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）さらなる向上の一助となることを目的に調査を行った。

2. 実施方法等

1) 調査対象

以下の全てに該当する者。

- ・ 調査実施期間中に調査会社に登録しており、要介護（要支援）認定を受けている家族等の介護を主に行っている18歳以上の者（同居、別居の別は問わない）。
- ・ 介護保険制度における居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）を利用している家族等を介護している者。
- ・ 本調査に関し、調査協力者自身の同意が得られる者。
- ・ 回答後の同意の撤回は難しいことにも承諾いただける者。

2) 調査方法

- ・ Web会社に登録している調査対象者を対象に、Web調査で実施。
- ・ 調査期間は、令和5（2023）年9月12日～9月14日
- ・ 有効回答数1132件（回答数1157）

3. 調査結果（総括）

○ 年齢・性別

回答者の年齢は、「50代」（37.1％）が多く、次いで「60代」（29.8％）、「40代」（18.0％）であった。「40～60代」で約8割を占めていた。

性別は「男性」が54.9％、「女性」が44.9％であった。〔設問2～3〕

○ 被介護者との続柄

被介護者との続柄については、「親」（75.4％）が多く、次いで「義理の親」（9.6％）、「配偶者」（7.7％）であった。〔設問11〕

○ 主介護者として介護している人数および介護協力者の人数

主介護者として介護を担っている人数は、「1人」が88.2％、次いで「2人」が11.0％であった。「3人以上」の回答も0.8％みられた。

介護協力者は「1人」が41.7％、次いで「介護協力者はいない」が25.6％であった。〔設問4～5〕

図表1 主介護者として介護している人数

	N	%
1人	<u>998</u>	<u>88.2%</u>
2人	125	11.0%
3人	7	0.6%
4人	1	0.1%
5人以上	1	0.1%
合計	1132	100.0%

図表2 介護協力者の人数

	N	%
1人	<u>472</u>	<u>41.7%</u>
2人	236	20.8%
3人	95	8.4%
4人	17	1.5%
5人以上	22	1.9%
介護協力者はいない	290	25.6%
合計	1132	100.0%

○ 仕事の有無・雇用形態等

回答者の仕事の有無については、「仕事をしている」が約6割で、仕事をしている方の雇用形態は「正社員」が60.3%であった。

なお、「仕事をしている」と回答した方で、介護を契機として仕事に変化があったか回答してもらったところ「変化なし」（49.8%）が多く、次いで「転職はしなかったが、仕事の負担を減らしてもらった」（18.0%）、「仕事と介護の両立が可能な仕事に転職した」（15.5%）であった。〔設問6～8〕

図表3 仕事の有無

	N	%
仕事をしている	<u>717</u>	<u>63.3%</u>
仕事はしていない	415	36.7%
合計	1132	100.0%

図表4 介護を契機とした仕事の変化

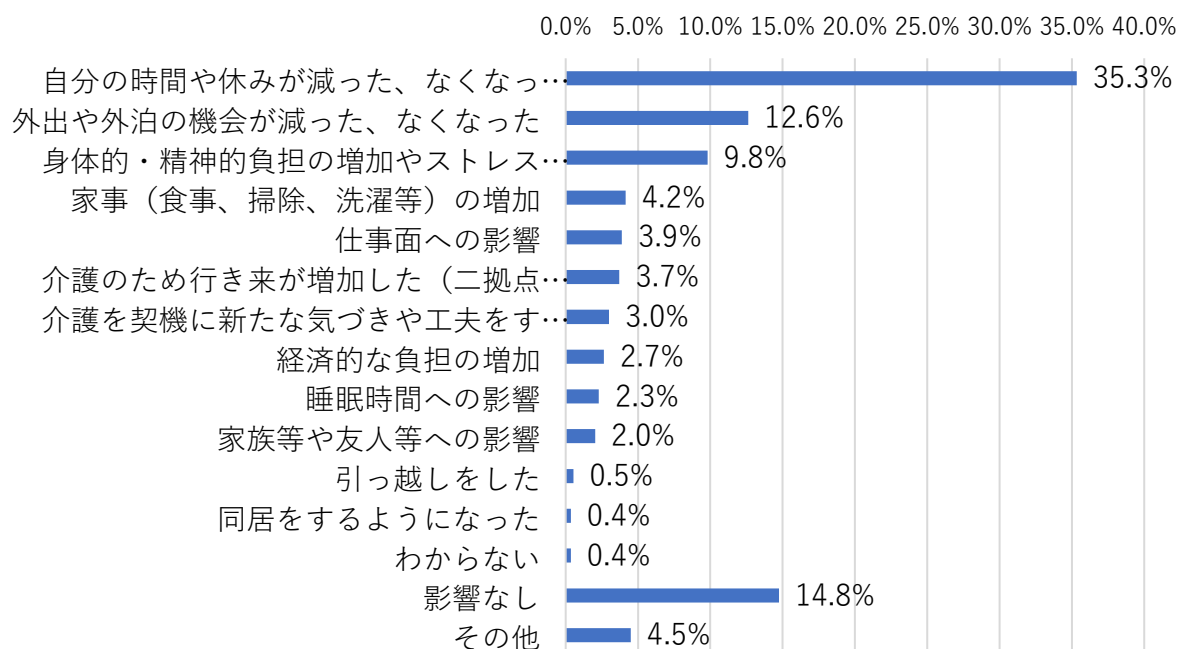
	N	%
変化は無し	<u>357</u>	<u>49.8%</u>
転職はしなかったが、仕事の負担を減らしてもらった	129	18.0%
仕事と介護の両立が可能な仕事に転職した	111	15.5%
育児・介護休業法に規定されている、仕事と介護の両立支援制度を活用することにより仕事を継続した	107	14.9%
その他	13	1.8%
合計	717	100.0%

○ 介護を契機とした、生活への影響

介護を契機とした生活への影響（自由記述）を類型化してみると、「自分の時間や休みが減った、なくなった（時間の拘束や制限等や介護中心の生活等も含む）」

（35.3%）が多く、次いで「影響なし」（14.8%）、「外出や外泊の機会が減った、なくなった」（12.6%）であった。〔設問10〕

図表5 介護を契機とした、仕事以外での生活への影響



○ 被介護者の介護期間・要介護度

被介護者の介護期間は、「1～3年未満」が36.3%、次いで「3～5年未満」が24.8%であった。

要介護度は、「要介護2」が25.8%、次いで「要介護1」が24.1%で「要介護1～2」が約5割を占めていた。

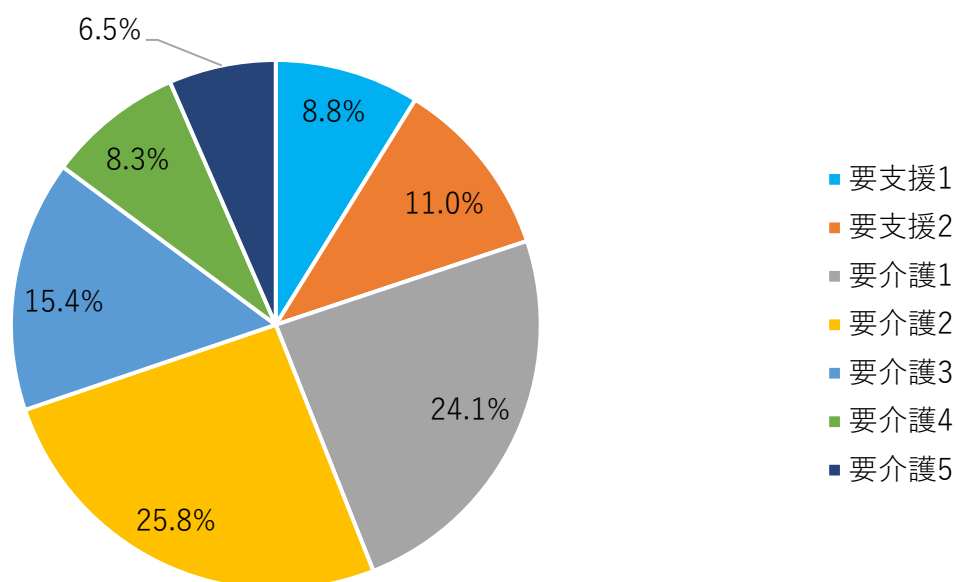
また、「利用料金の負担感」や「サービスの充足感」を介護期間別でみると、「利用料金の負担感」ではいずれの介護期間においても、「大きい」（3年未満：52.0%、3～7年未満：52.7%、7年以上：56.5%）が50%以上で占める割合が大きかった。

「サービスの充足感」では、いずれの介護期間においても「まあまあ足りている」「十分足りている」の計が50%前後で占める割合が大きいが、「やや不足している」「とても不足している」の計の割合もいずれの介護期間において約15～25%みられた。
[設問13～14]

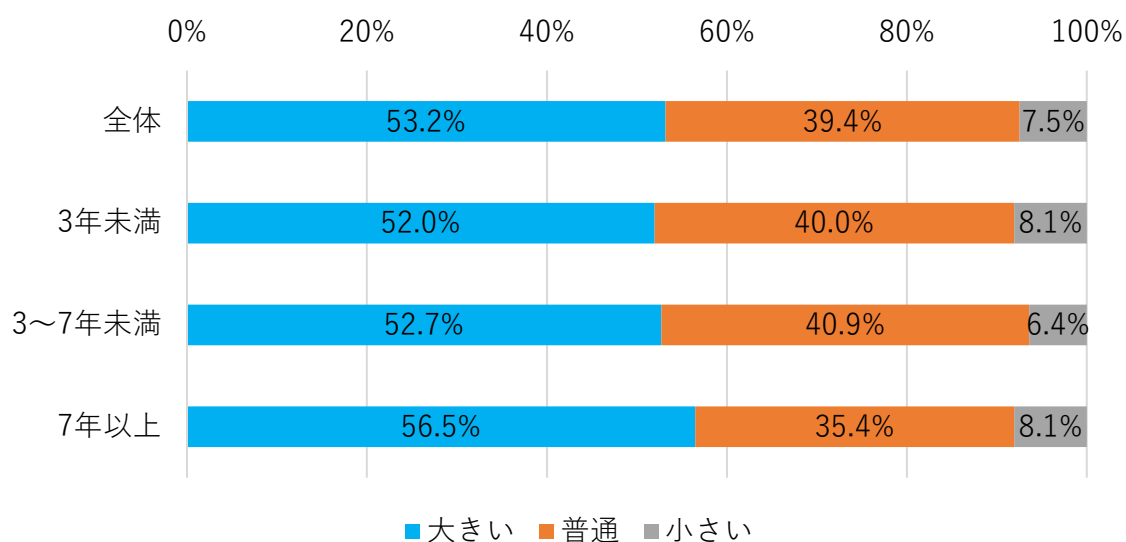
図表6 介護期間

	N	%
1年未満	65	5.7%
1年～3年未満	<u>411</u>	<u>36.3%</u>
3年～5年未満	281	24.8%
5年～7年未満	145	12.8%
7年以上	230	20.3%
合計	1132	100.0%

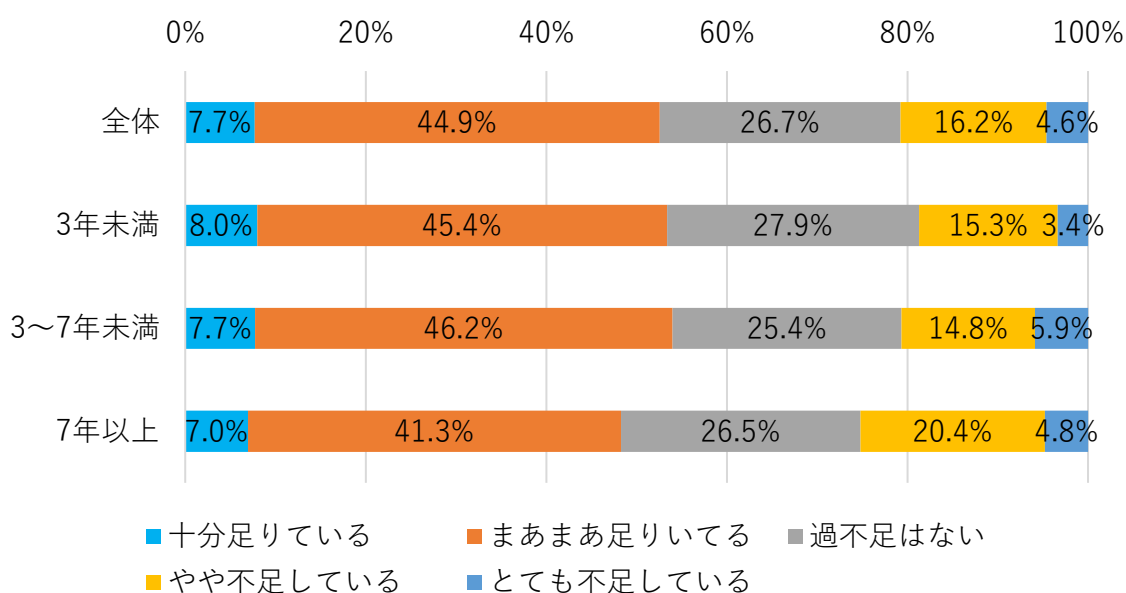
図表7 被介護者の要介護度



図表8 Q13「家族等の介護期間」×Q33「利用料金の負担感」(N=1087) ※Q33「利用料金の負担感」の選択肢「わからない」のN45は除く



図表9 Q13「家族等の介護期間」×Q34「サービスの充足感」(N=1132)



○ 介護の負担感・1週間の平均的な介護の頻度

介護の負担感は、「負担を感じる」が52.1%、次いで「負担を大いに感じる」が25.8%であり、「負担を感じる」「負担を大いに感じる」は約8割を占めている。

また、1週間の平均的な介護の頻度については、「ほぼ毎日」が約6割を占めている。
[設問16～17]

図表10 介護の負担感

	N	%
負担を大いに感じる	292	25.8%
負担を感じる	<u>590</u>	<u>52.1%</u>
負担は少ない	231	20.4%
負担は感じない	19	1.7%
合計	1132	100.0%

図表11 1週間の平均的な介護の頻度

	N	%
ほぼ毎日	<u>705</u>	<u>62.3%</u>
週に3～5日程度	216	19.1%
週に1～2日程度	139	12.3%
週に1日未満	72	6.4%
合計	1132	100.0%

○ 地域包括支援センターの認知度

地域包括支援センターの認知度については、「知っている」が85.9%であった。[設問18]

図表12 地域包括支援センターの認知度

	N	%
知っている	<u>972</u>	<u>85.9%</u>
知らない	160	14.1%
合計	1132	100.0%

○ 「地域包括支援センター」または「役所」に介護に関する相談の有無等

地域包括支援センターまたは役所に相談を行った事が「ある」が68.7%であった。

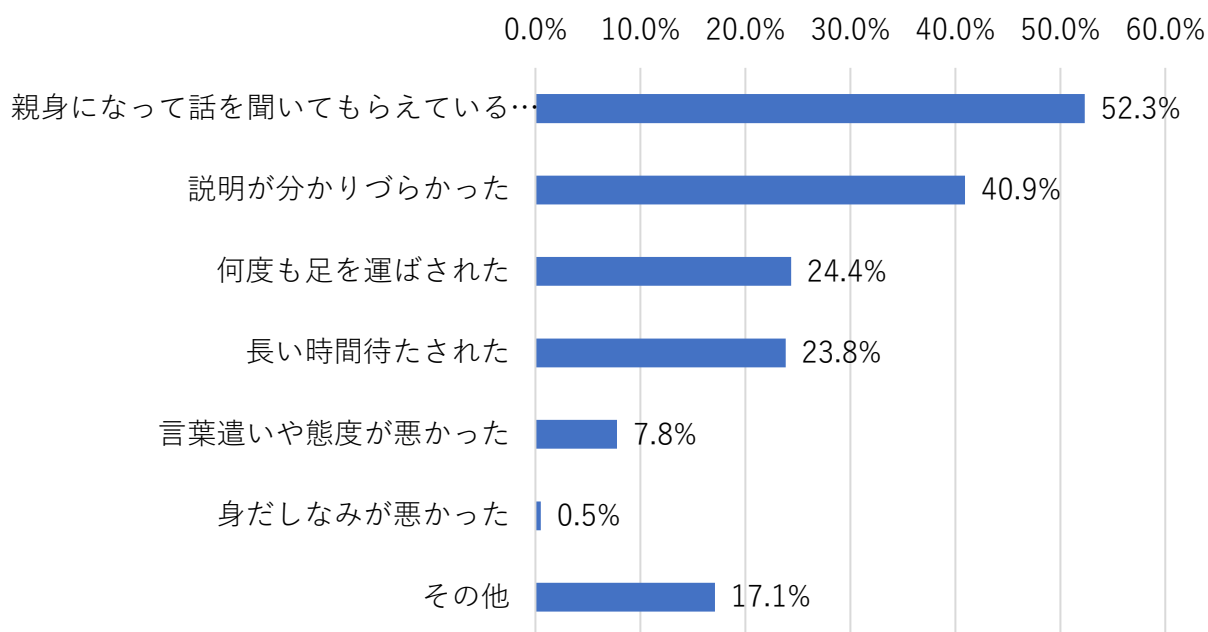
相談時の満足度については、「ほぼ満足」「満足」が75.2%、次いで「やや不満」「不満」が24.9%であった。

なお、「やや不満」「不満」の理由としては「親身になって話を聞いてもらえていないと思えなかった」(52.3%)が多く、次いで「説明が分かりづらかった」(40.9%)であった。〔設問19～21〕

図表13 相談時の満足度

	N	%
満足	117	15.0%
ほぼ満足	468	60.2%
やや不満	135	17.4%
不満	58	7.5%
合計	778	100.0%

図表14 「やや不満」「不満」と回答した理由



○ 被介護者の担当ケアマネジャーに対する満足度

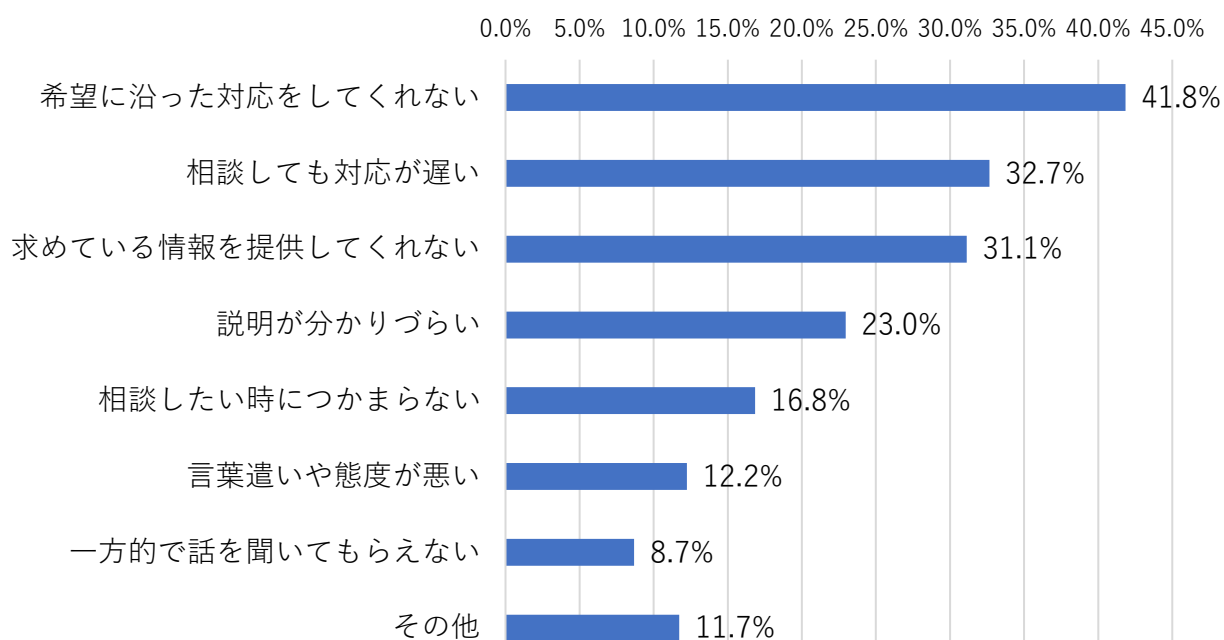
担当ケアマネジャーの満足度は、「ほぼ満足」「満足」が82.6%、「やや不満」「不満」が17.3%であった。

なお、「やや不満」「不満」の理由としては「希望に沿った対応をしてくれない」(41.8%)が多く、次いで「相談しても対応が遅い」(32.7%)、「求めている情報を提供してくれない」(31.1%)であった。〔設問24～25〕

図表15 担当ケアマネジャーに対する満足度

	N	%
満足	296	26.1%
ほぼ満足	640	56.5%
やや不満	146	12.9%
不満	50	4.4%
合計	1132	100.0%

図表16 「やや不満」「不満」と回答した理由



○ 被介護者が利用したいと思っても利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無等

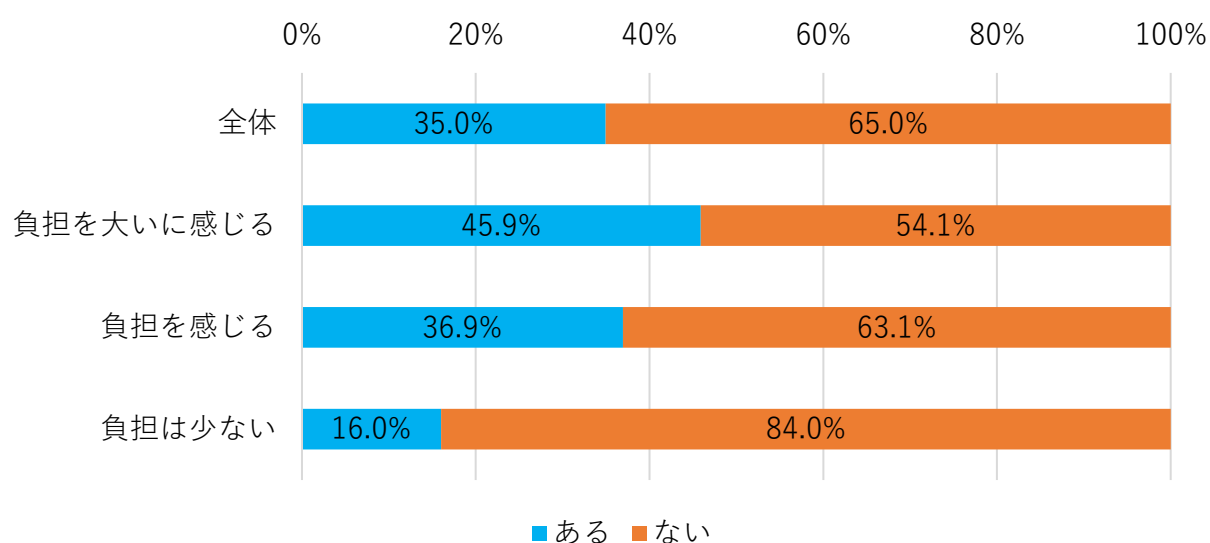
利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無については、「ある」が34.7%であった。「ある」と回答した方の内、利用に至らなかった理由としては「金銭的理由」（42.0%）が多く、次いで「本人がサービスを拒否した」（33.6%）、「利用したい時間に使えないから」（24.7%）であった。

なお、利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無を介護負担感別でみると、いずれの介護負担感の程度においても「ない」が50%以上で占める割合が大きかった。「負担を大いに感じる」場合でも、「ない」の回答が54.1%と約半数を超えていることから、現状の介護保険制度内のサービスだけでは解決できない、介護の負担が推察される。〔設問27～28〕

図表17 利用できなかった、もっと利用してほしかった居宅サービスの有無

	N	%
ある	393	34.7%
ない	739	65.3%
合計	1132	100.0%

図表18 Q16「あなたの介護負担感」×Q27「利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無」（N=1113）※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く



○ 被介護者に今後、生活を送ってほしい場所

今後、生活を送ってほしい場所は、「今いる自宅で最期まで生活を送ってほしい」が43.9%、次いで「特別養護老人ホームなどの施設で生活を送ってほしい」が23.9%であった。〔設問29〕

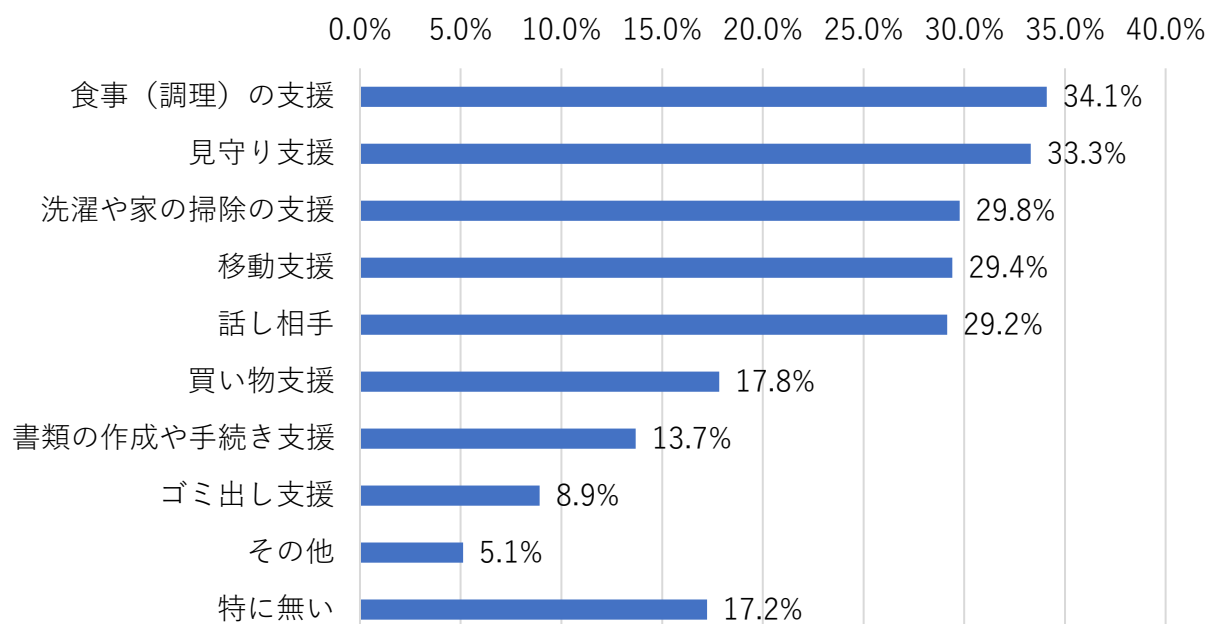
図表19 今後、生活を送ってほしい場所

	N	%
今いる自宅で最期まで生活を送ってほしい	497	43.9%
特別養護老人ホームなどの施設で生活を送ってほしい	270	23.9%
わからない	212	18.7%
ケアハウスや高齢者住宅などで生活を送ってほしい	153	13.5%
合計	1132	100.0%

○ 被介護者が在宅生活を継続するうえで日常的に受けてもらいたいと思う支援

在宅生活を継続するうえで日常的に受けてもらいたいと思う支援は、「食事（調理）の支援」（34.1%）が多く、次いで「見守り支援」（33.3%）、「洗濯や家の掃除の支援」（29.8%）、「移動支援」（29.4%）、「話し相手」（29.2%）であった。〔設問31〕

図表20 在宅生活を継続するうえで日常的に受けてもらいたいと思う支援



○ 被介護者が支払っている介護保険料の負担感

介護保険料の負担感を「やや大きい・大きい」、「普通」、「やや小さい・小さい」の3類型に着目してみると、「やや大きい・大きい」が51.1%、次いで「普通」が37.0%であった。

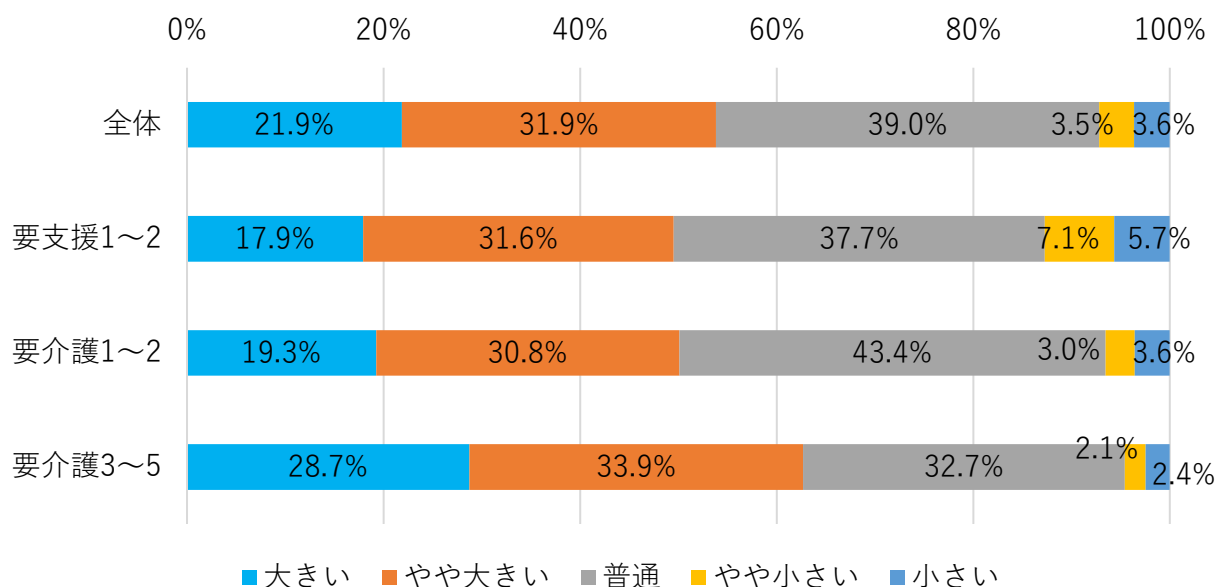
なお、介護保険料の負担感を要介護度別でみると、いずれの要介護度においても「やや大きい」「大きい」（要支援1～2：49.5%、要介護1～2：50.1%、要介護3～5：62.6%）の計が約50%以上で占める割合が大きかった。〔設問32〕

図表21 介護保険料の負担感

	N	%
大きい	235	20.8%
やや大きい	343	30.3%
普通	<u>419</u>	<u>37.0%</u>
やや小さい	38	3.4%
小さい	39	3.4%
わからない	58	5.1%
合計	1132	100.0%

図表22 Q14「要介護度」×Q32「介護保険料の負担感」（N=1074）

※Q32「介護保険料の負担感」の選択肢「わからない」のN58は除く



○ 居宅サービスの利用料金の負担感

利用料金の負担感を「やや大きい・大きい」、「普通」、「やや小さい・小さい」の3類型に着目してみると、「やや大きい・大きい」が51.1%、次いで「普通」が37.8%であった。

なお、利用料金の負担感を「要介護度別」や「介護負担感別」でみたところ、「要介護度」では、いずれの要介護度においても「大きい」（要支援1～2：45.7%、要介護1～2：48.5%、要介護3～5：65.6%）に類する回答が約50%以上で占める割合が大きかった。

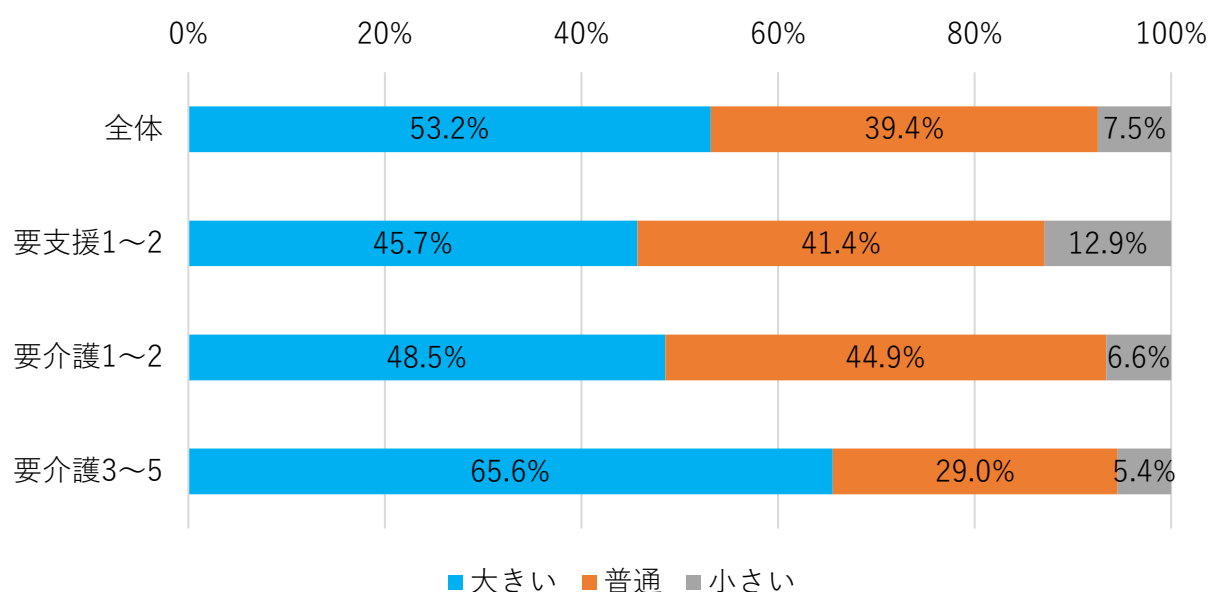
「介護負担感別」では、「負担を大いに感じる」と「負担を感じる」では「大きい」が、「負担は少ない」では「普通」が占める割合が大きかった。〔設問33〕

図表23 利用料金の負担感

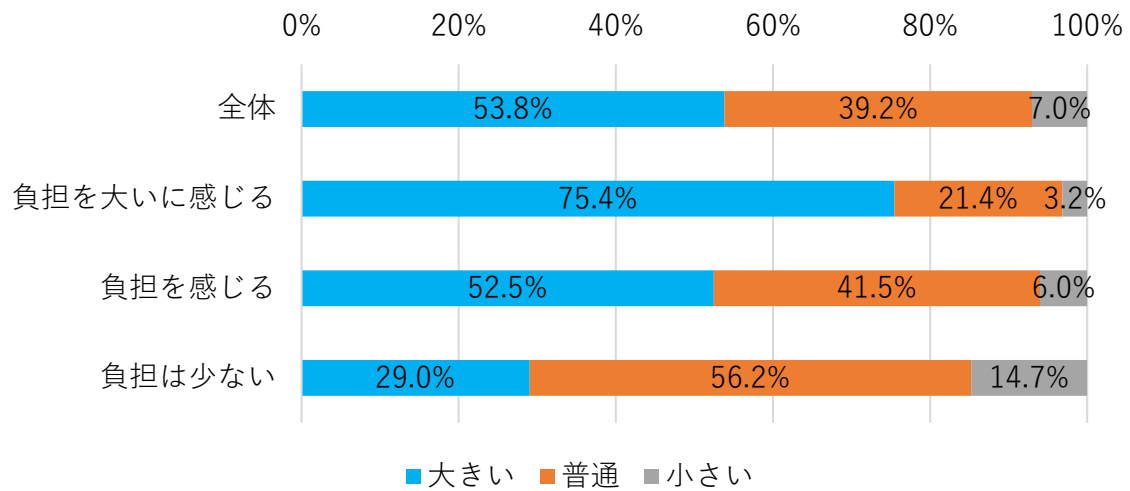
	N	%
大きい	234	20.7%
やや大きい	344	30.4%
普通	428	37.8%
やや小さい	33	2.9%
小さい	48	4.2%
わからない	45	4.0%
合計	1132	100.0%

図表24 Q14「要介護度」×Q33「利用料金の負担感」（N=1087）

※Q33「利用料金の負担感」の選択肢「わからない」のN45は除く



図表25 Q16「あなたの介護負担感」×Q33「利用料金の負担感」
 (N=1070) ※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19を除いたN1113より、Q33「利用料金の負担感」の選択肢「わからない」のN43は除く



○ 居宅サービスの充足感

サービスの充足感を、「まあまあ足りている・十分足りている」、「過不足はない」、「やや不足している・とても不足している」の3類型に着目してみると、「まあまあ足りている・十分足りている」が52.6%、次いで「過不足はない」が26.7%であった。

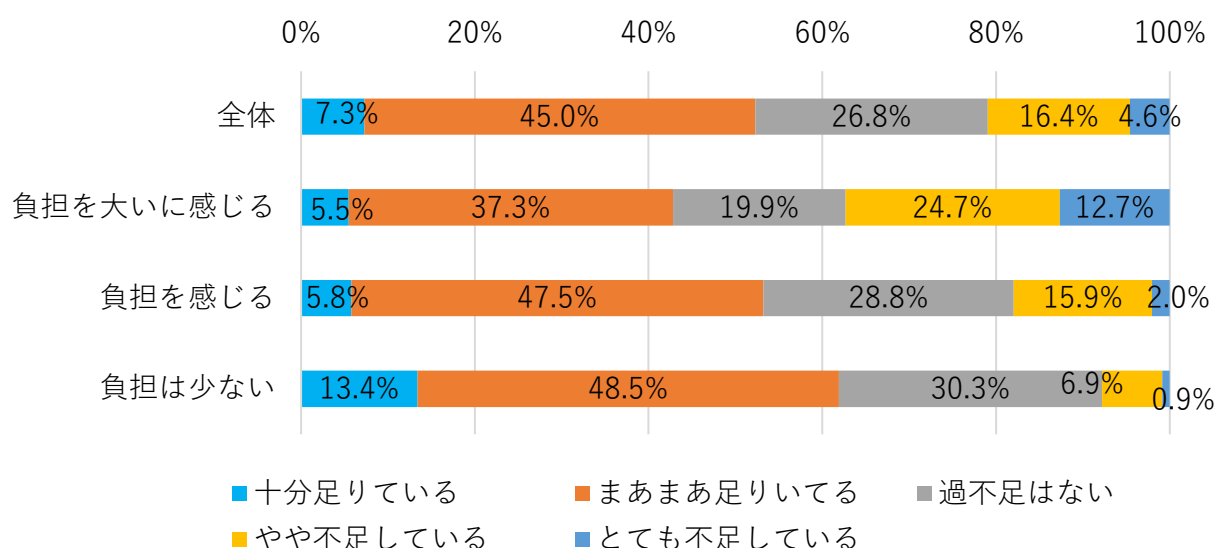
なお、サービスの充足感を介護負担感別でみると、いずれの介護負担感の程度においても「まあまあ足りている・十分足りている」（負担を大いに感じる：42.8%、負担を感じる：53.3%、負担は少ない：61.9%）が40%以上で占める割合が大きかった。

「負担を大いに感じる」では「やや不足している・とても不足している」の割合が37.4%みられた。〔設問34〕

図表26 サービスの充足感

	N	%
十分足りている	87	7.7%
まあまあ足りている	508	44.9%
過不足はない	302	26.7%
やや不足している	183	16.2%
とても不足している	52	4.6%
合計	1132	100.0%

図表27 Q16「あなたの介護負担感」×Q34「サービスの充足感」（N=1113）※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く



○ 居宅サービスの利用のしやすさ

利用のしやすさを、「まあまあ利用しやすい・利用しやすい」、「普通」、「やや利用しにくい・利用しにくい」の3類型に着目してみると、「まあまあ利用しやすい・利用しやすい」が59.0%、次いで「普通」が28.7%であった。

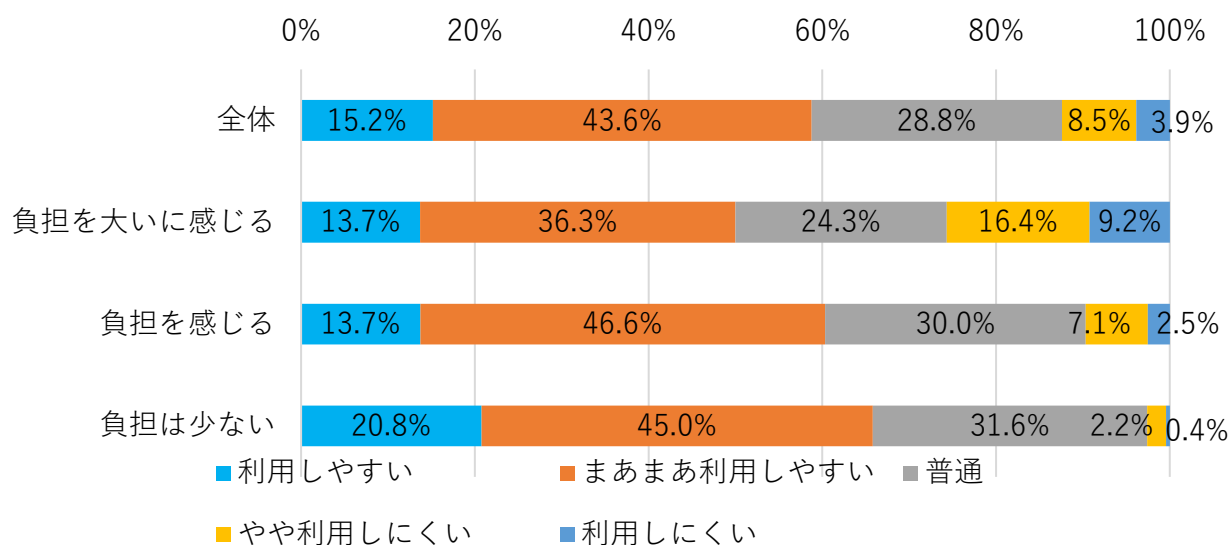
なお、利用のしやすさを介護負担感別でみると、いずれの介護負担感の程度においても「まあまあ利用しやすい・利用しやすい」（負担を大いに感じる：50.0%、負担を感じる：60.3%、負担は少ない：65.8%）が50%以上で占める割合が大きかった。

「負担を大いに感じる」では「やや利用しにくい・利用しにくい」の割合が25.6%みられた。〔設問35〕

図表28 サービスの利用のしやすさ

	N	%
利用しやすい	177	15.6%
まあまあ利用しやすい	491	43.4%
普通	325	28.7%
やや利用しにくい	95	8.4%
利用しにくい	44	3.9%
合計	1132	100.0%

図表29 Q16「あなたの介護負担感」×Q35「利用のしやすさ」（N＝1113）※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担を感じない」のN19は除く

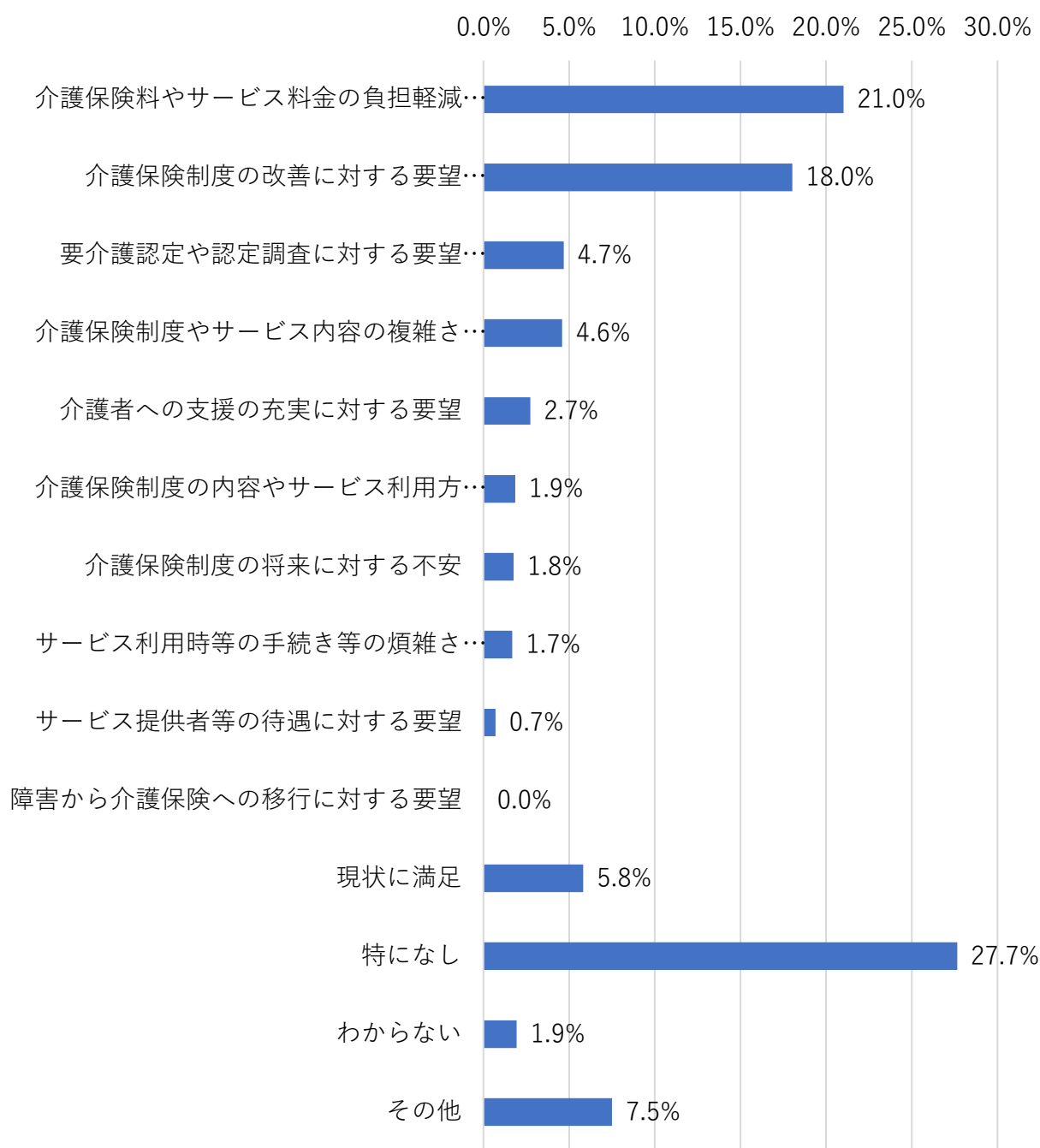


○ 介護保険制度に対する要望

介護保険制度に対する要望（自由記述）を類型化してみると、「介護保険料やサービス料金の負担軽減等に対する要望」が21.0%、次いで「介護保険制度の改善に対する要望（サービス利用時の制度上の制限やサービス提供内容、サービス量・質の充実等含む）」が18.0%、「要介護認定や認定調査に対する要望（認定時間がかかる、認定結果に不満等含む）」が4.7%、「介護保険制度やサービス内容の複雑さ分かりづらさに対する要望」が4.6%であった。

なお、「現状に満足」の回答も5.8%みられた。〔設問36〕

図表30 介護保険制度に対する要望

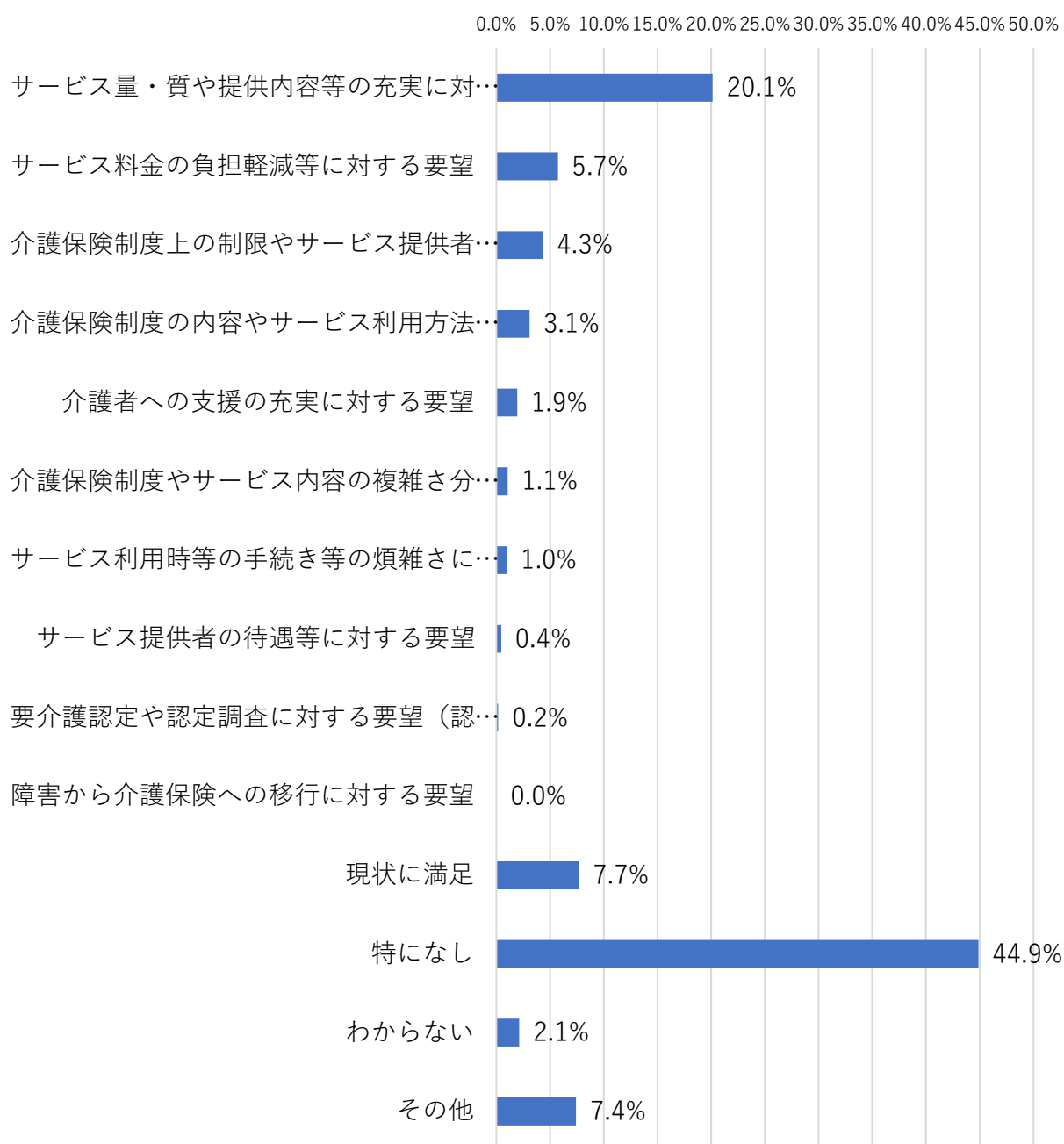


○ 居宅サービスに対する要望

居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）に対する要望（自由記述）を類型化してみると、「サービス量・質や提供内容等の充実に対する要望（利用時間や回数を増やしてほしい、新たなサービスがほしい等）」が20.1%、次いで「サービス料金の負担軽減等に対する要望」が5.7%、「介護保険制度上の制限やサービス提供者側の制限等に対する要望」が4.3%、「介護保険制度の内容やサービス利用方法等の情報提供や周知、説明に対する要望」が3.1%であった。

なお、「現状に満足」の回答も7.7%みられた。〔設問37〕

図表31 居宅サービスに対する要望

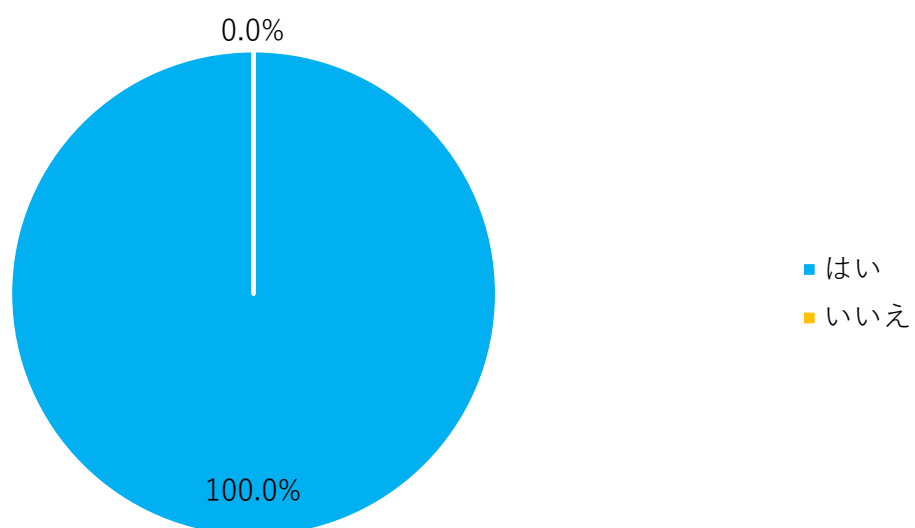


(2) 調査結果

Q1.この調査の説明を読んだ上で、調査に協力しますか。[SA] (N=1132)

	N	%
はい	1132	100.0%
いいえ	0	0.0%
合計	1132	100.0%

Q1.この調査の説明を読んだ上で、調査に協力しますか。[SA] (N=1132)

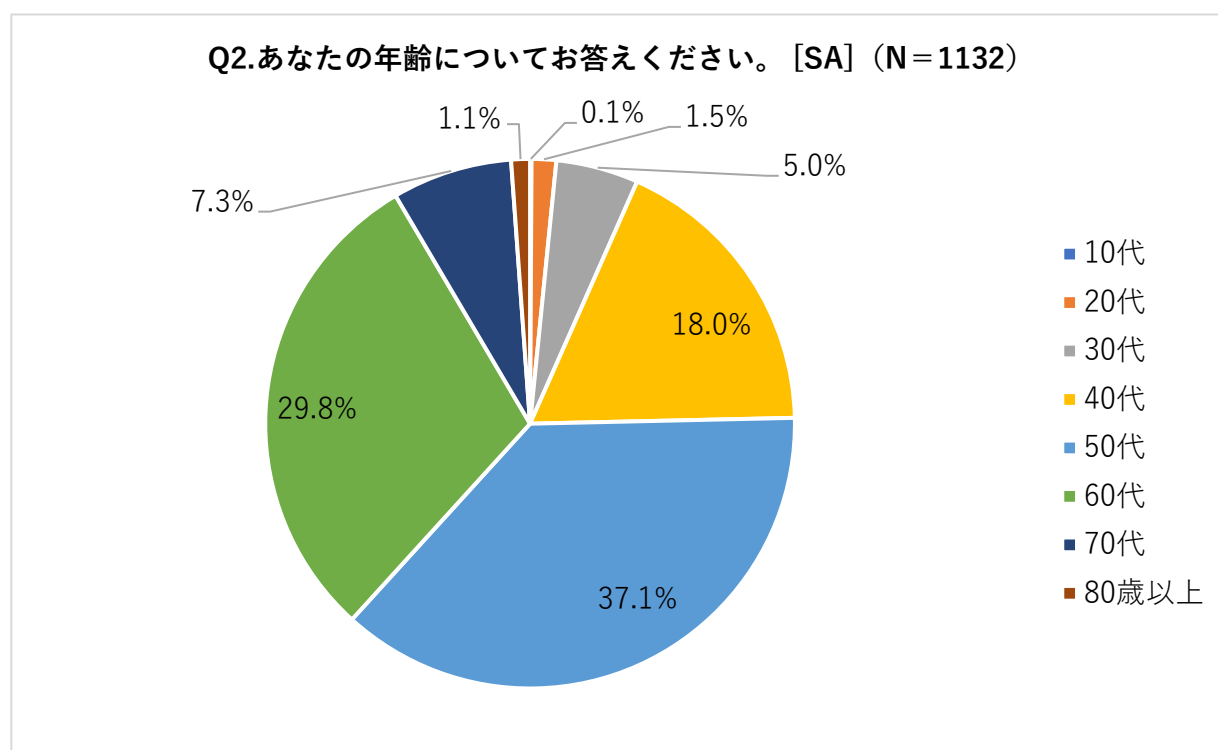


Q2.あなたの年齢についてお答えください。[SA] (N=1132)

回答者の年齢は、「50代」(37.1%)、次いで「60代」(29.8%)、「40代」(18.0%)の順に多い。

なお、「40～60代」で84.9%を占めている。

	N	%
10代	1	0.1%
20代	17	1.5%
30代	57	5.0%
40代	204	18.0%
50代	420	37.1%
60代	337	29.8%
70代	83	7.3%
80歳以上	13	1.1%
合計	1132	100.0%

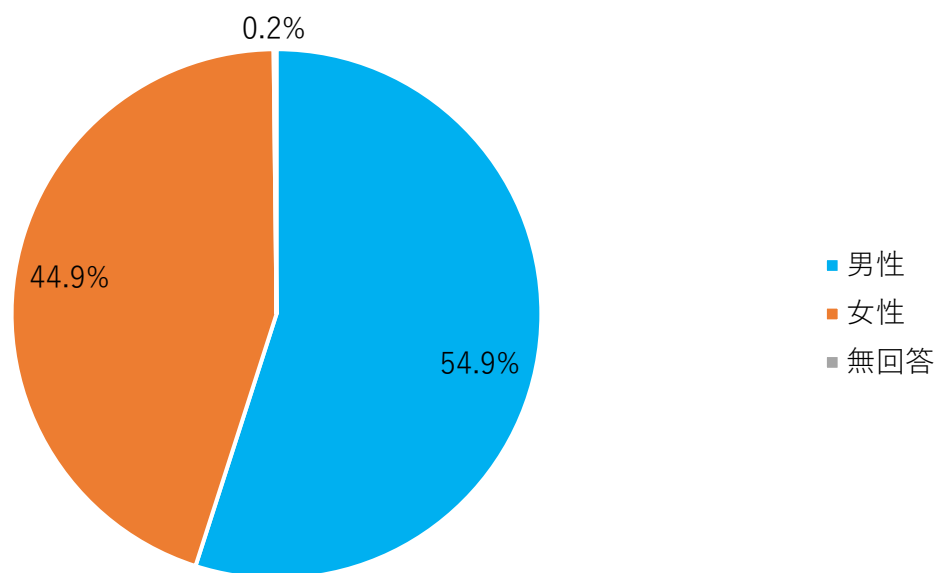


Q3.あなたの性別についてお答えください。 [SA] (N=1132)

回答者の性別は、「男性」が54.9%、「女性」が44.9%であった。

	N	%
男性	622	54.9%
女性	508	44.9%
無回答	2	0.2%
合計	1132	100.0%

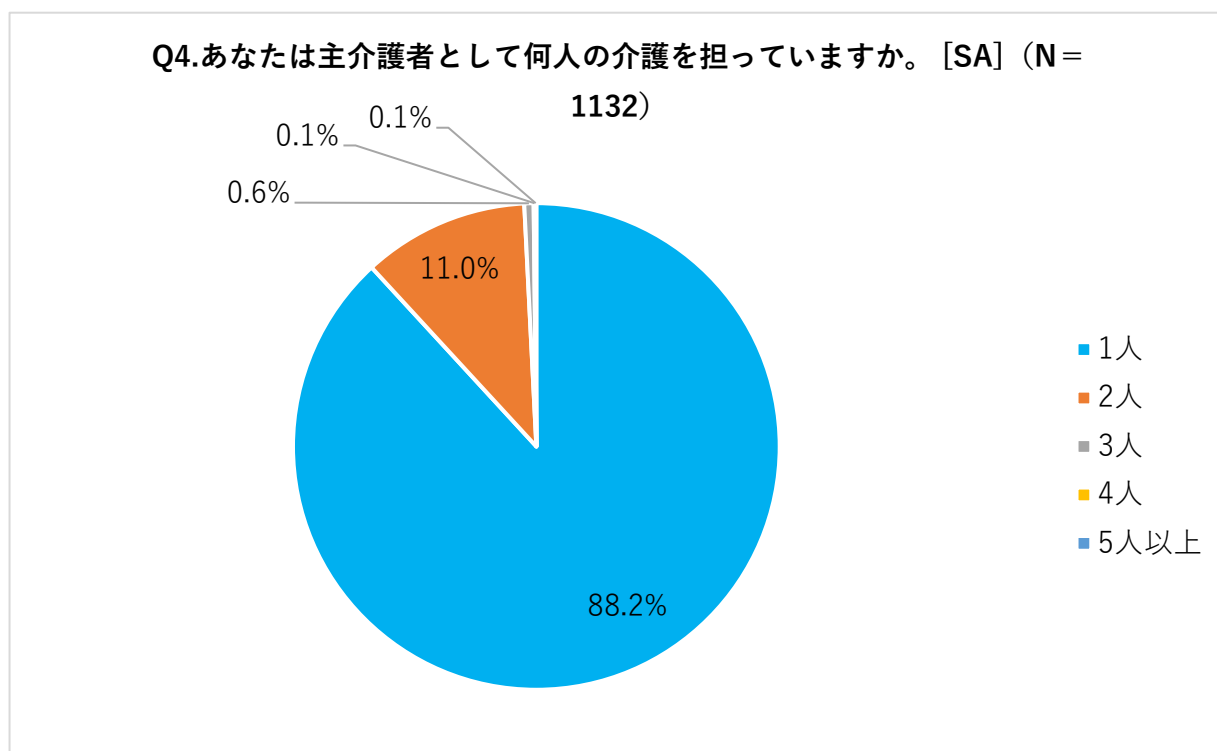
Q3.あなたの性別についてお答えください。 [SA] (N=1132)



Q4.あなたは主介護者として何人の介護を担っていますか。[SA] (N=1132)

主介護者として何人の介護を担っているかについては、「1人」(88.2%)、次いで「2人」(11.0%)、「3人」(0.6%)の順に多い。

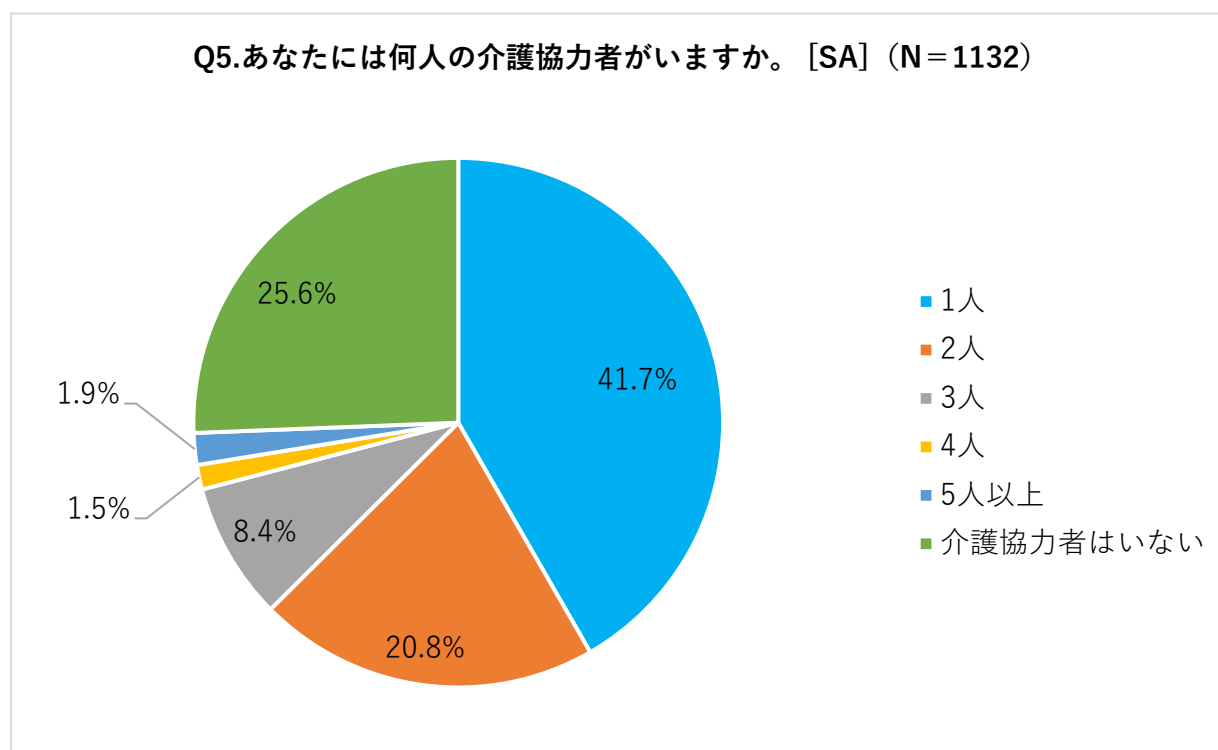
	N	%
1人	998	88.2%
2人	125	11.0%
3人	7	0.6%
4人	1	0.1%
5人以上	1	0.1%
合計	1132	100.0%



Q5.あなたには何人の介護協力者がいますか。[SA] (N=1132)

介護協力者については、「1人」(41.7%)、次いで「介護協力者はいない」(25.6%)、「2人」(20.8%)の順に多い。約4人に1人は、「介護協力者がいない」という結果であった。

	N	%
1人	472	41.7%
2人	236	20.8%
3人	95	8.4%
4人	17	1.5%
5人以上	22	1.9%
介護協力者はいない	290	25.6%
合計	1132	100.0%

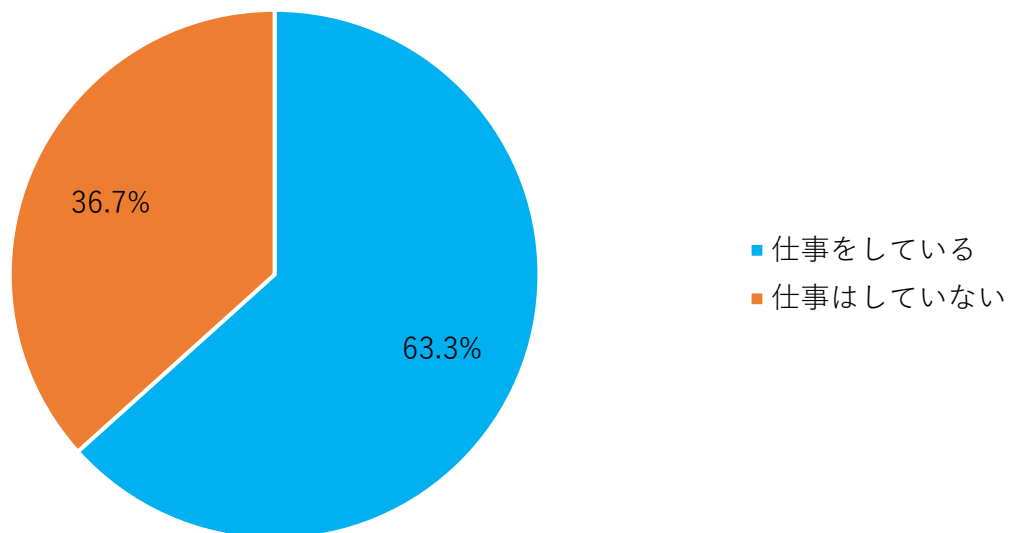


Q6.あなたは現在仕事をしていますか。[SA] (N=1132)

「仕事をしている」が63.3%であった。

	N	%
仕事をしている	717	63.3%
仕事はしていない	415	36.7%
合計	1132	100.0%

Q6.あなたは現在仕事をしていますか。[SA] (N=1132)



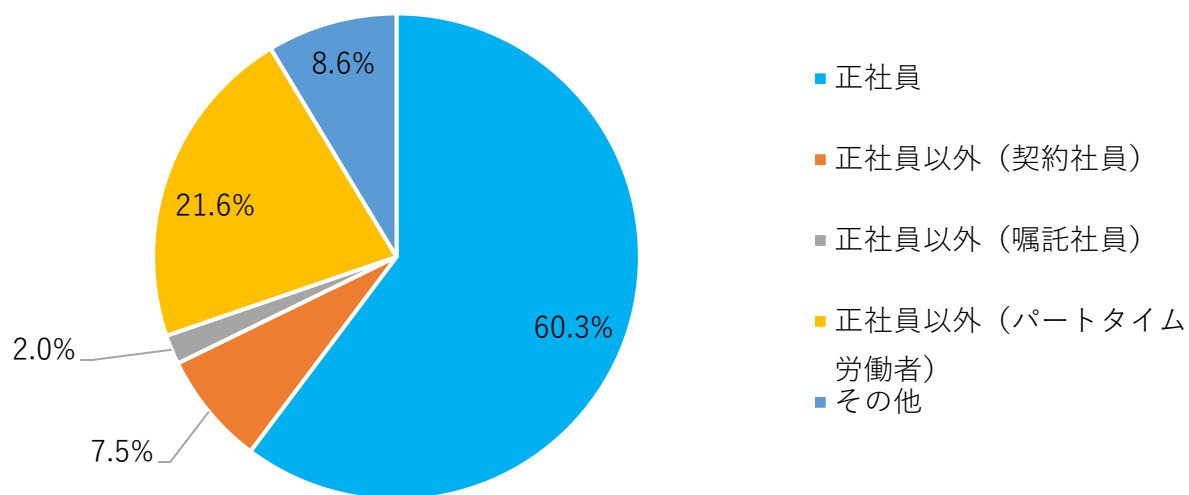
Q7.Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。雇用形態についてお答えください。
[SA] (N=717)

仕事をしている方の雇用形態については、「正社員」(60.3%)、次いで「正社員以外」(31.1%)、「その他」(8.6%)の順に多い。

「その他」(N=62)の記述をみると、「自営業(個人事業主・フリーランス含む)」(N=51)といった回答が多くみられた。

	N	%
正社員	432	60.3%
正社員以外(契約社員)	54	7.5%
正社員以外(嘱託社員)	14	2.0%
正社員以外(パートタイム労働者)	155	21.6%
その他	62	8.6%
合計	717	100.0%

Q7.Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。雇用形態についてお答えください。[SA] (N=717)

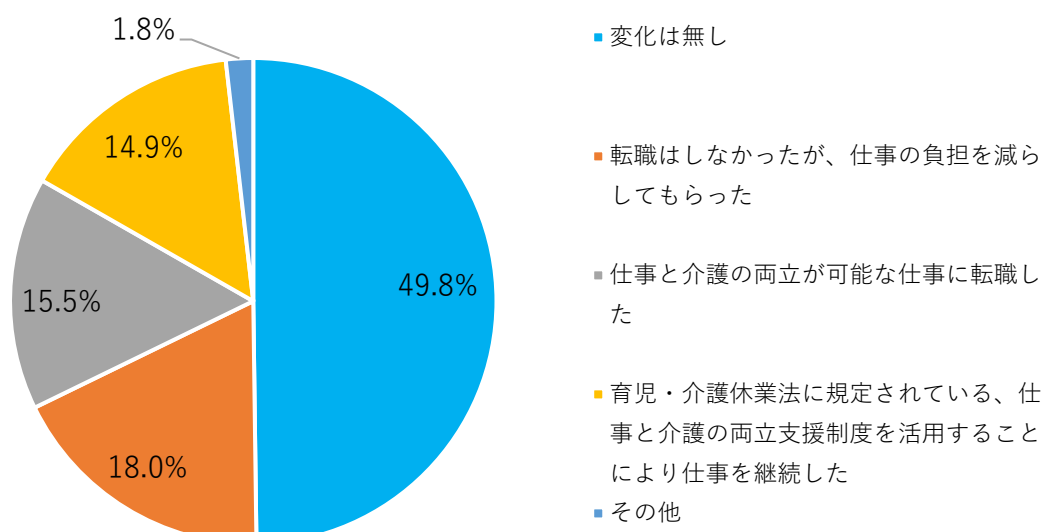


Q8.Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。介護を契機として、あなたの仕事に変化がありましたか。[SA] (N=717)

介護を契機として仕事に変化があったかについては、「変化は無し」(49.8%)、次いで「転職はしなかったが、仕事の負担を減らしてもらった」(18.0%)、「仕事と介護の両立が可能な仕事に転職した」(15.5%)の順に多い。

	N	%
変化は無し	357	49.8%
転職はしなかったが、仕事の負担を減らしてもらった	129	18.0%
仕事と介護の両立が可能な仕事に転職した	111	15.5%
育児・介護休業法に規定されている、仕事と介護の両立支援制度を活用することにより仕事を継続した	107	14.9%
その他	13	1.8%
合計	717	100.0%

Q8.Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。介護を契機として、あなたの仕事に変化がありましたか。[SA] (N=717)

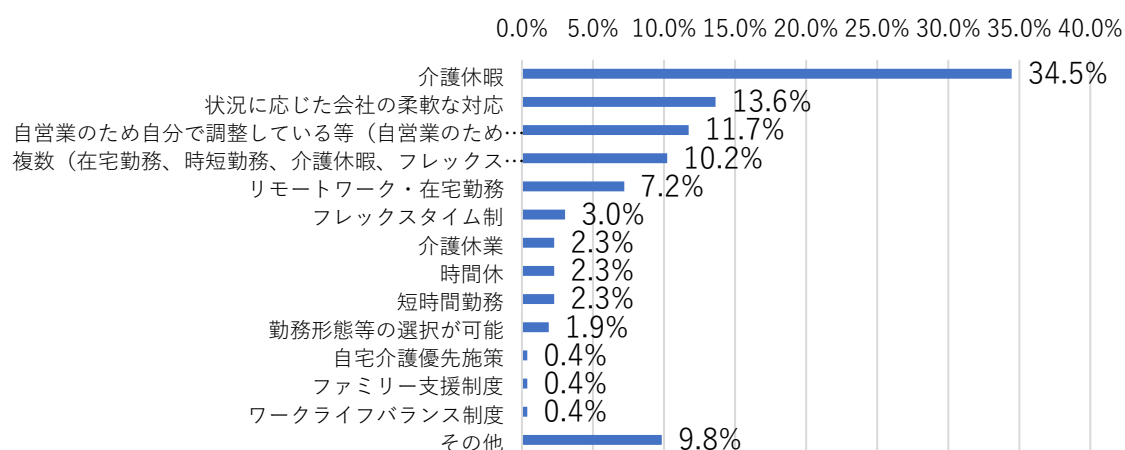


Q9.Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。現在勤務する職場において、「仕事と介護の両立」のために、会社独自の制度があればお答えください。[FA]任意（N＝264）

勤務する職場独自の制度（自由記述）を類型化してみると、「介護休暇」（34.5%）、次いで「状況に応じた会社の柔軟な対応」（13.6%）、「自営業のため自分で調整している等（自営業のため特にない等も含む）」（11.7%）の順に多い。

	N	%
介護休暇	91	34.5%
状況に応じた会社の柔軟な対応	36	13.6%
自営業のため自分で調整している等（自営業のため特にない等も含む）	31	11.7%
複数（在宅勤務、時短勤務、介護休暇、フレックスタイム制、金銭的な支援、等）	27	10.2%
リモートワーク・在宅勤務	19	7.2%
フレックスタイム制	8	3.0%
介護休業	6	2.3%
時間休	6	2.3%
短時間勤務	6	2.3%
勤務形態等の選択が可能	5	1.9%
自宅介護優先施策	1	0.4%
ファミリー支援制度	1	0.4%
ワークライフバランス制度	1	0.4%
その他	26	9.8%
合計	264	100.0%

Q9.Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。現在勤務する職場において、「仕事と介護の両立」のために、会社独自の制度があればお答えください。[FA]任意（N＝264）



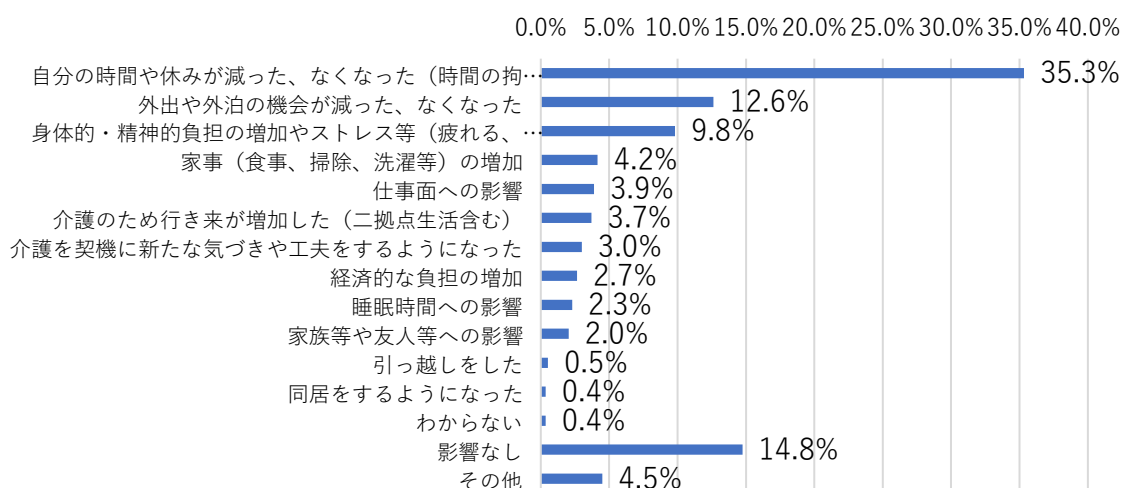
Q10.介護を契機として、仕事以外であなたの生活にはどのような影響がありましたか。[FA]
(N=1132)

介護を契機とした生活への影響（自由記述）を類型化してみると、「自分の時間や休みが減った、なくなった（時間の拘束や制限等や介護中心の生活等も含む）」（35.3%）、次いで「外出や外泊の機会が減った、なくなった」（12.6%）、「身体的・精神的負担の増加やストレス等（疲れる、大変、不安等も含む）」（9.8%）の順に多い。

なお、「影響なし」の回答も14.8%みられた。

	N	%
自分の時間や休みが減った、なくなった（時間の拘束や制限等や介護中心の生活等も含む）	400	35.3%
外出や外泊の機会が減った、なくなった	143	12.6%
身体的・精神的負担の増加やストレス等（疲れる、大変、不安等も含む）	111	9.8%
家事（食事、掃除、洗濯等）の増加	47	4.2%
仕事面への影響	44	3.9%
介護のため行き来が増加した（二拠点生活含む）	42	3.7%
介護を契機に新たな気づきや工夫をするようになった	34	3.0%
経済的な負担の増加	30	2.7%
睡眠時間への影響	26	2.3%
家族等や友人等への影響	23	2.0%
引っ越しをした	6	0.5%
同居をするようになった	4	0.4%
わからない	4	0.4%
影響なし	167	14.8%
その他	51	4.5%
合計	1132	100.0%

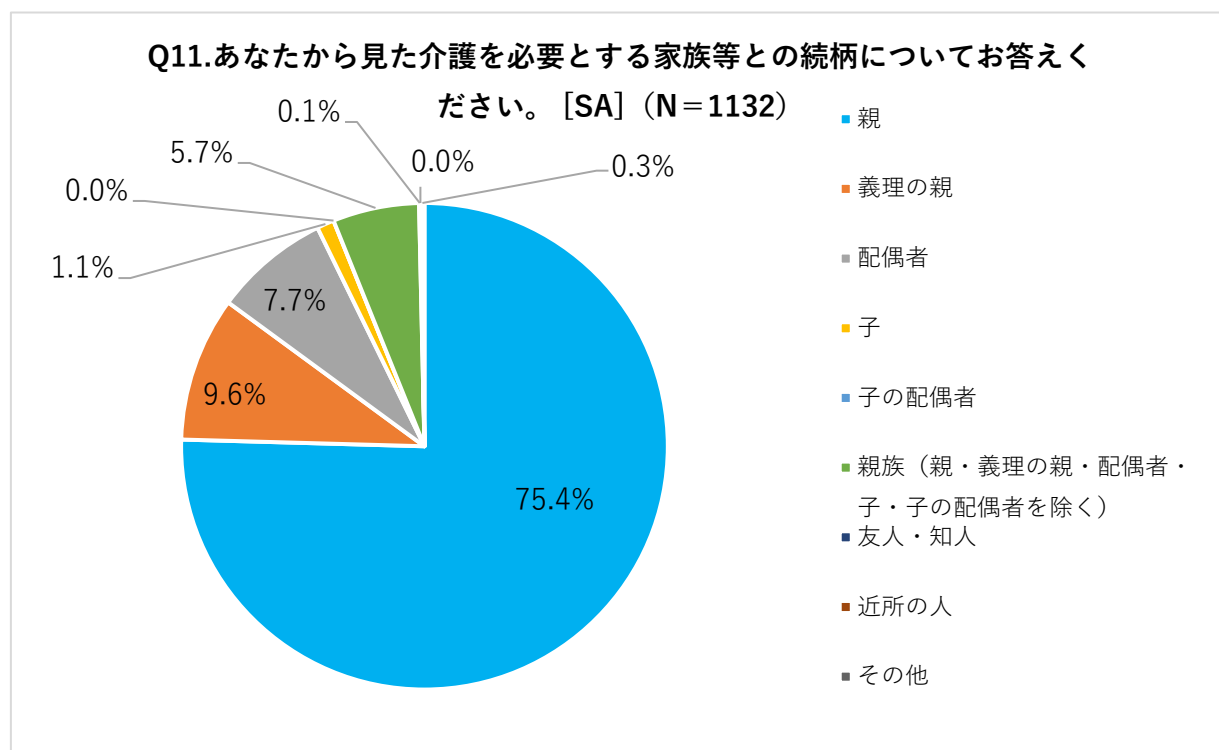
Q10.介護を契機として、仕事以外であなたの生活にはどのような影響がありましたか。[FA] (N=1132)



Q11.あなたから見た介護を必要とする家族等との続柄についてお答えください。[SA] (N=1132)

被介護者との続柄については、「親」(75.4%)、次いで「義理の親」(9.6%)、「配偶者」(7.7%)の順に多い。

	N	%
親	854	75.4%
義理の親	109	9.6%
配偶者	87	7.7%
子	13	1.1%
子の配偶者	0	0.0%
親族（親・義理の親・配偶者・子・子の配偶者を除く）	65	5.7%
友人・知人	1	0.1%
近所の人	0	0.0%
その他	3	0.3%
合計	1132	100.0%

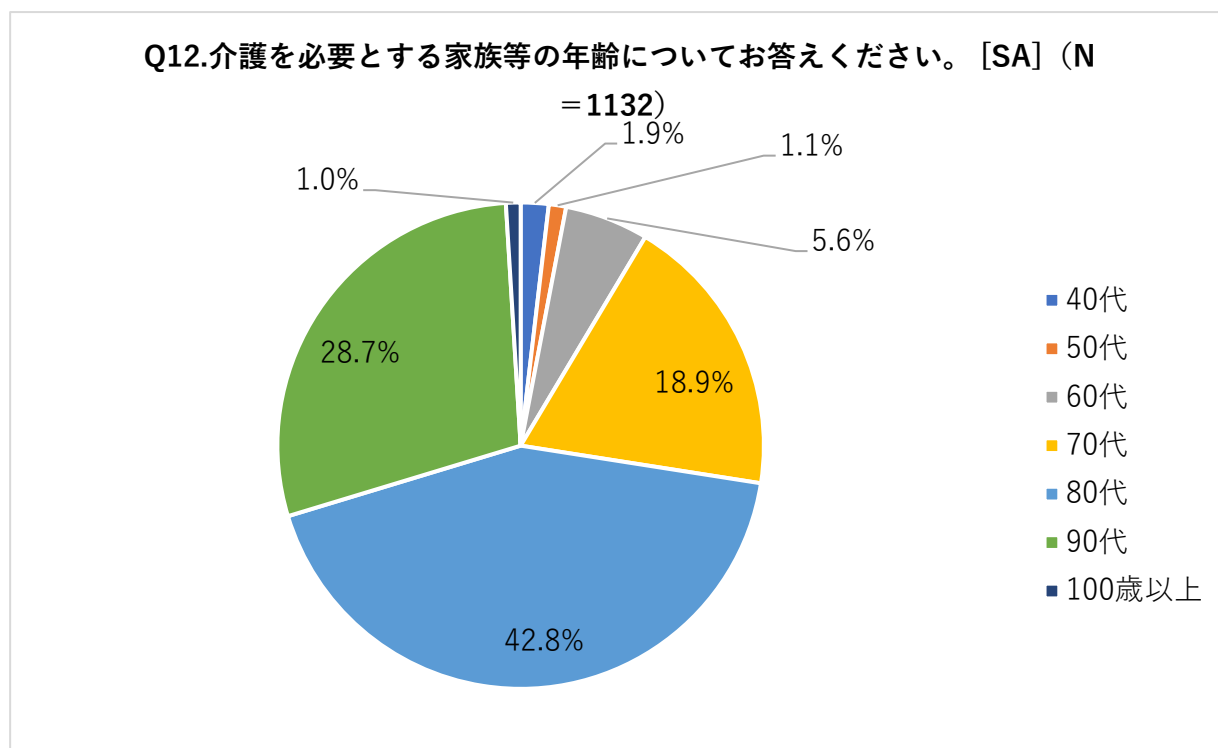


Q12.介護を必要とする家族等の年齢についてお答えください。[SA] (N=1132)

被介護者の年齢については、「80代」(42.8%)、次いで「90代」(28.7%)、「70代」(18.9%)の順に多い。

なお、「40～60代」が8.6%、「70～100歳以上」が91.4%を占めている。

	N	%
40代	21	1.9%
50代	13	1.1%
60代	63	5.6%
70代	214	18.9%
80代	485	42.8%
90代	325	28.7%
100歳以上	11	1.0%
合計	1132	100.0%

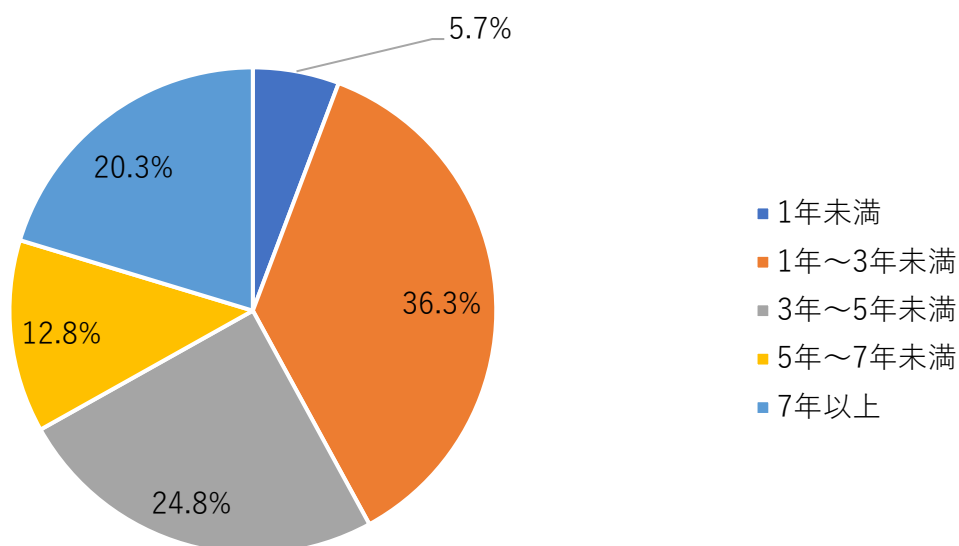


Q13.介護を必要とする家族等の介護期間についてお答えください。[SA] (N=1132)

介護期間については、「1～3年未満」(36.3%)、次いで「3～5年未満」(24.8%)、「7年以上」(20.3%)の順に多い。

	N	%
1年未満	65	5.7%
1年～3年未満	<u>411</u>	<u>36.3%</u>
3年～5年未満	281	24.8%
5年～7年未満	145	12.8%
7年以上	230	20.3%
合計	1132	100.0%

Q13.介護を必要とする家族等の介護期間についてお答えください。[SA]
(N=1132)



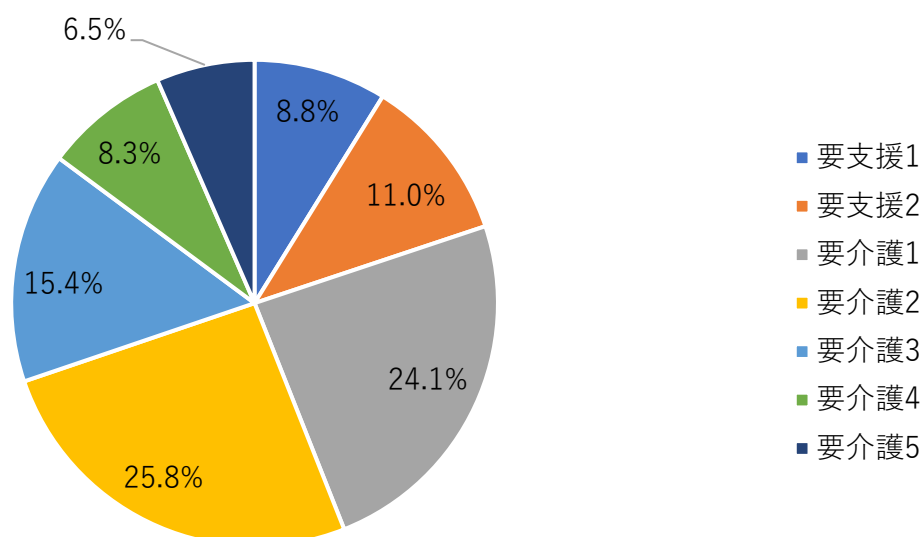
Q14.介護を必要とする家族等の現在の要介護度についてお答えください。[SA] (N=1132)

被介護者の要介護度については「要介護2」(25.8%)、次いで「要介護1」(24.1%)、「要介護3」(15.4%)の順に多い。

なお、「要支援1・要支援2」が19.8%、「要介護1・要介護2」が49.9%、「要介護3・要介護4・要介護5」が30.2%を占めている。

	N	%
要支援1	100	8.8%
要支援2	125	11.0%
要介護1	273	24.1%
要介護2	292	25.8%
要介護3	174	15.4%
要介護4	94	8.3%
要介護5	74	6.5%
合計	1132	100.0%

Q14.介護を必要とする家族等の現在の要介護度についてお答えください。[SA] (N=1132)

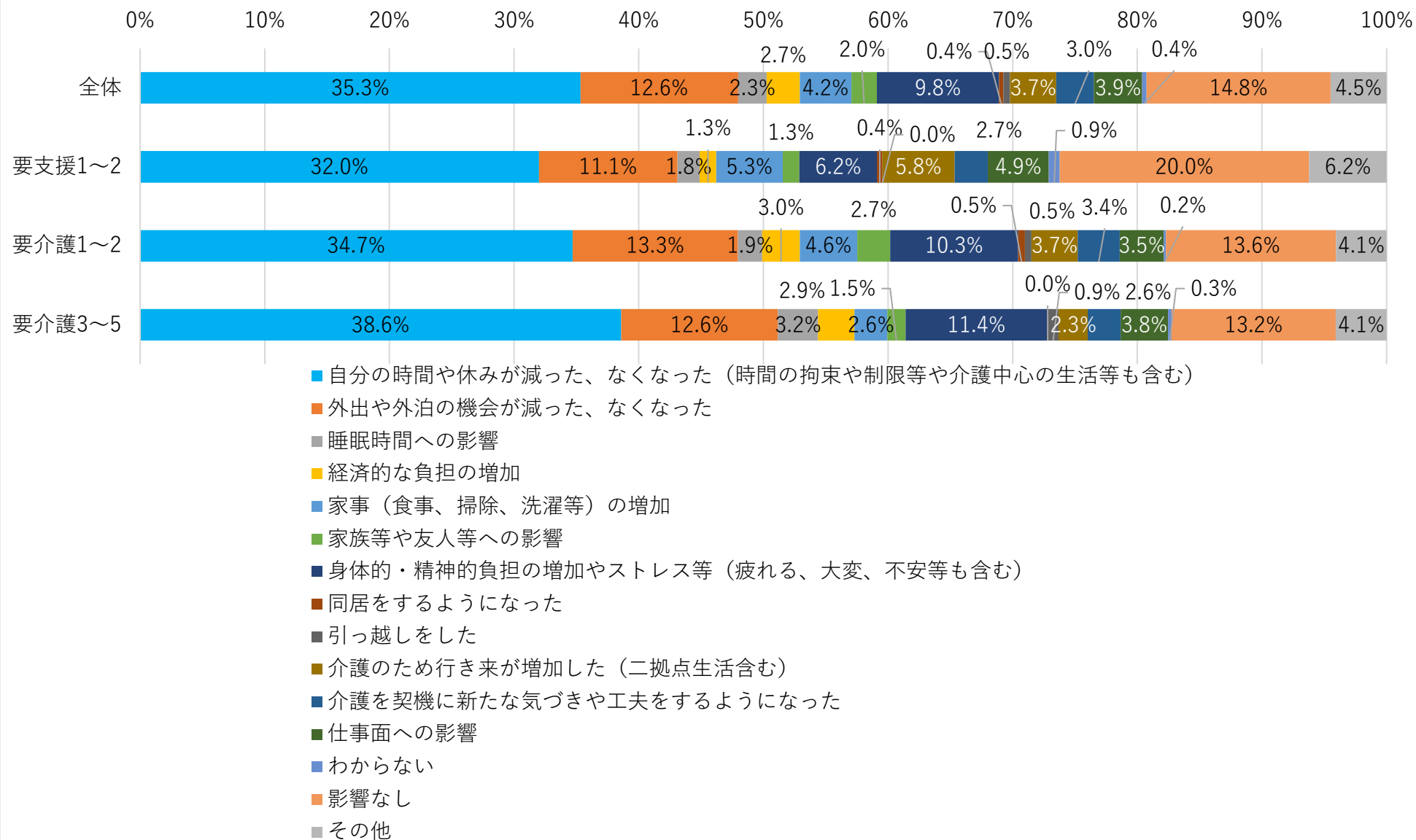


クロス集計（Q14「要介護度」 × Q10「介護を契機とした仕事以外での生活への影響」）（N=1132）

介護を契機とした仕事以外での生活への影響を被介護者の要介護度別でみると、いずれの要介護度においても「自分の時間や休みが減った、なくなった」が30%以上を超えていた。

	全体	自分の時間や休みが減った、なくなった（時間の拘束や制限等や介護中心の生活等も含む）	外出や外泊の機会が減った、なくなった	睡眠時間への影響	経済的な負担の増加	家事（食事、掃除、洗濯等）の増加	家族等や友人等への影響	身体的・精神的負担の増加やストレス等（疲れ、大変、不安等も含む）	同居をするようになった	引っ越しをした	介護のため行き来が増加した（二拠点生活含む）	介護を契機に新たな気づきや工夫をするようになった	仕事面への影響	わからない	影響なし	その他
全体	100.0%	35.3%	12.6%	2.3%	2.7%	4.2%	2.0%	9.8%	0.4%	0.5%	3.7%	3.0%	3.9%	0.4%	14.8%	4.5%
要支援1～2	100.0%	32.0%	11.1%	1.8%	1.3%	5.3%	1.3%	6.2%	0.4%	0.0%	5.8%	2.7%	4.9%	0.9%	20.0%	6.2%
要介護1～2	100.0%	34.7%	13.3%	1.9%	3.0%	4.6%	2.7%	10.3%	0.5%	0.5%	3.7%	3.4%	3.5%	0.2%	13.6%	4.1%
要介護3～5	100.0%	38.6%	12.6%	3.2%	2.9%	2.6%	1.5%	11.4%	0.0%	0.9%	2.3%	2.6%	3.8%	0.3%	13.2%	4.1%

クロス集計（Q14「要介護度」 × Q10「介護を契機とした仕事以外での生活への影響」）（N=1132）

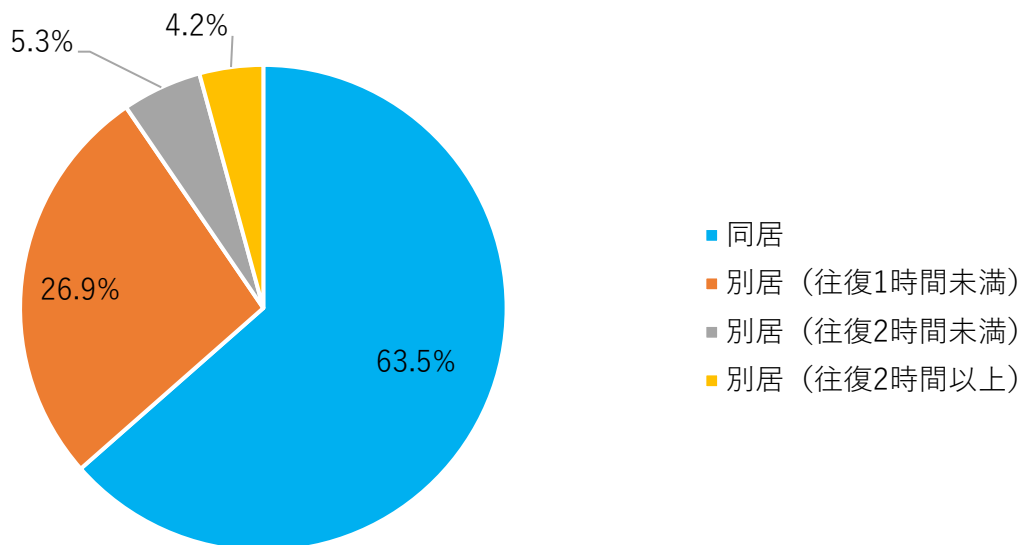


Q15.介護を必要とする家族等とあなたの居住関係についてお答えください。[SA] (N=1132)

居住関係については、「同居」が63.5%、「別居（往復1時間未満）」が26.9%であった。

	N	%
同居	719	63.5%
別居（往復1時間未満）	305	26.9%
別居（往復2時間未満）	60	5.3%
別居（往復2時間以上）	48	4.2%
合計	1132	100.0%

Q15.介護を必要とする家族等とあなたの居住関係についてお答えください。[SA] (N=1132)

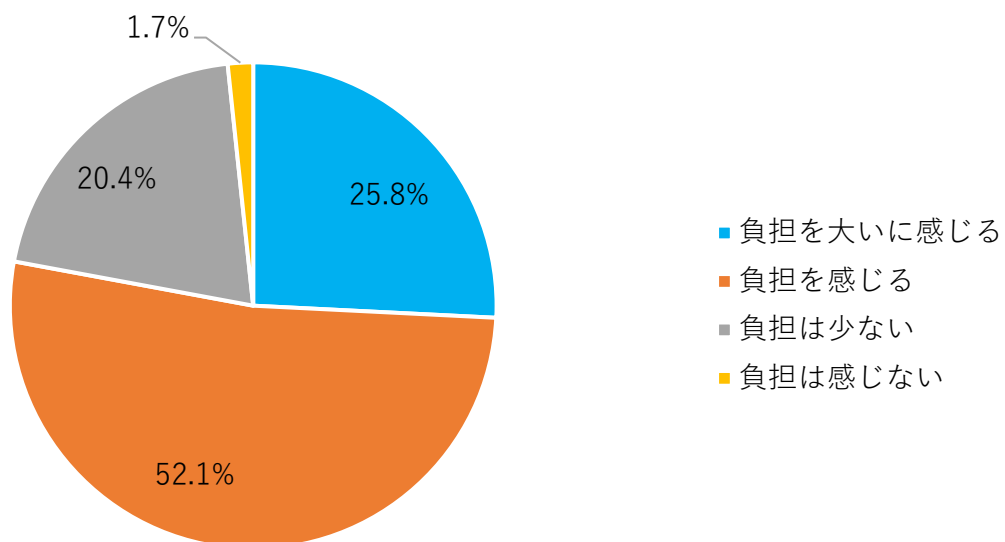


Q16.介護を必要とする家族等の介護について、あなたの負担感はどの程度ですか。[SA] (N =1132)

介護の負担感は、「負担を感じる」「負担を大いに感じる」が77.9%、「負担は少ない」が20.4%、「負担は感じない」が1.7%であった。

	N	%
負担を大いに感じる	292	25.8%
負担を感じる	590	52.1%
負担は少ない	231	20.4%
負担は感じない	19	1.7%
合計	1132	100.0%

Q16.介護を必要とする家族等の介護について、あなたの負担感はどの程度ですか。[SA] (N=1132)



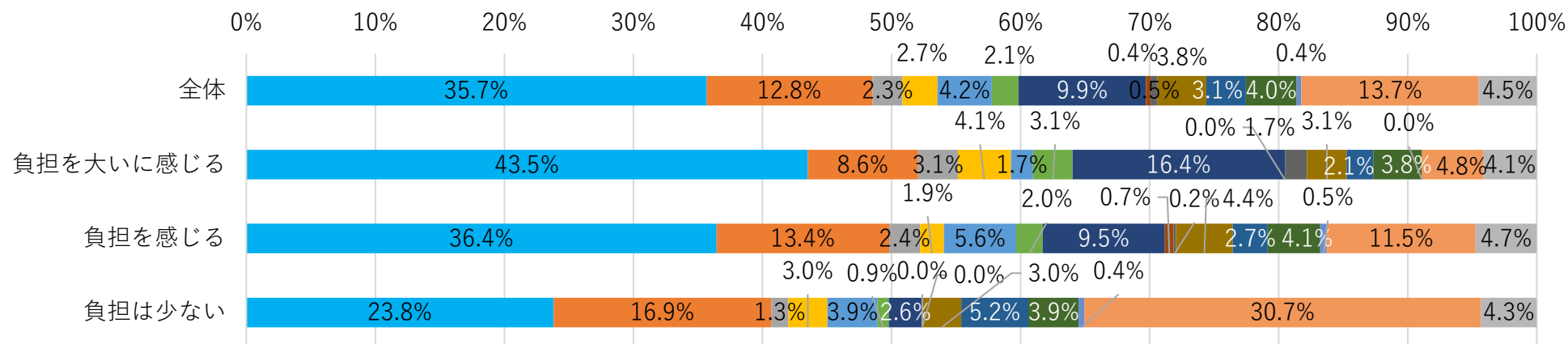
クロス集計（Q16「あなたの介護負担感」 × Q10「介護を契機とした仕事以外での生活への影響」）（N=1113）※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く。

介護を契機とした仕事以外での生活への影響を介護負担感別でみると、「負担を大いに感じる」と「負担を感じる」では「自分の時間や休みが減った、なくなった」が43.5%と36.4%、「負担は少ない」では「影響なし」が30.7%で占める割合が大きかった。

	全体	自分の時間や休みが減った、なくなった（時間の拘束や制限等や介護中心の生活等も含む）	外出や外泊の機会が減った、なくなった	睡眠時間への影響	経済的な負担の増加	家事（食事、掃除、洗濯等）の増加	家族等や友人等への影響	身体的・精神的負担の増加やストレス等（疲れ、大変、不安等も含む）	同居をするようになった	引っ越しをした	介護のため行き来が増加した（二拠点生活含む）	介護を契機に新たな気づきや工夫をするようになった	仕事面への影響	わからない	影響なし	その他
全体	100.0%	35.7%	12.8%	2.3%	2.7%	4.2%	2.1%	9.9%	0.4%	0.5%	3.8%	3.1%	4.0%	0.4%	13.7%	4.5%
負担を大いに感じる	100.0%	43.5%	8.6%	3.1%	4.1%	1.7%	3.1%	16.4%	0.0%	1.7%	3.1%	2.1%	3.8%	0.0%	4.8%	4.1%
負担を感じる	100.0%	36.4%	13.4%	2.4%	1.9%	5.6%	2.0%	9.5%	0.7%	0.2%	4.4%	2.7%	4.1%	0.5%	11.5%	4.7%
負担は少ない	100.0%	23.8%	16.9%	1.3%	3.0%	3.9%	0.9%	2.6%	0.0%	0.0%	3.0%	5.2%	3.9%	0.4%	30.7%	4.3%

クロス集計（Q16「あなたの介護負担感」 × Q10「介護を契機とした仕事以外での生活への影響」）（N=1113）

※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く。



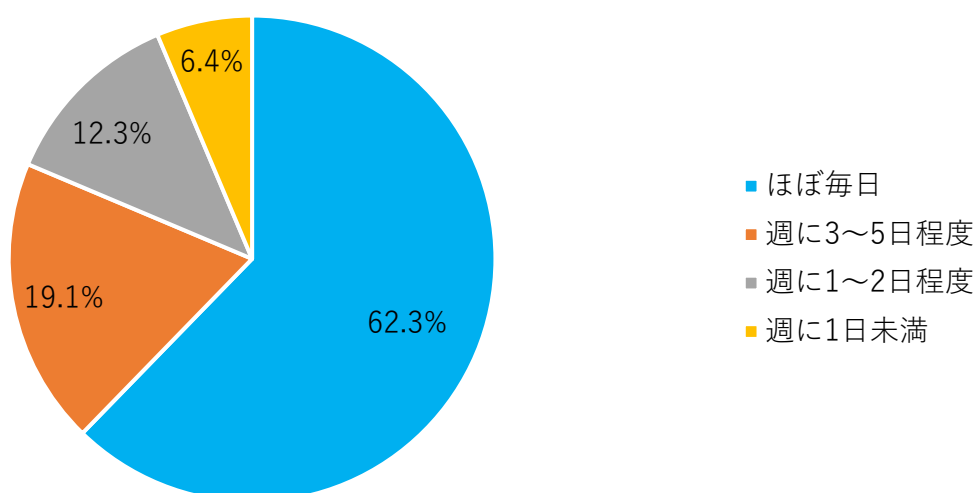
- 自分の時間や休みが減った、なくなった（時間の拘束や制限等や介護中心の生活等も含む）
- 外出や外泊の機会が減った、なくなった
- 睡眠時間への影響
- 経済的な負担の増加
- 家事（食事、掃除、洗濯等）の増加
- 家族等や友人等への影響
- 身体的・精神的負担の増加やストレス等（疲れる、大変、不安等も含む）
- 同居をするようになった
- 引っ越しをした
- 介護のため行き来が増加した（二拠点生活含む）
- 介護を契機に新たな気づきや工夫をするようになった
- 仕事面への影響
- わからない
- 影響なし
- その他

Q17.介護を必要とする家族等の介護について、あなたの1週間の平均的な介護の頻度をお答えください。[SA] (N=1132)

1週間の平均的な介護の頻度については、「ほぼ毎日」が62.3%、次いで「週に3～5日程度」が19.1%、「週に1～2日程度」が12.3%であった。

	N	%
ほぼ毎日	705	62.3%
週に3～5日程度	216	19.1%
週に1～2日程度	139	12.3%
週に1日未満	72	6.4%
合計	1132	100.0%

Q17.介護を必要とする家族等の介護について、あなたの1週間の平均的な介護の頻度をお答えください。[SA] (N=1132)

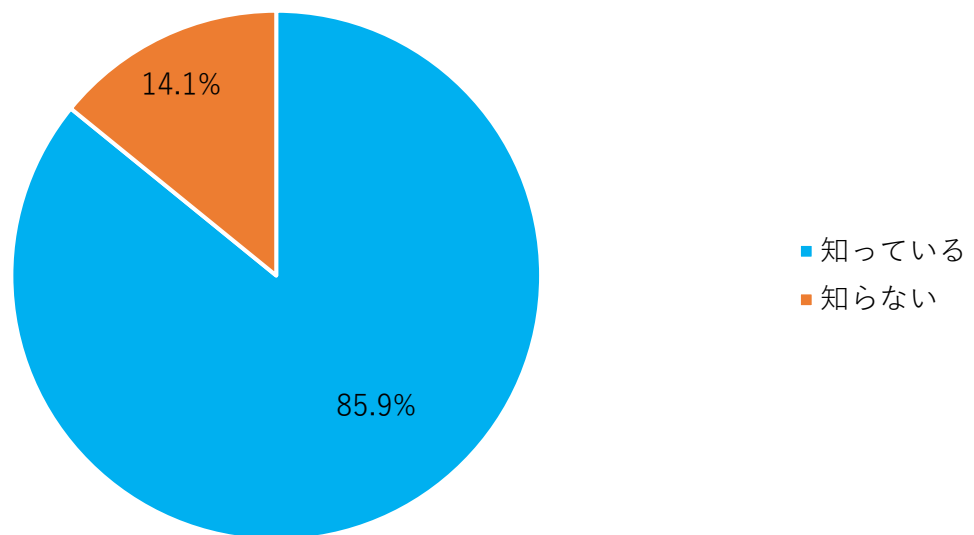


Q18.あなたは地域包括支援センターをご存じですか。 [SA] (N=1132)

地域包括支援センターについては、「知っている」が85.9%であった。

	N	%
知っている	972	85.9%
知らない	160	14.1%
合計	1132	100.0%

Q18.あなたは地域包括支援センターをご存じですか。 [SA] (N=1132)

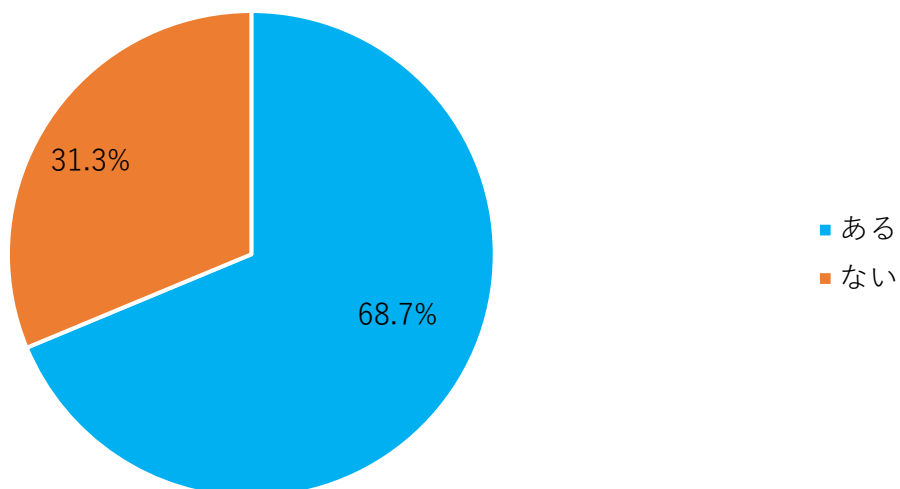


Q19.あなたは「地域包括支援センター」または「役所」に、介護に関する相談を行ったことはありますか。[SA] (N=1132)

地域包括支援センターまたは役所に、介護に関する相談を行ったことが、「ある」が68.7%で約7割を占めている。

	N	%
ある	778	68.7%
ない	354	31.3%
合計	1132	100.0%

Q19.あなたは「地域包括支援センター」または「役所」に、介護に関する相談を行ったことはありますか。[SA] (N=1132)

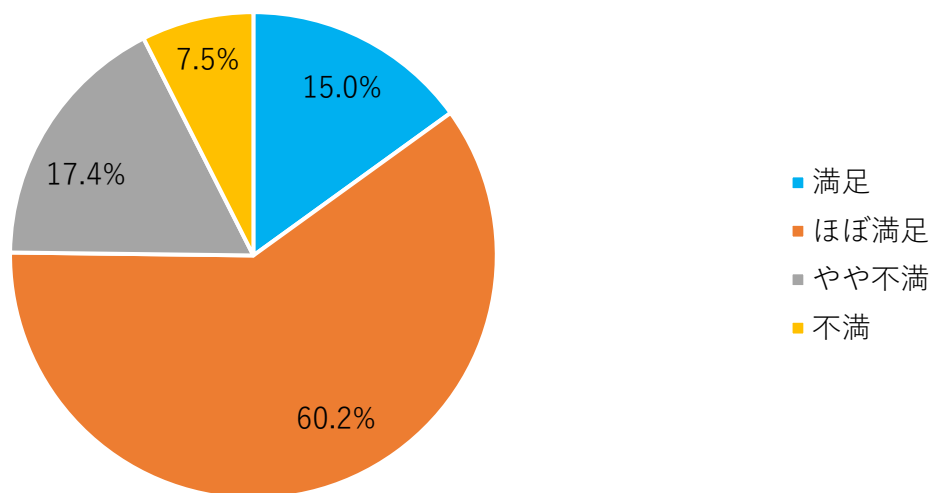


Q20.Q19で「ある」と回答した方に伺います。相談時の満足度をお答えください。[SA] (N = 778)

相談時の満足度は、「ほぼ満足」「満足」が75.2%、「やや不満」「不満」が24.9%であった。

	N	%
満足	117	15.0%
ほぼ満足	468	60.2%
やや不満	135	17.4%
不満	58	7.5%
合計	778	100.0%

Q20.Q19で「ある」と回答した方に伺います。相談時の満足度をお答えください。[SA] (N = 778)

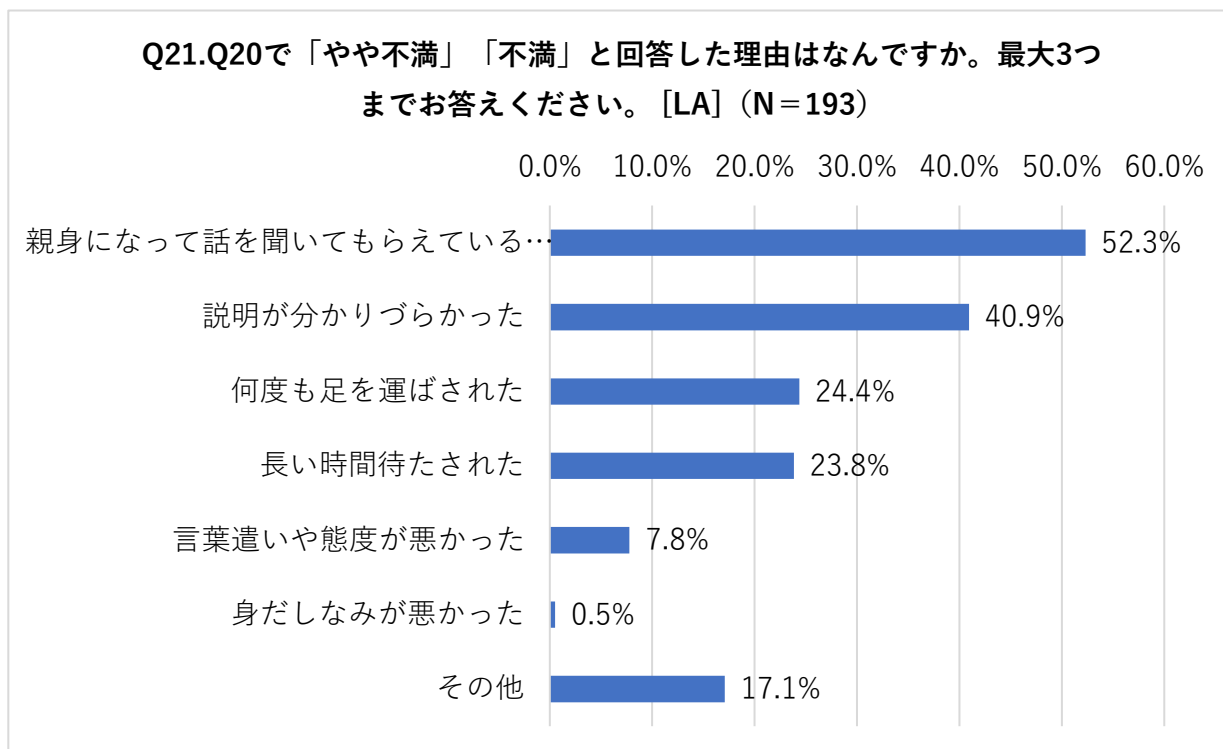


Q21.Q20で「やや不満」「不満」と回答した理由はなんですか。最大3つまでお答えください。[LA] (N=193)

「やや不満」「不満」と回答した理由は、「親身になって話を聞いてもらえていたと思えなかった」(52.3%)、次いで「説明が分かりづらかった」(40.9%)、「何度も足を運ばされた」(24.4%)、「長い時間待たされた」(23.8%)の順に多い。

「その他」(N=33)の記述をみると、「相談しても解決に繋がらない」(N=18)といった回答が多くみられた。

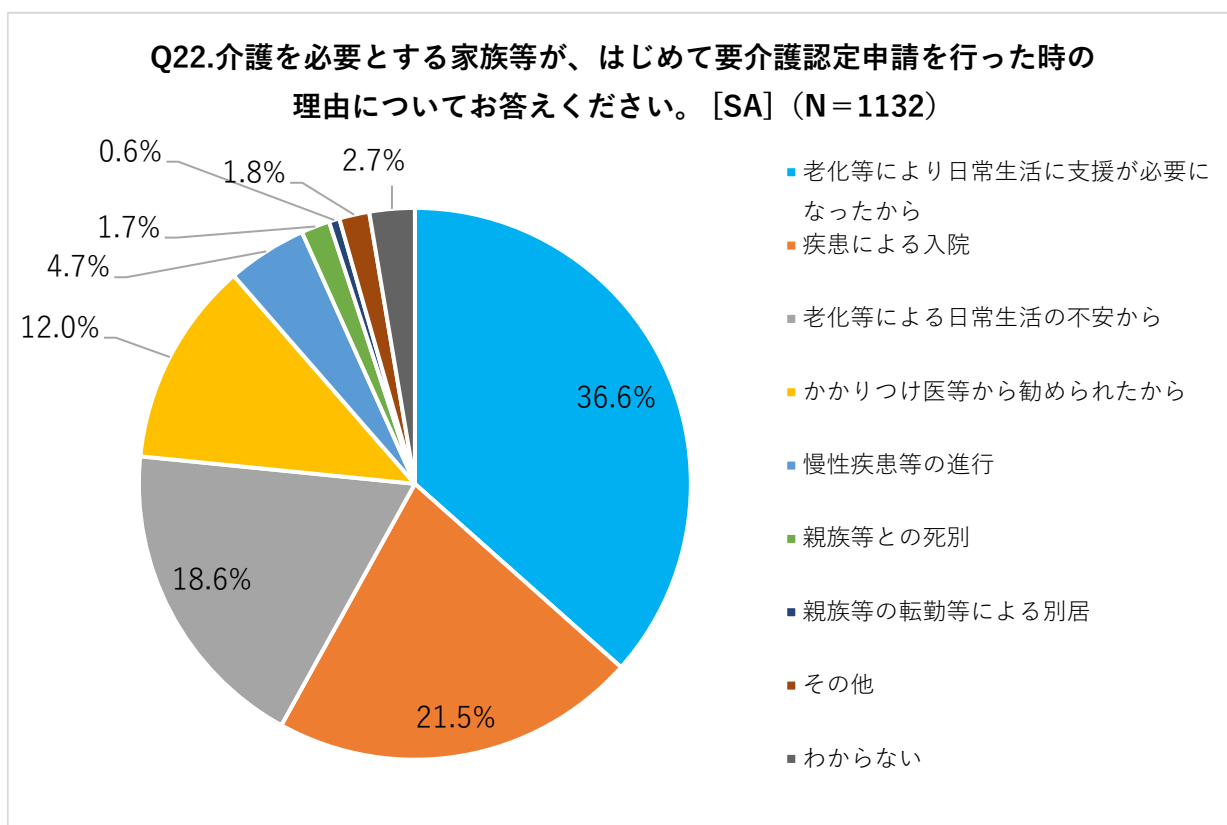
	N	%
親身になって話を聞いてもらえていたと思えなかった	101	52.3%
説明が分かりづらかった	79	40.9%
何度も足を運ばされた	47	24.4%
長い時間待たされた	46	23.8%
言葉遣いや態度が悪かった	15	7.8%
身だしなみが悪かった	1	0.5%
その他	33	17.1%
合計	193	100.0%



Q22.介護を必要とする家族等が、はじめて要介護認定申請を行った時の理由についてお答えください。[SA] (N=1132)

被介護者が初めて要介護認定申請を行った時の理由は、「老化等により日常生活に支援が必要になったから」(36.6%)、次いで「疾患による入院」(21.5%)、「老化等による日常生活の不安から」(18.6%)、「かかりつけ医等から勧められたから」(12.0%)の順に多い。

	N	%
老化等により日常生活に支援が必要になったから	414	36.6%
疾患による入院	243	21.5%
老化等による日常生活の不安から	210	18.6%
かかりつけ医等から勧められたから	136	12.0%
慢性疾患等の進行	53	4.7%
親族等との死別	19	1.7%
親族等の転勤等による別居	7	0.6%
その他	20	1.8%
わからない	30	2.7%
合計	1132	100.0%



Q23.介護を必要とする家族等が、はじめて要介護認定申請を行おうと思った際に、最初に相談をした人または機関をお答えください。[SA] (N=1132)

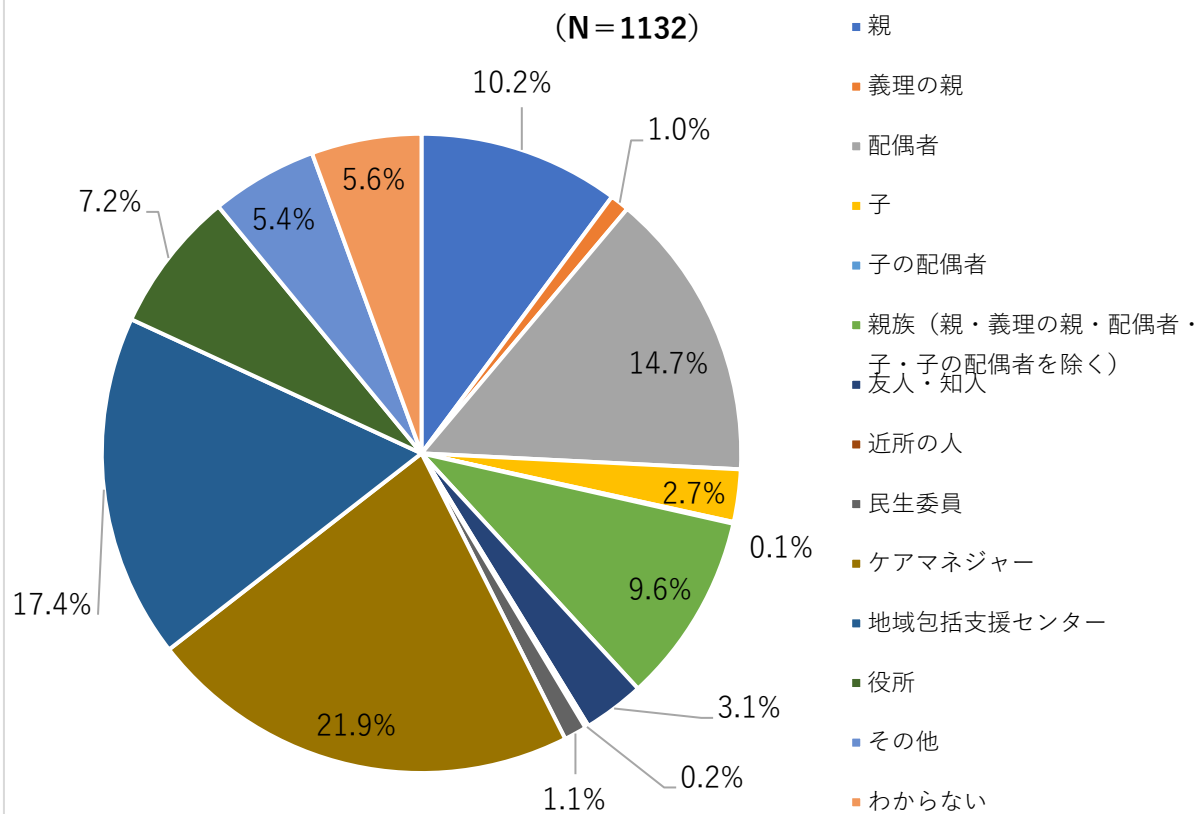
最初に相談した人または機関は、「ケアマネジャー」(21.9%)、次いで「地域包括支援センター」(17.4%)、「配偶者」(14.7%)の順に多い。

「その他」(N=61)の記述をみると、「被介護者の通院・入院先の病院(ソーシャルワーカー等)」(N=34)、「医師(かかりつけ医等)」(N=19)といった回答が多くみられた。

	N	%
親	115	10.2%
義理の親	11	1.0%
配偶者	166	14.7%
子	30	2.7%
子の配偶者	1	0.1%
親族(親・義理の親・配偶者・子・子の配偶者を除く)	109	9.6%
友人・知人	35	3.1%
近所の人	2	0.2%
民生委員	13	1.1%
ケアマネジャー	<u>248</u>	<u>21.9%</u>
地域包括支援センター	197	17.4%
役所	81	7.2%
その他	61	5.4%
わからない	63	5.6%
合計	1132	100.0%

Q23.介護を必要とする家族等が、はじめて要介護認定申請を行おうと思った際に、最初に相談をした人または機関をお答えください。[SA]

(N=1132)

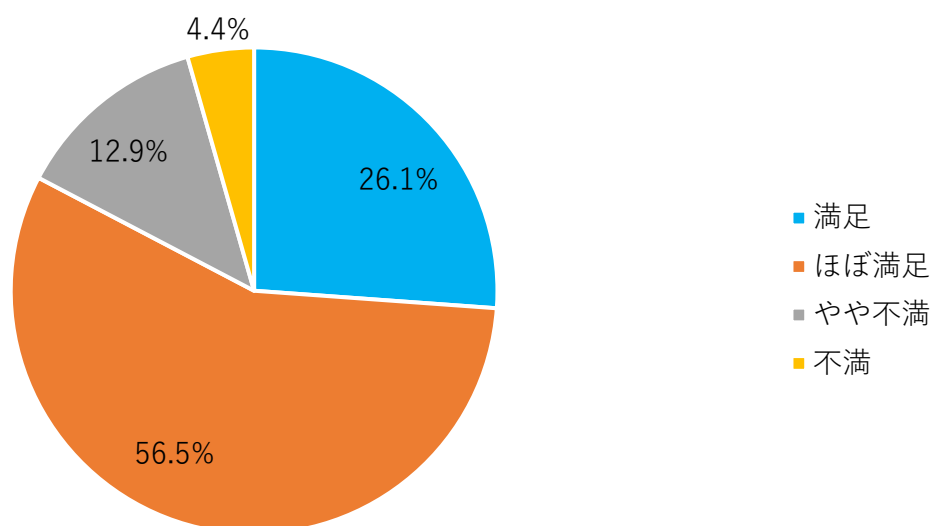


Q24.介護を必要とする家族等を担当している現在のケアマネジャーについて、あなたの満足度をお答えください。[SA] (N=1132)

被介護者の担当ケアマネジャーに対する満足度は、「ほぼ満足」「満足」で82.6%、「やや不満」「不満」で17.3%であった。

	N	%
満足	296	26.1%
ほぼ満足	640	56.5%
やや不満	146	12.9%
不満	50	4.4%
合計	1132	100.0%

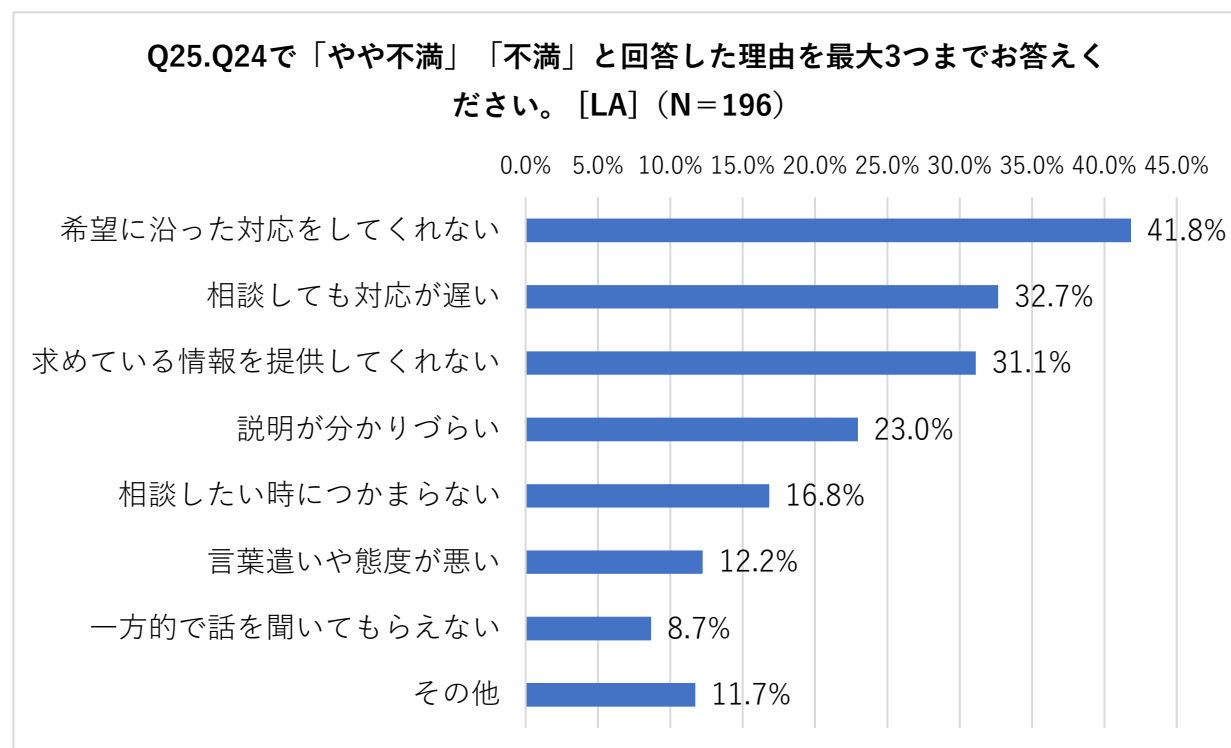
Q24.介護を必要とする家族等を担当している現在のケアマネジャーについて、あなたの満足度をお答えください。[SA] (N=1132)



Q25.Q24で「やや不満」「不満」と回答した理由を最大3つまでお答えください。[LA] (N=196)

「やや不満」「不満」と回答した理由は、「希望に沿った対応をしてくれない」(41.8%)、次いで「相談しても対応が遅い」(32.7%)、「求めている情報を提供してくれない」(31.1%)の順に多い。

	N	%
希望に沿った対応をしてくれない	82	41.8%
相談しても対応が遅い	64	32.7%
求めている情報を提供してくれない	61	31.1%
説明が分かりづらい	45	23.0%
相談したい時につかまらない	33	16.8%
言葉遣いや態度が悪い	24	12.2%
一方的で話を聞いてもらえない	17	8.7%
その他	23	11.7%
合計	196	100.0%

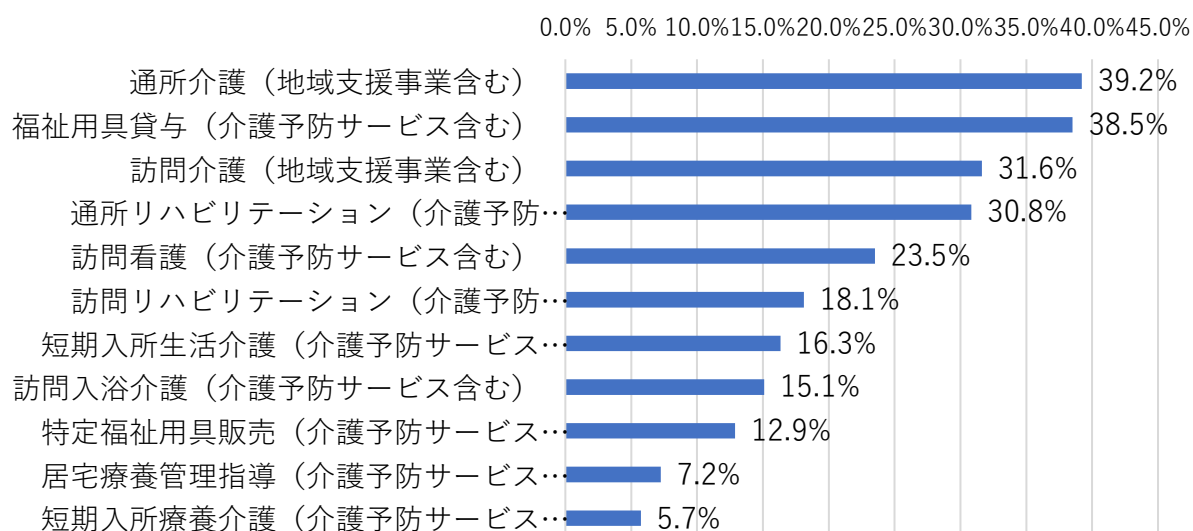


Q26.現在、介護を必要とする家族等が利用している居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の種類について、すべてお答えください。[MA]（N=1132）

被介護者が利用している居宅サービスは、「通所介護（地域支援事業含む）」（39.2%）、次いで「福祉用具貸与（介護予防サービス含む）」（38.5%）、「訪問介護（地域支援事業含む）」（31.6%）、「通所リハビリテーション（介護予防サービス含む）」（30.8%）の順に多い。

	N	%
通所介護（地域支援事業含む）	444	39.2%
福祉用具貸与（介護予防サービス含む）	436	38.5%
訪問介護（地域支援事業含む）	358	31.6%
通所リハビリテーション（介護予防サービス含む）	349	30.8%
訪問看護（介護予防サービス含む）	266	23.5%
訪問リハビリテーション（介護予防サービス含む）	205	18.1%
短期入所生活介護（介護予防サービス含む）	185	16.3%
訪問入浴介護（介護予防サービス含む）	171	15.1%
特定福祉用具販売（介護予防サービス含む）	146	12.9%
居宅療養管理指導（介護予防サービス含む）	82	7.2%
短期入所療養介護（介護予防サービス含む）	65	5.7%
合計	1132	100.0%

Q26.現在、介護を必要とする家族等が利用している居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の種類について、すべてお答えください。[MA]（N=1132）

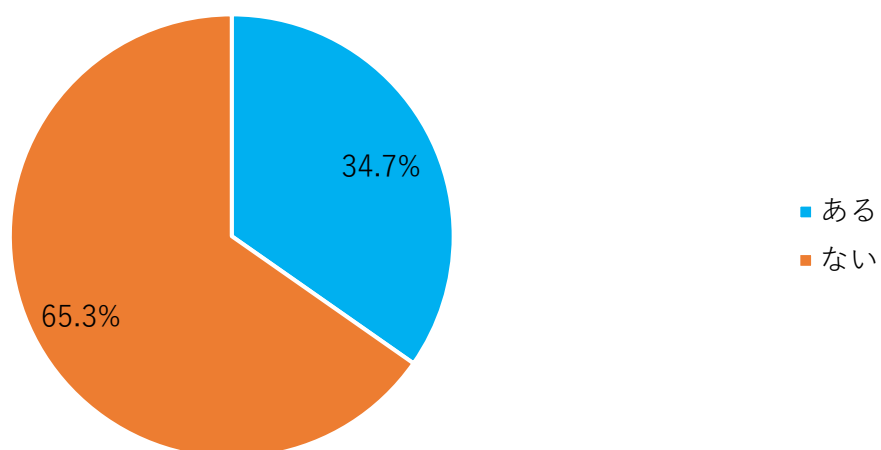


Q27.現在、介護を必要とする家族等が利用したいと思っても利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）はありますか。[SA]（N=1132）

「ない」が65.3%、「ある」が34.7%であった。

	N	%
ある	393	34.7%
ない	739	65.3%
合計	1132	100.0%

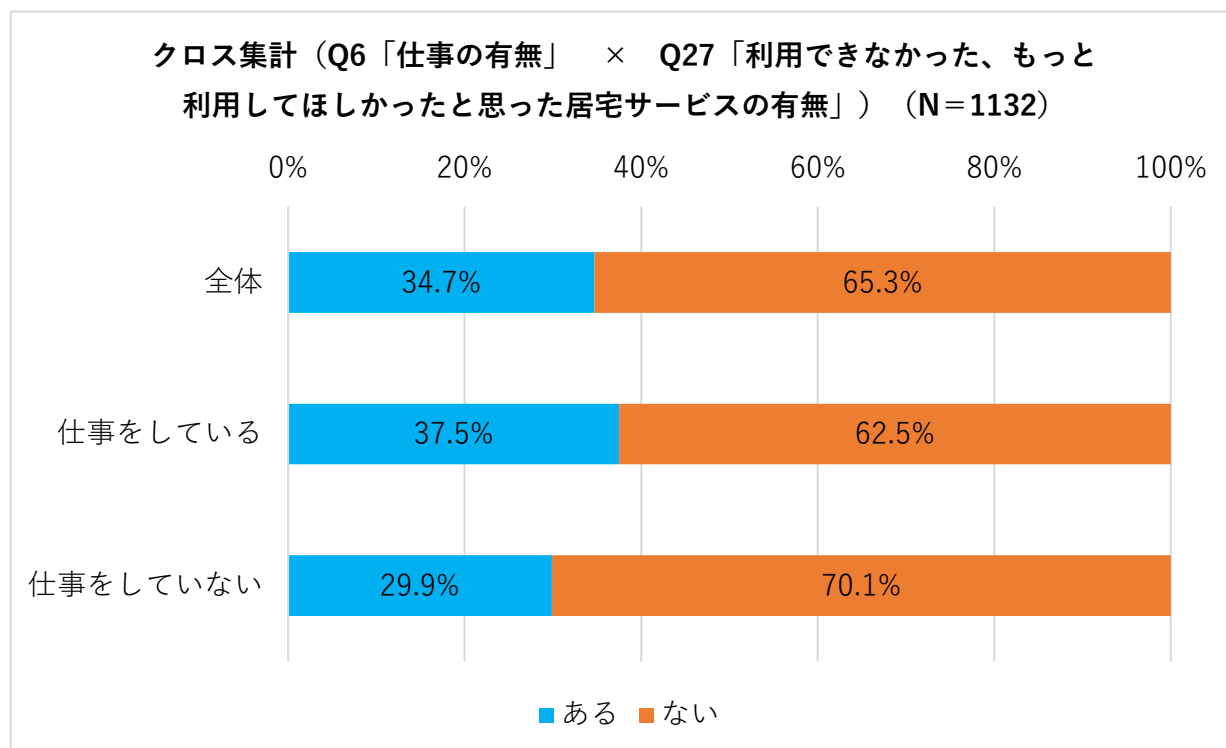
Q27.現在、介護を必要とする家族等が利用したいと思っても利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）はありますか。[SA]（N=1132）



クロス集計（Q6「仕事の有無」 × Q27「利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無」）（N=1132）

利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無を、仕事の有無別でみると、いずれにおいても「ない」が60%以上で占める割合が大きかった。

	全体	ある	ない
全体	1132	393	739
	100.0%	34.7%	65.3%
仕事をしている	717	269	448
	100.0%	37.5%	<u>62.5%</u>
仕事をしていない	415	124	291
	100.0%	29.9%	<u>70.1%</u>

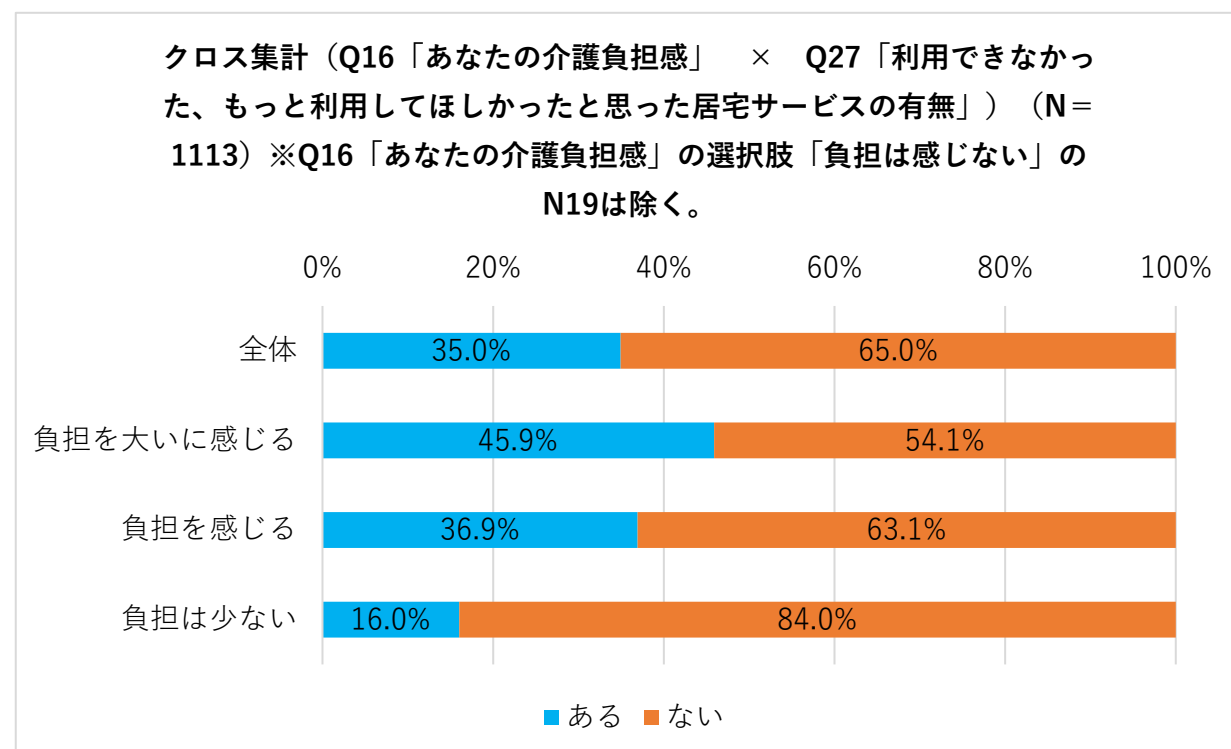


クロス集計（Q16「あなたの介護負担感」 × Q27「利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無」）（N＝1113）※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く。

利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービスの有無を、介護負担感別でみると、いずれの介護負担感の程度においても「ない」が50％以上で占める割合が大きかった。

なお、「負担を大いに感じる」場合でも、「ない」の回答が54.1％と約半数を超えていることから、現状の介護保険制度内のサービスだけでは解決できない、介護の負担が推察される。

	全体	ある	ない
全体	1113	389	724
	100.0%	35.0%	65.0%
負担を大いに感じる	292	134	158
	100.0%	45.9%	54.1%
負担を感じる	590	218	372
	100.0%	36.9%	63.1%
負担は少ない	231	37	194
	100.0%	16.0%	84.0%

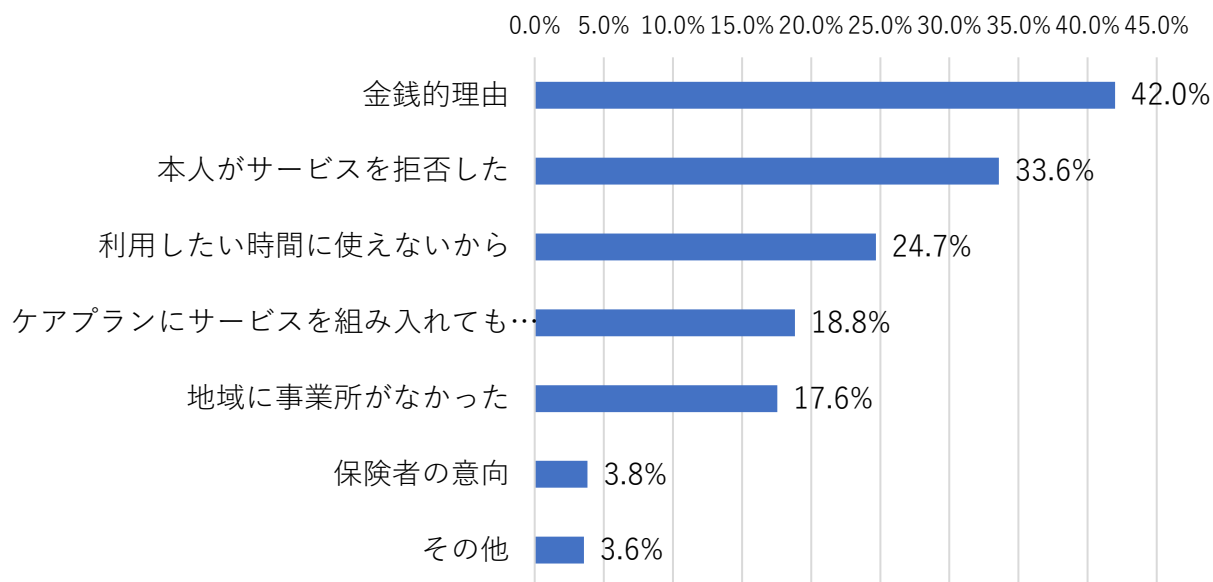


Q28.Q27で「ある」と回答した方に伺います。利用に至らなかった理由を最大3つまでお答えください。[LA] (N=393)

利用に至らなかった理由は、「金銭的理由」(42.0%)、次いで「本人がサービスを拒否した」(33.6%)、「利用したい時間に使えないから」(24.7%)の順に多い。

	N	%
金銭的理由	165	42.0%
本人がサービスを拒否した	132	33.6%
利用したい時間に使えないから	97	24.7%
ケアプランにサービスを組み入れてもらえなかったから	74	18.8%
地域に事業所がなかった	69	17.6%
保険者の意向	15	3.8%
その他	14	3.6%
合計	393	100.0%

Q28.Q27で「ある」と回答した方に伺います。利用に至らなかった理由を最大3つまでお答えください。[LA] (N=393)

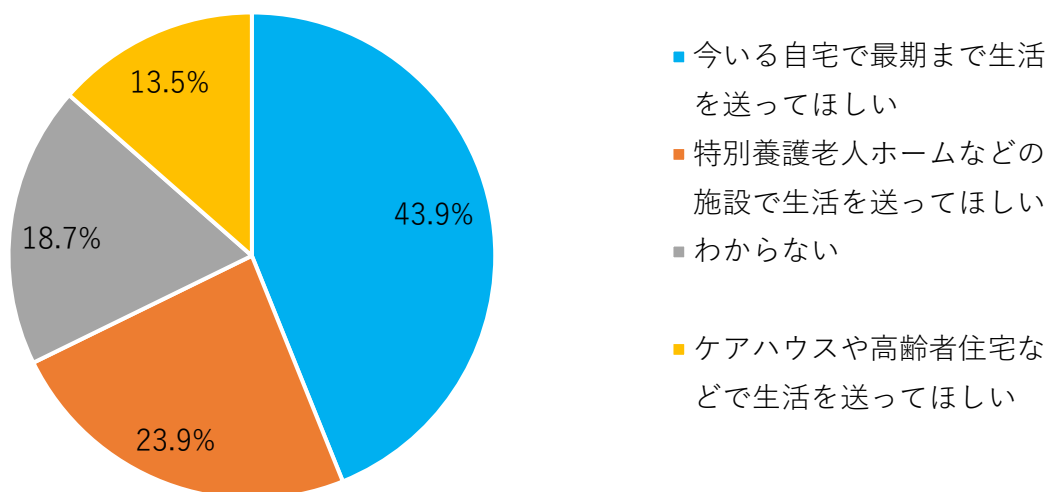


Q29.あなたは介護を必要とする家族等に、今後どこで生活を送ってほしいですか。[SA]
(N=1132)

被介護者に今後生活を送ってほしい場所は、「今いる自宅で最期まで生活を送ってほしい」が43.9%、「特別養護老人ホームなどの施設で生活を送ってほしい」が23.9%、「わからない」が18.7%であった。

	N	%
今いる自宅で最期まで生活を送ってほしい	497	43.9%
特別養護老人ホームなどの施設で生活を送ってほしい	270	23.9%
わからない	212	18.7%
ケアハウスや高齢者住宅などで生活を送ってほしい	153	13.5%
合計	1132	100.0%

Q29.あなたは介護を必要とする家族等に、今後どこで生活を送ってほしいですか。[SA] (N=1132)



Q30.介護を必要とする家族等の居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の選択について、主たる意思決定者はどなたですか。[SA]（N＝1132）

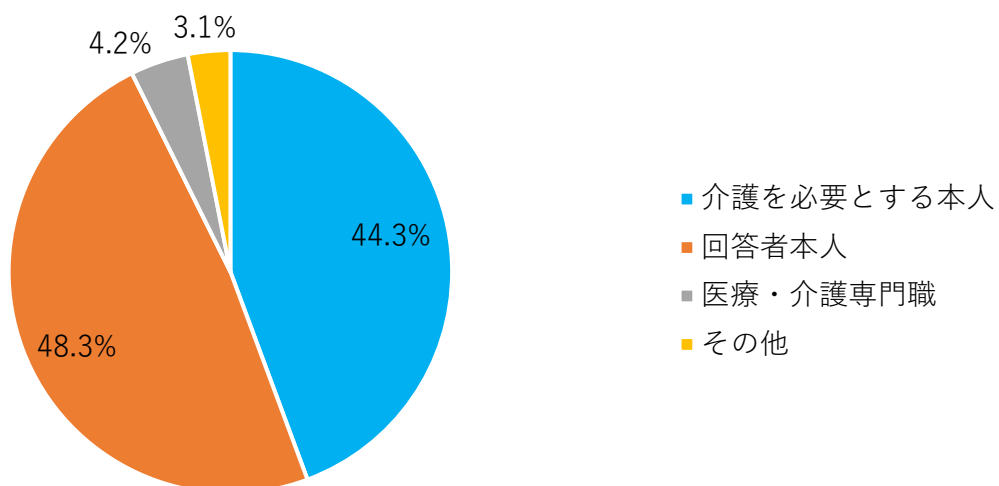
主たる意思決定者は、「回答者本人」が48.3%、「介護を必要とする本人」が44.3%、「医療・介護専門職」が4.2%であった。

「その他」3.1%（N＝35）の記述をみると「主介護者（回答者）以外の親族等」（N＝35）となっている。

	N	%
介護を必要とする本人	502	44.3%
回答者本人	547	48.3%
医療・介護専門職	48	4.2%
その他	35	3.1%
合計	1132	100.0%

Q30.介護を必要とする家族等の居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の選択について、主たる意思決定者はどなたですか。

[SA]（N＝1132）



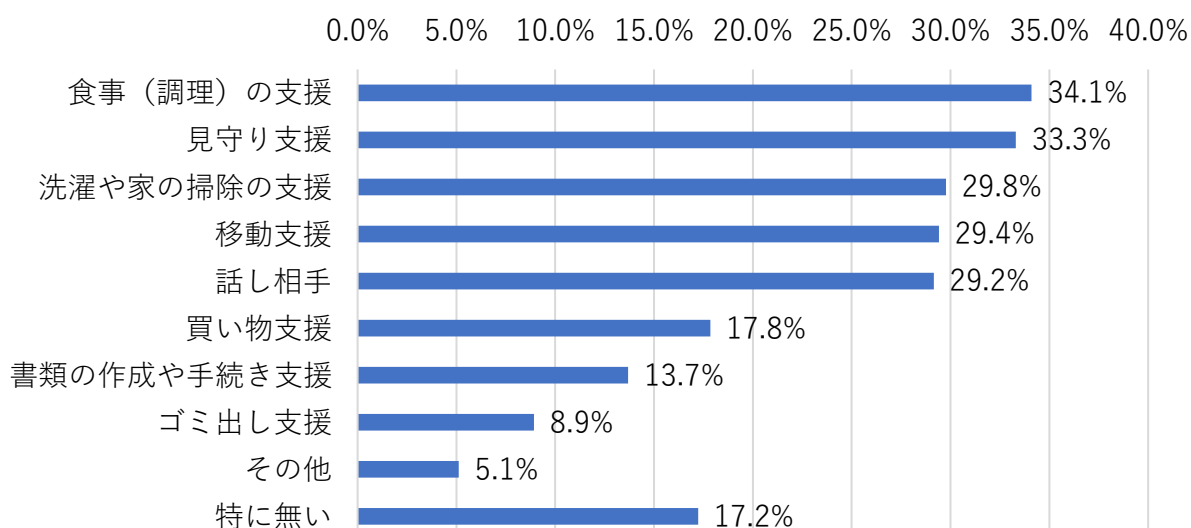
Q31.介護を必要とする家族等に、在宅生活を継続するうえで日常的に受けてもらいたいと、あなたが思う支援を、現在利用されている介護保険サービスも含め、最大3つまでお答えください。[LA] (N=1132)

被介護者に日常的に受けてもらいたいと思う支援は、「食事（調理）の支援」（34.1%）、次いで「見守り支援」（33.3%）、「洗濯や家の掃除の支援」（29.8%）、「移動支援」（29.4%）、「話し相手」（29.2%）の順に多い。

「その他」（N=58）の記述をみると、「身体介護（入浴支援や排泄支援）、ショートステイ、通所系サービス、生活支援」（N=32）といった介護保険サービスに関する回答が多くみられた。

	N	%
食事（調理）の支援	386	34.1%
見守り支援	377	33.3%
洗濯や家の掃除の支援	337	29.8%
移動支援	333	29.4%
話し相手	330	29.2%
買い物支援	202	17.8%
書類の作成や手続き支援	155	13.7%
ゴミ出し支援	101	8.9%
その他	58	5.1%
特に無い	195	17.2%
合計	1132	100.0%

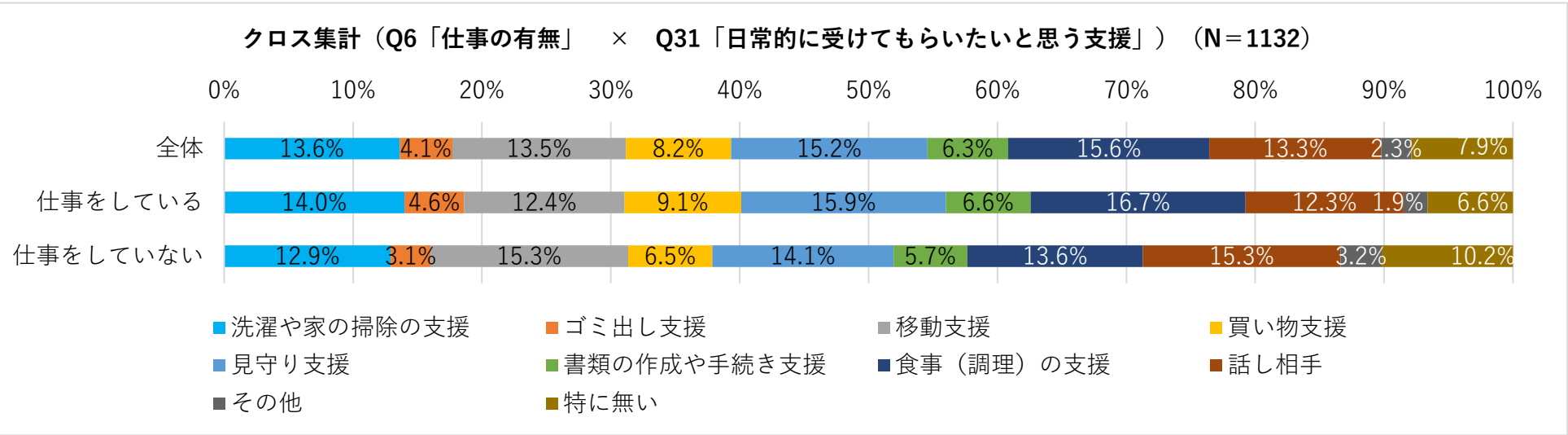
Q31.介護を必要とする家族等に、在宅生活を継続するうえで日常的に受けてもらいたいと、あなたが思う支援を、現在利用されている介護保険サービスも含め、最大3つまでお答えください。[LA] (N=1132)



クロス集計（Q6「仕事の有無」 × Q31「日常的に受けてもらいたいと思う支援」）（N＝1132）

日常的に受けてもらいたいと思う支援を仕事の有無別でみると、「仕事をしている」では「食事（調理）の支援」が16.7%、「仕事をしていない」では「移動支援」と「話し相手」が15.3%で占める割合が大きかった。

	全体	洗濯や家の掃除の支援	ゴミ出し支援	移動支援	買い物支援	見守り支援	書類の作成や手続き支援	食事（調理）の支援	話し相手	その他	特に無い
全体	100.0%	13.6%	4.1%	13.5%	8.2%	15.2%	6.3%	15.6%	13.3%	2.3%	7.9%
仕事をしている	100.0%	14.0%	4.6%	12.4%	9.1%	15.9%	6.6%	16.7%	12.3%	1.9%	6.6%
仕事をしていない	100.0%	12.9%	3.1%	15.3%	6.5%	14.1%	5.7%	13.6%	15.3%	3.2%	10.2%

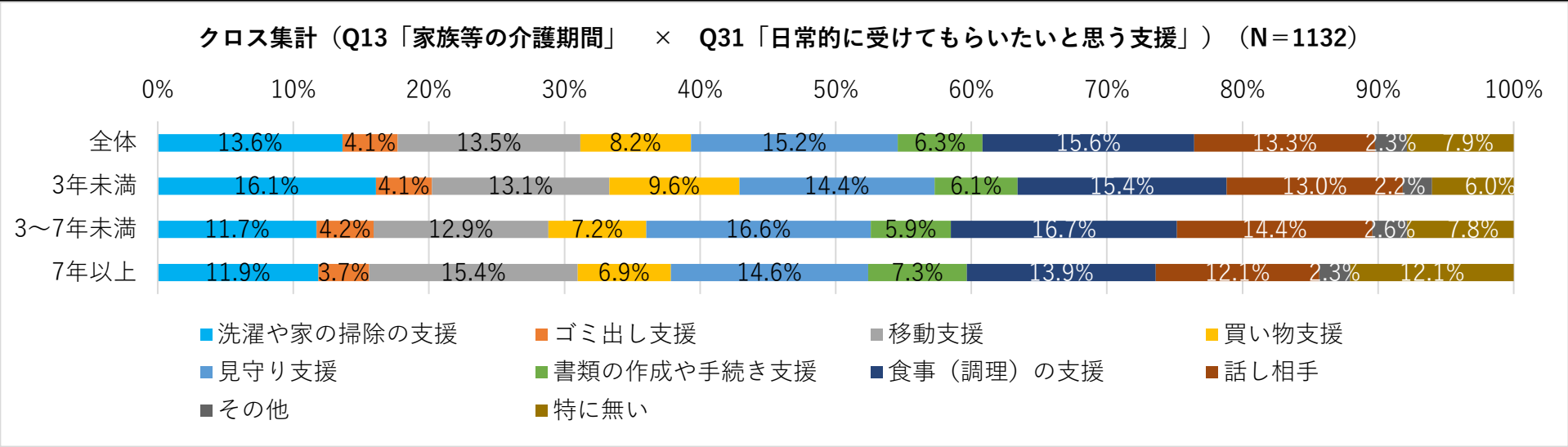


クロス集計（Q13「家族等の介護期間」 × Q31「日常的に受けてもらいたいと思う支援」）（N＝1132）

日常的に受けてもらいたいと思う支援を介護期間別でみると、「3年未満」では「洗濯や家の掃除の支援」16.1%、「3～7年未満」では「食事（調理）の支援」16.7%、「7年以上」では「移動支援」15.4%で占める割合が大きかった。

58

	全体	洗濯や家の掃除の支援	ゴミ出し支援	移動支援	買い物支援	見守り支援	書類の作成や手続き支援	食事（調理）の支援	話し相手	その他	特に無い
全体	100.0%	13.6%	4.1%	13.5%	8.2%	15.2%	6.3%	15.6%	13.3%	2.3%	7.9%
3年未満	100.0%	16.1%	4.1%	13.1%	9.6%	14.4%	6.1%	15.4%	13.0%	2.2%	6.0%
3～7年未満	100.0%	11.7%	4.2%	12.9%	7.2%	16.6%	5.9%	16.7%	14.4%	2.6%	7.8%
7年以上	100.0%	11.9%	3.7%	15.4%	6.9%	14.6%	7.3%	13.9%	12.1%	2.3%	12.1%



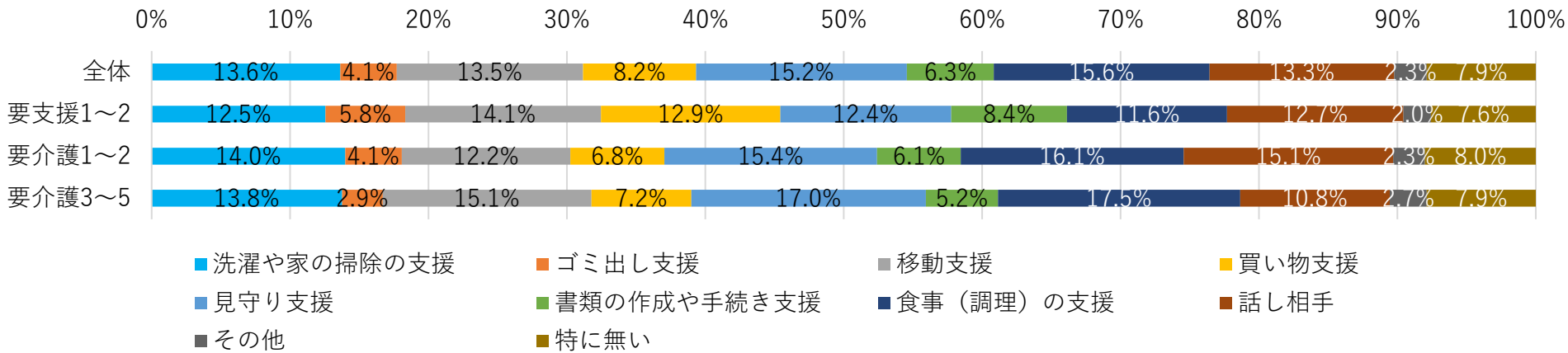
クロス集計（Q14「要介護度」 × Q31「日常的に受けてもらいたいと思う支援」）（N＝1132）

日常的に受けてもらいたいと思う支援を被介護者の要介護度別でみると、「要支援1～2」では「移動支援」が14.1%、「要介護1～2」と「要介護3～5」では「食事（調理）の支援」が16.1%と17.5%で占める割合が大きかった。

	全体	洗濯や家の掃除の支援	ゴミ出し支援	移動支援	買い物支援	見守り支援	書類の作成や手続き支援	食事（調理）の支援	話し相手	その他	特に無い
全体	100.0%	13.6%	4.1%	13.5%	8.2%	15.2%	6.3%	15.6%	13.3%	2.3%	7.9%
要支援1～2	100.0%	12.5%	5.8%	14.1%	12.9%	12.4%	8.4%	11.6%	12.7%	2.0%	7.6%
要介護1～2	100.0%	14.0%	4.1%	12.2%	6.8%	15.4%	6.1%	16.1%	15.1%	2.3%	8.0%
要介護3～5	100.0%	13.8%	2.9%	15.1%	7.2%	17.0%	5.2%	17.5%	10.8%	2.7%	7.9%

59

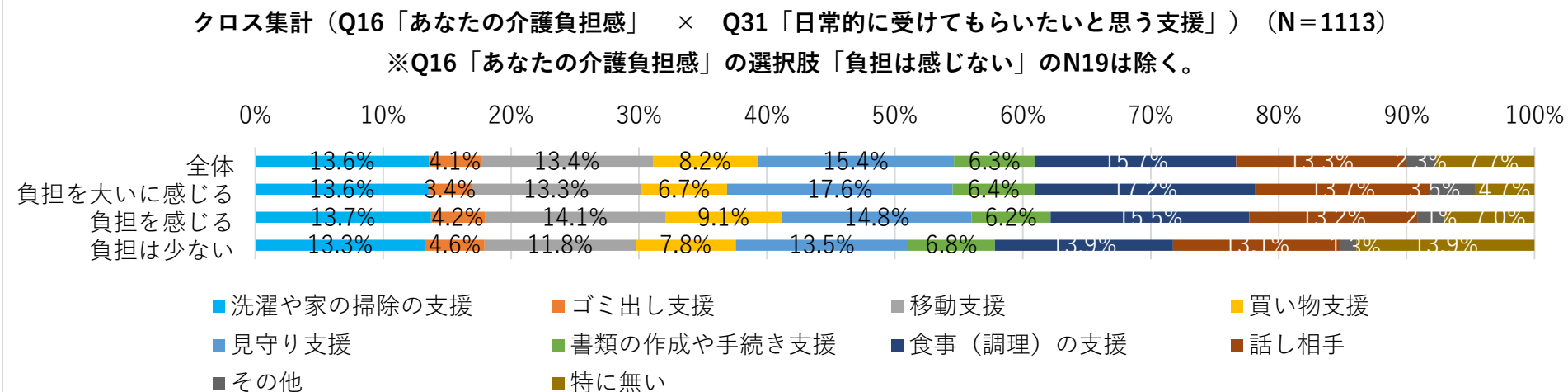
クロス集計（Q14「要介護度」 × Q31「日常的に受けてもらいたいと思う支援」）（N＝1132）



クロス集計（Q16「あなたの介護負担感」 × Q31「日常的に受けてもらいたいと思う支援」）（N=1113）※Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く。

日常的に受けてもらいたいと思う支援を介護負担感別でみると、「負担を大いに感じる」では「見守り支援」が17.6%、「負担を感じる」では「食事（調理）の支援」が15.5%、「負担は少ない」では「食事（調理）の支援」と「特に無い」が13.9%で占める割合が大きかった。

	全体	洗濯や家の掃除の支援	ゴミ出し支援	移動支援	買い物支援	見守り支援	書類の作成や手続き支援	食事（調理）の支援	話し相手	その他	特に無い
全体	100.0%	13.6%	4.1%	13.4%	8.2%	15.4%	6.3%	15.7%	13.3%	2.3%	7.7%
負担を大いに感じる	100.0%	13.6%	3.4%	13.3%	6.7%	17.6%	6.4%	17.2%	13.7%	3.5%	4.7%
負担を感じる	100.0%	13.7%	4.2%	14.1%	9.1%	14.8%	6.2%	15.5%	13.2%	2.1%	7.0%
負担は少ない	100.0%	13.3%	4.6%	11.8%	7.8%	13.5%	6.8%	13.9%	13.1%	1.3%	13.9%

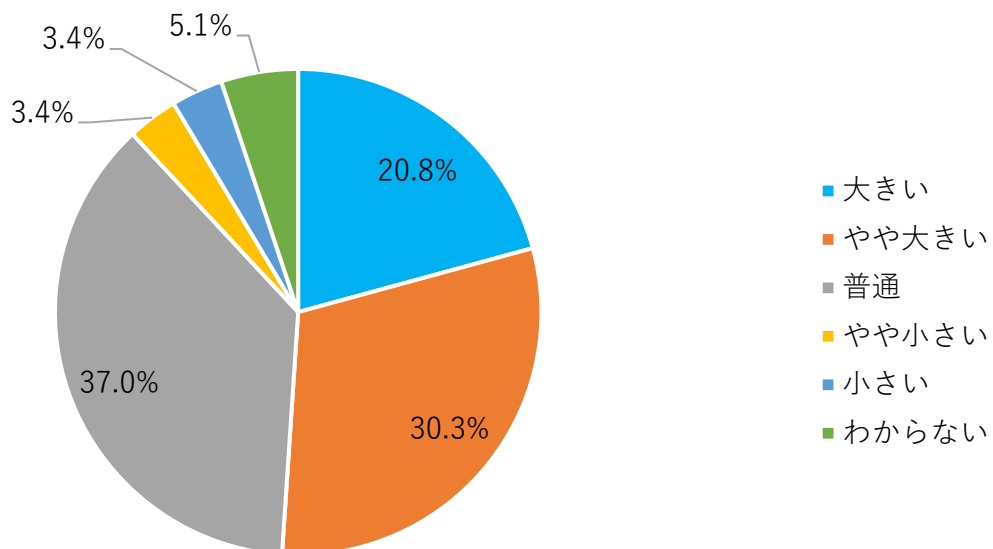


Q32.介護を必要とする家族等が支払っている介護保険料の負担感について、あなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)

介護保険料の負担感は、「やや大きい・大きい」、「普通」、「やや小さい・小さい」の3類型に着目してみると、「やや大きい・大きい」が51.1%、次いで「普通」が37.0%、「やや小さい・小さい」が6.8%であった。

	N	%
大きい	235	20.8%
やや大きい	343	30.3%
普通	419	37.0%
やや小さい	38	3.4%
小さい	39	3.4%
わからない	58	5.1%
合計	1132	100.0%

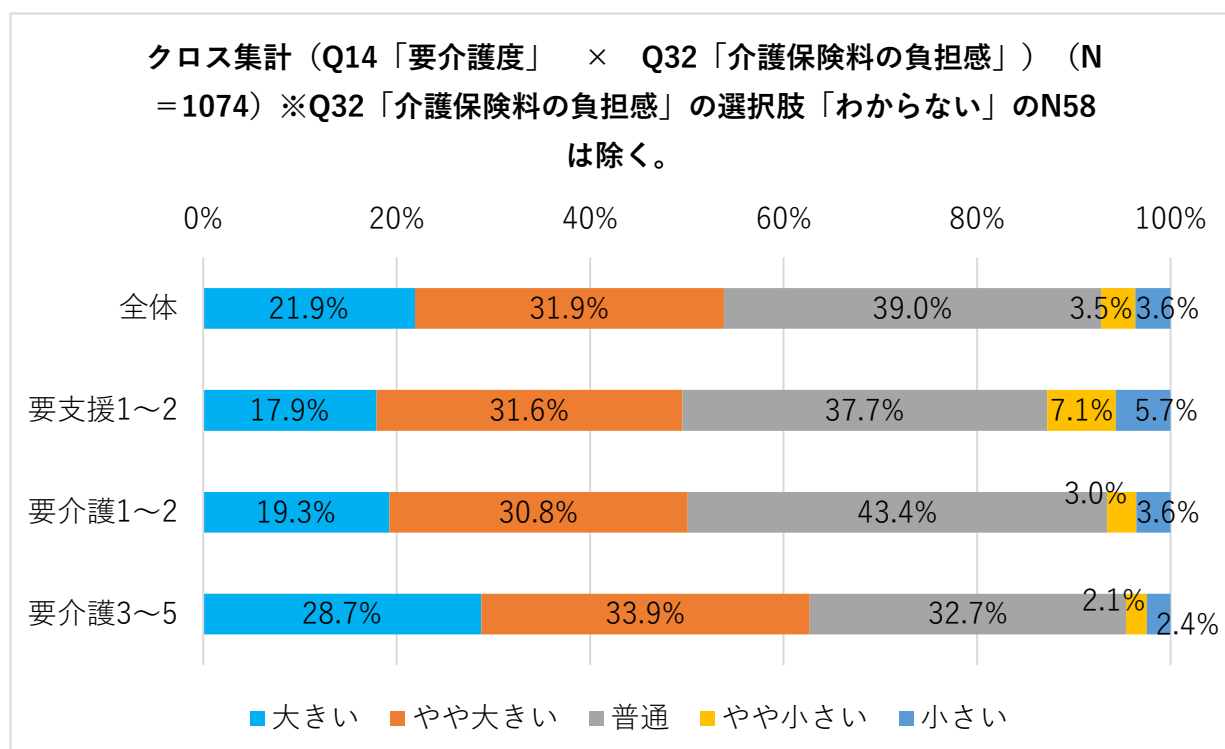
Q32.介護を必要とする家族等が支払っている介護保険料の負担感について、あなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)



クロス集計（Q14「要介護度」 × Q32「介護保険料の負担感」）（N＝1074）※Q32「介護保険料の負担感」の選択肢「わからない」のN58は除く。

介護保険料の負担感を要介護度別でみると、いずれの要介護度においても「やや大きい」「大きい」（要支援1～2：49.5%、要介護1～2：50.1%、要介護3～5：62.6%）の計が約50%以上で占める割合が大きかった。

	全体	大きい	やや大きい	普通	やや小さい	小さい
全体	1074	235	343	419	38	39
	100.0%	21.9%	31.9%	39.0%	3.5%	3.6%
要支援1～2	212	38	67	80	15	12
	100.0%	17.9%	31.6%	37.7%	7.1%	5.7%
要介護1～2	535	103	165	232	16	19
	100.0%	19.3%	30.8%	43.4%	3.0%	3.6%
要介護3～5	327	94	111	107	7	8
	100.0%	28.7%	33.9%	32.7%	2.1%	2.4%

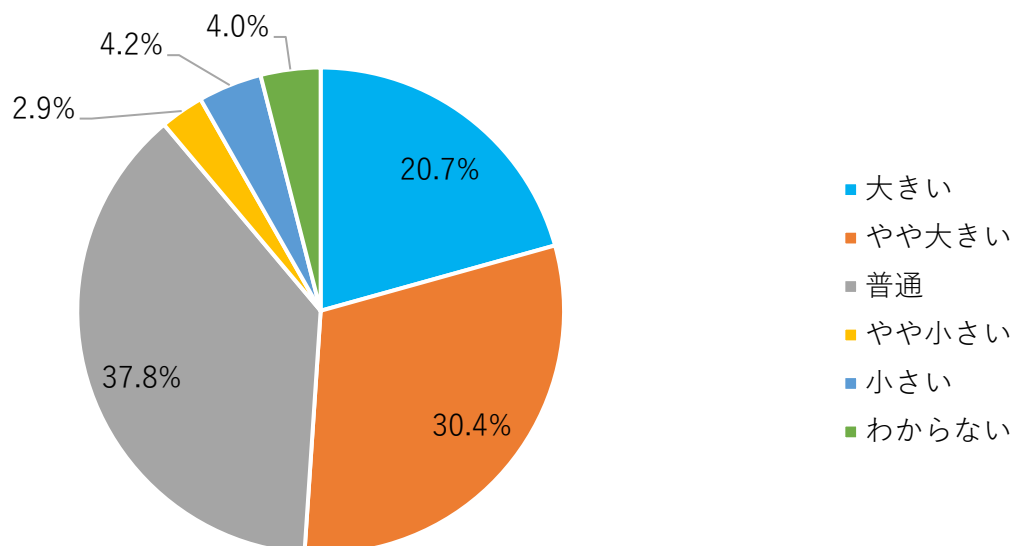


Q33.利用料金の負担感をあなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)

利用料金の負担感は、「やや大きい・大きい」、「普通」、「やや小さい・小さい」の3類型に着目してみると、「やや大きい・大きい」が51.1%、「普通」が37.8%、「やや小さい・小さい」が7.1%であった。

	N	%
大きい	234	20.7%
やや大きい	344	30.4%
普通	428	37.8%
やや小さい	33	2.9%
小さい	48	4.2%
わからない	45	4.0%
合計	1132	100.0%

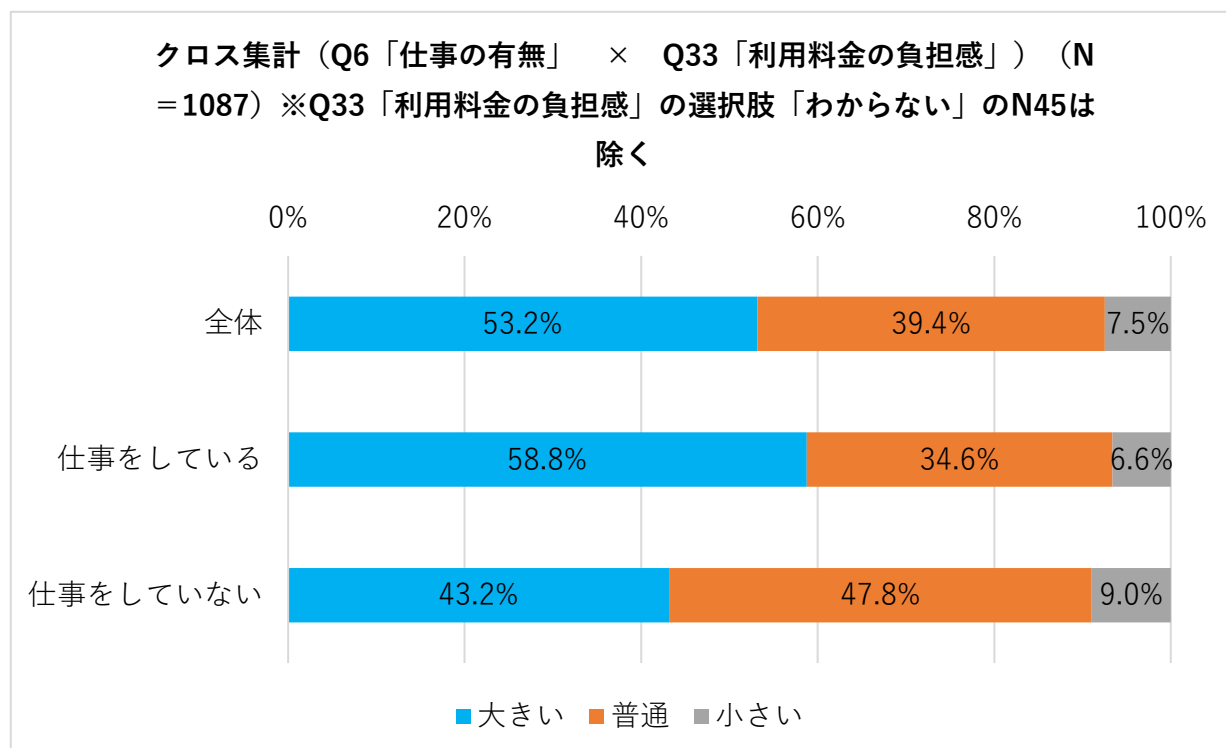
Q33.利用料金の負担感をあなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)



クロス集計（Q6「仕事の有無」 × Q33「利用料金の負担感」）（N＝1087）※Q33「利用料金の負担感」の選択肢「わからない」のN45は除く

利用料金の負担感を仕事の有無別でみると、「仕事をしている」では「大きい」が58.8%、「仕事をしていない」では「普通」が47.8%で占める割合が大きかった。

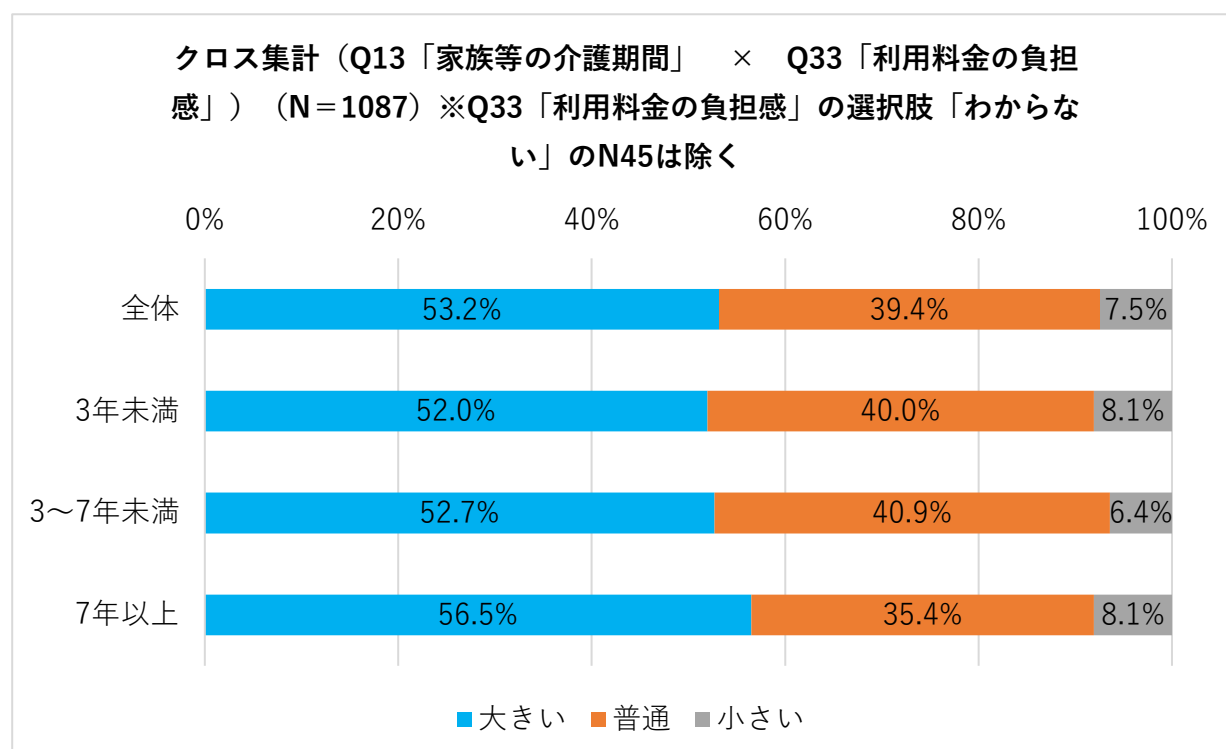
	全体	大きい	普通	小さい
全体	1087	578	428	81
	100.0%	53.2%	39.4%	7.5%
仕事をしている	696	409	241	46
	100.0%	58.8%	34.6%	6.6%
仕事をしていない	391	169	187	35
	100.0%	43.2%	47.8%	9.0%



**クロス集計（Q13「家族等の介護期間」 × Q33「利用料金の負担感」）（N=1087）※
Q33「利用料金の負担感」の選択肢「わからない」のN45は除く**

利用料金の負担感を介護期間別でみると、いずれの介護期間においても「大きい」（3年未満：52.0%、3～7年未満：52.7%、7年以上：56.5%）が50%以上で占める割合が大きかった。

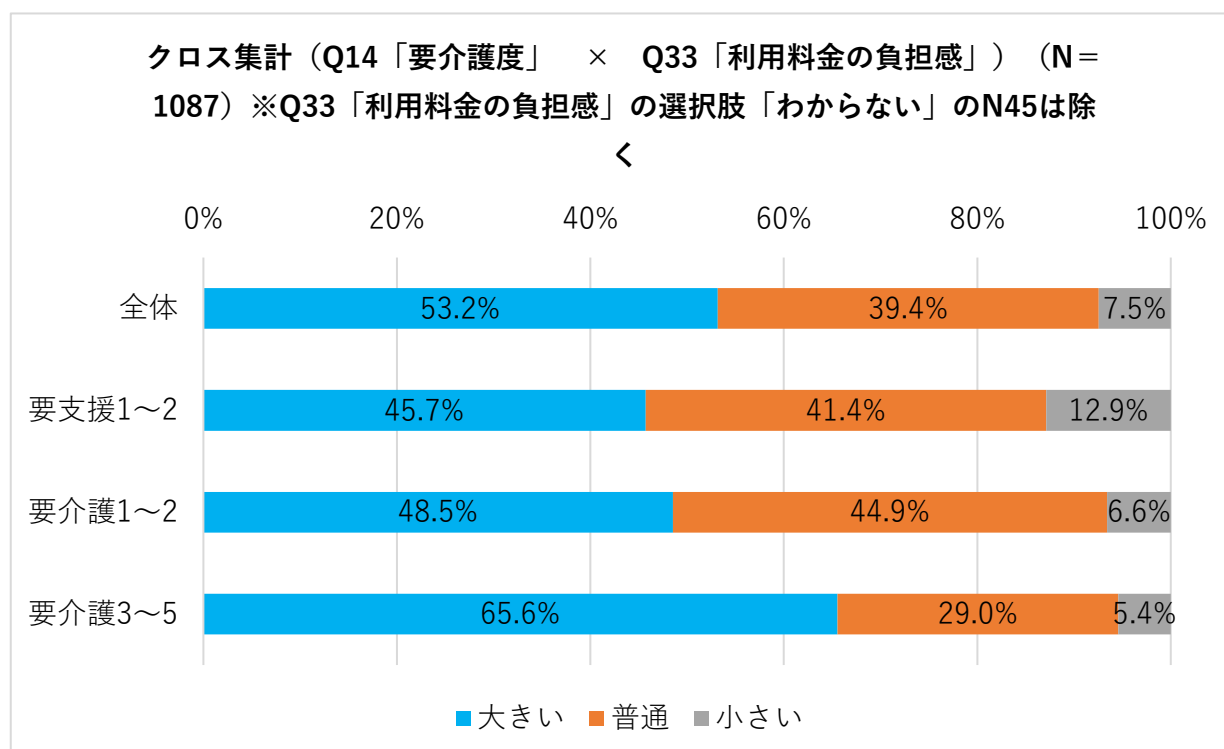
	全体	大きい	普通	小さい
全体	1087	578	428	81
	100.0%	53.2%	39.4%	7.5%
3年未満	458	238	183	37
	100.0%	52.0%	40.0%	8.1%
3～7年未満	406	214	166	26
	100.0%	52.7%	40.9%	6.4%
7年以上	223	126	79	18
	100.0%	56.5%	35.4%	8.1%



クロス集計（Q14「要介護度」 × Q33「利用料金の負担感」）（N=1087）※Q33「利用料金の負担感」の選択肢「わからない」のN45は除く

利用料金の負担感を要介護度別でみると、いずれの要介護度においても「大きい」（要支援1～2：45.7%、要介護1～2：48.5%、要介護3～5：65.6%）が約45%以上で占める割合が大きかった。

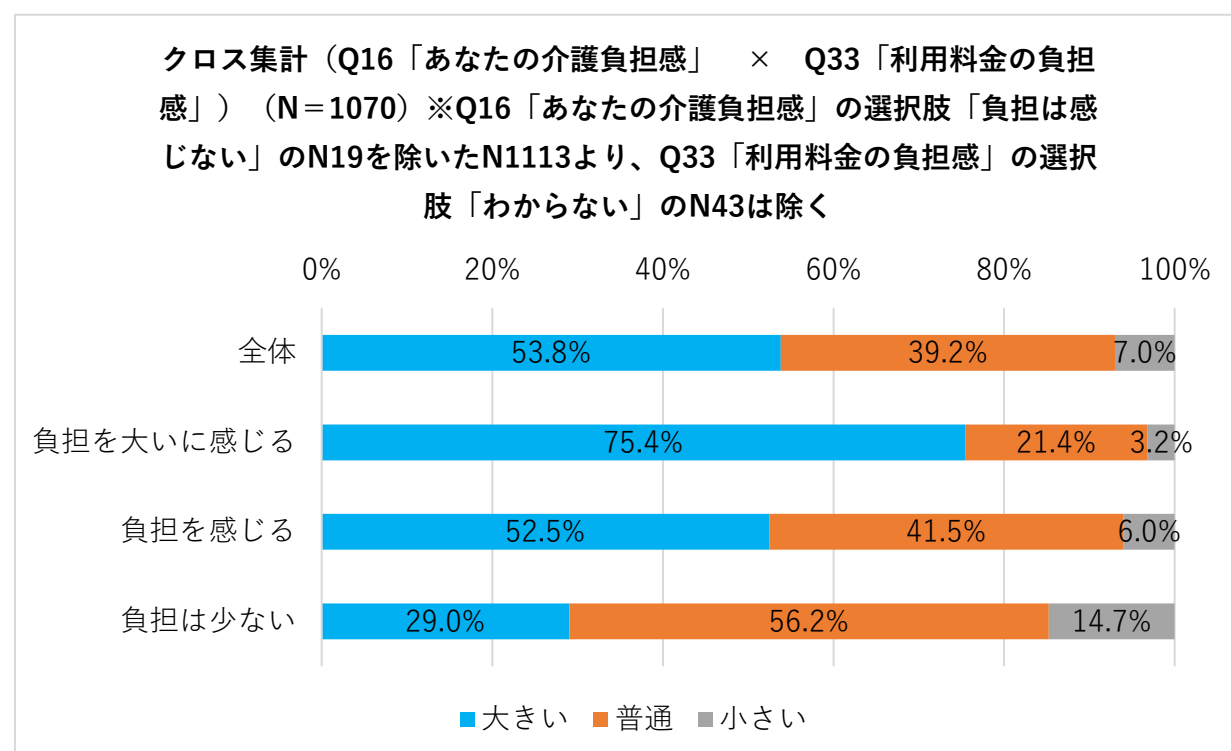
	全体	大きい	普通	小さい
全体	1087	578	428	81
	100.0%	53.2%	39.4%	7.5%
要支援1～2	210	96	87	27
	100.0%	45.7%	41.4%	12.9%
要介護1～2	546	265	245	36
	100.0%	48.5%	44.9%	6.6%
要介護3～5	331	217	96	18
	100.0%	65.6%	29.0%	5.4%



クロス集計（Q16「あなたの介護負担感」 × Q33「利用料金の負担感」）（N＝1070）※
Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19を除いたN1113より、Q33
「利用料金の負担感」の選択肢「わからない」のN43は除く

利用料金の負担感を介護負担感別でみると、「負担を大いに感じる」と「負担を感じる」
では「大きい」が75.4%と52.5%、「負担は少ない」では「普通」が56.2%で占める割合が大
きかった。

	全体	大きい	普通	小さい
全体	1070	576	419	75
	100.0%	53.8%	39.2%	7.0%
負担を大いに感じる	285	215	61	9
	100.0%	75.4%	21.4%	3.2%
負担を感じる	568	298	236	34
	100.0%	52.5%	41.5%	6.0%
負担は少ない	217	63	122	32
	100.0%	29.0%	56.2%	14.7%

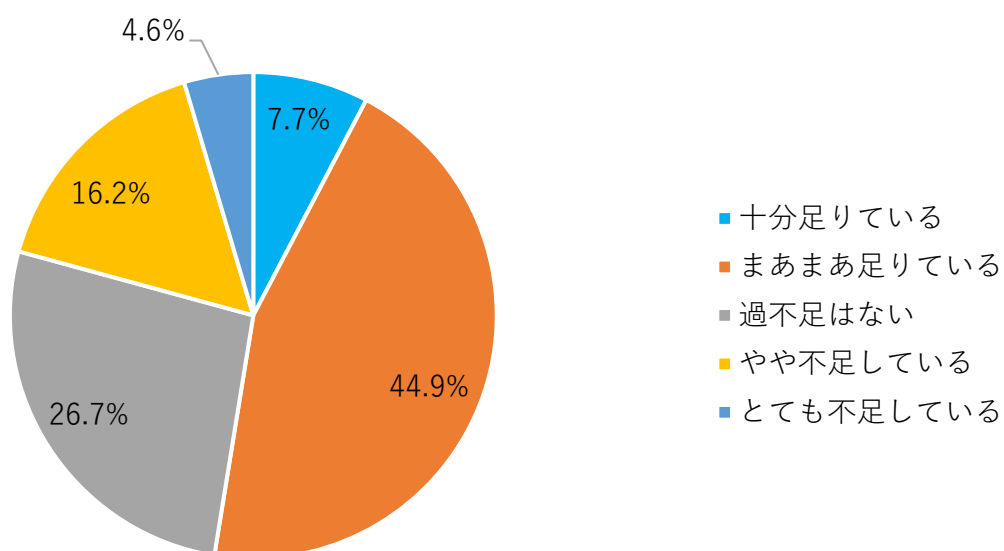


Q34.サービスの充足感をあなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)

サービスの充足感を、「まあまあ足りている・十分足りている」、「過不足はない」、「やや不足している・とても不足している」の3類型に着目してみると、「まあまあ足りている・十分足りている」が52.6%、次いで「過不足はない」が26.7%、「やや不足している・とても不足している」が20.8%であった。

	N	%
十分足りている	87	7.7%
まあまあ足りている	<u>508</u>	<u>44.9%</u>
過不足はない	302	26.7%
やや不足している	183	16.2%
とても不足している	52	4.6%
合計	1132	100.0%

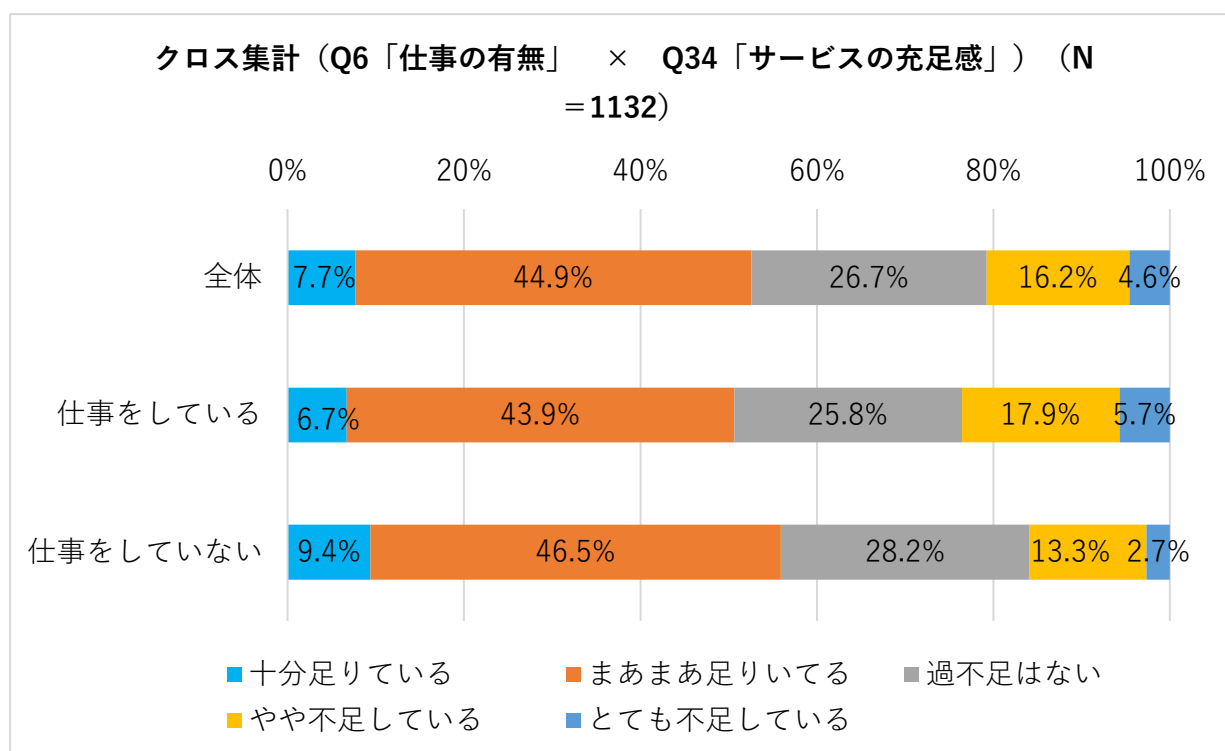
Q34.サービスの充足感をあなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)



クロス集計（Q6「仕事の有無」 × Q34「サービスの充足感」）（N=1132）

サービスの充足感を仕事の有無別でみると、「仕事をしている」「仕事をしていない」共に「まあまあ足りている」「十分足りている」の計が50%以上で占める割合が大きかった。

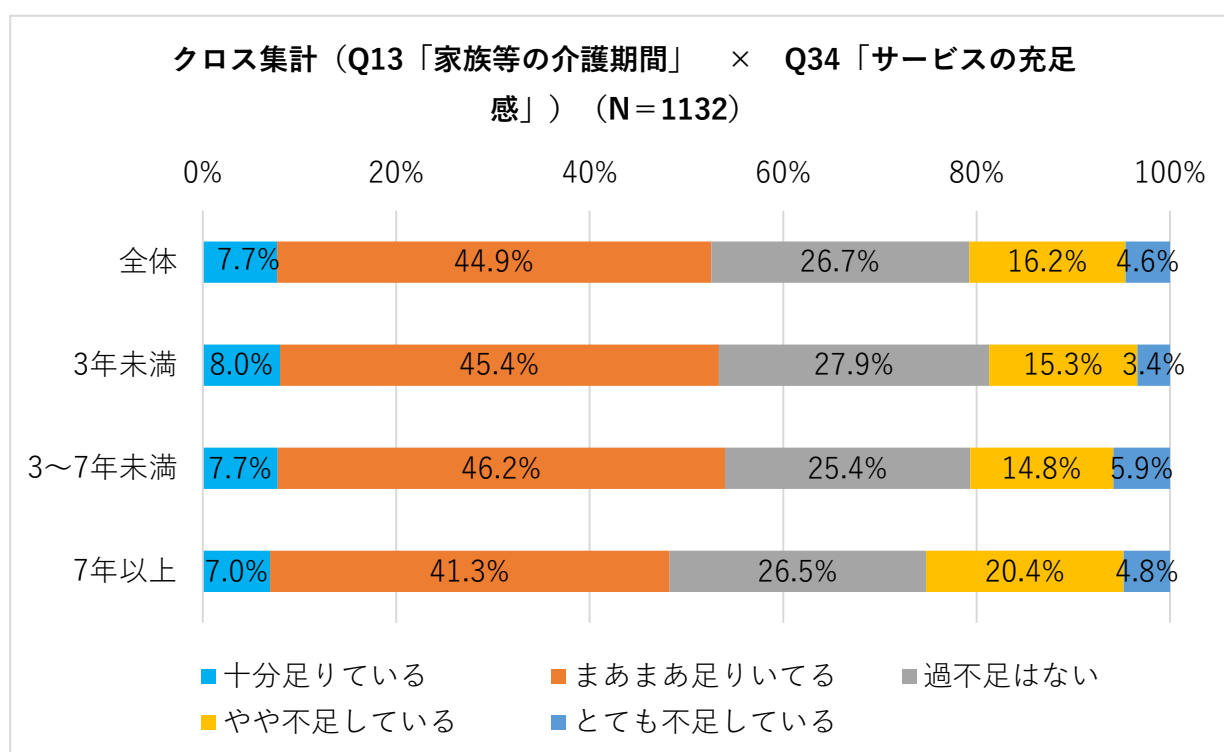
	全体	十分足りている	まあまあ足りている	過不足はない	やや不足している	とても不足している
全体	1132	87	508	302	183	52
	100.0%	7.7%	44.9%	26.7%	16.2%	4.6%
仕事をしている	717	48	315	185	128	41
	100.0%	6.7%	43.9%	25.8%	17.9%	5.7%
仕事をしていない	415	39	193	117	55	11
	100.0%	9.4%	46.5%	28.2%	13.3%	2.7%



クロス集計（Q13「家族等の介護期間」 × Q34「サービスの充足感」）（N=1132）

サービスの充足感を介護期間別でみると、いずれの介護期間においても「まあまあ足りている」「十分足りている」の計が50%前後で占める割合が大きいですが、「やや不足している」「不足している」の計の割合もいずれの介護期間において約15～25%みられた。

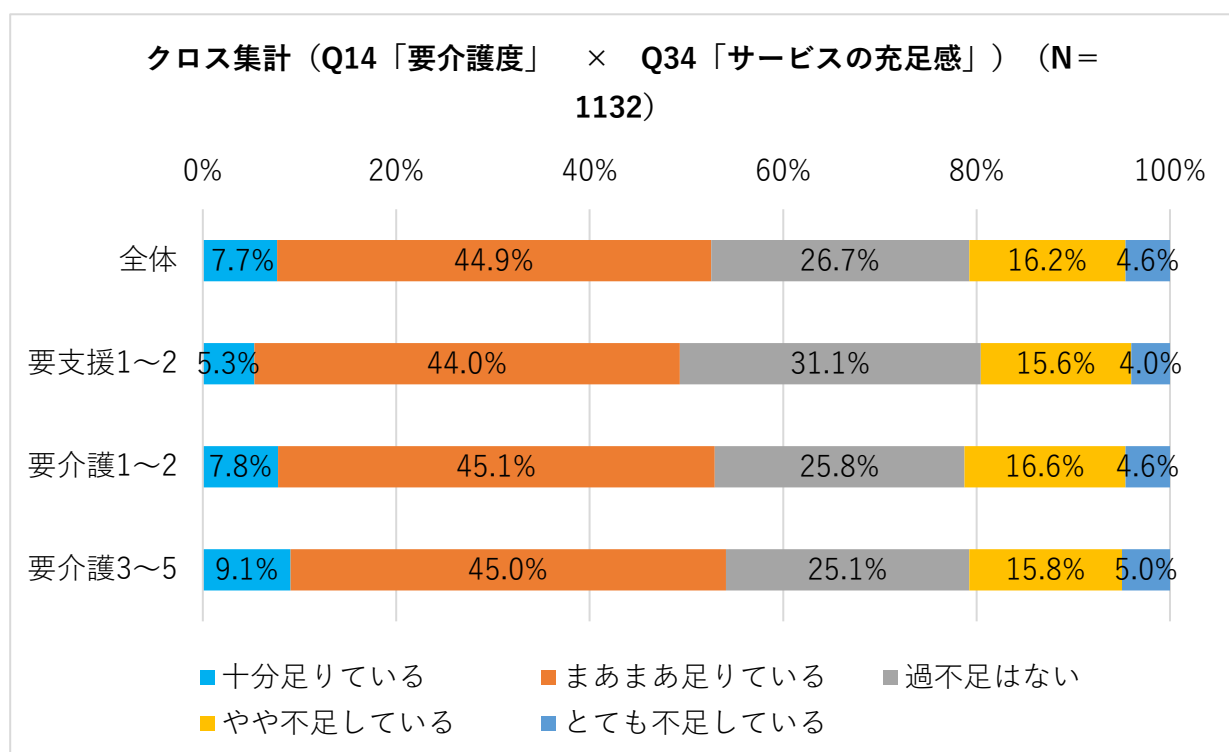
	全体	十分足りている	まあまあ足りている	過不足はない	やや不足している	とても不足している
全体	1132	87	508	302	183	52
	100.0%	7.7%	44.9%	26.7%	16.2%	4.6%
3年未満	476	38	216	133	73	16
	100.0%	8.0%	45.4%	27.9%	15.3%	3.4%
3～7年未満	426	33	197	108	63	25
	100.0%	7.7%	46.2%	25.4%	14.8%	5.9%
7年以上	230	16	95	61	47	11
	100.0%	7.0%	41.3%	26.5%	20.4%	4.8%



クロス集計（Q14「要介護度」 × Q34「サービスの充足感」）（N=1132）

サービスの充足感を被介護者の要介護度別でみると、いずれにおいても「まあまあ足りている」「十分足りている」の計が約50%で占める割合が大きかった。

	全体	十分足りている	まあまあ足りている	過不足はない	やや不足している	とても不足している
全体	1132	87	508	302	183	52
	100.0%	7.7%	44.9%	26.7%	16.2%	4.6%
要支援1～2	225	12	99	70	35	9
	100.0%	5.3%	44.0%	31.1%	15.6%	4.0%
要介護1～2	565	44	255	146	94	26
	100.0%	7.8%	45.1%	25.8%	16.6%	4.6%
要介護3～5	342	31	154	86	54	17
	100.0%	9.1%	45.0%	25.1%	15.8%	5.0%

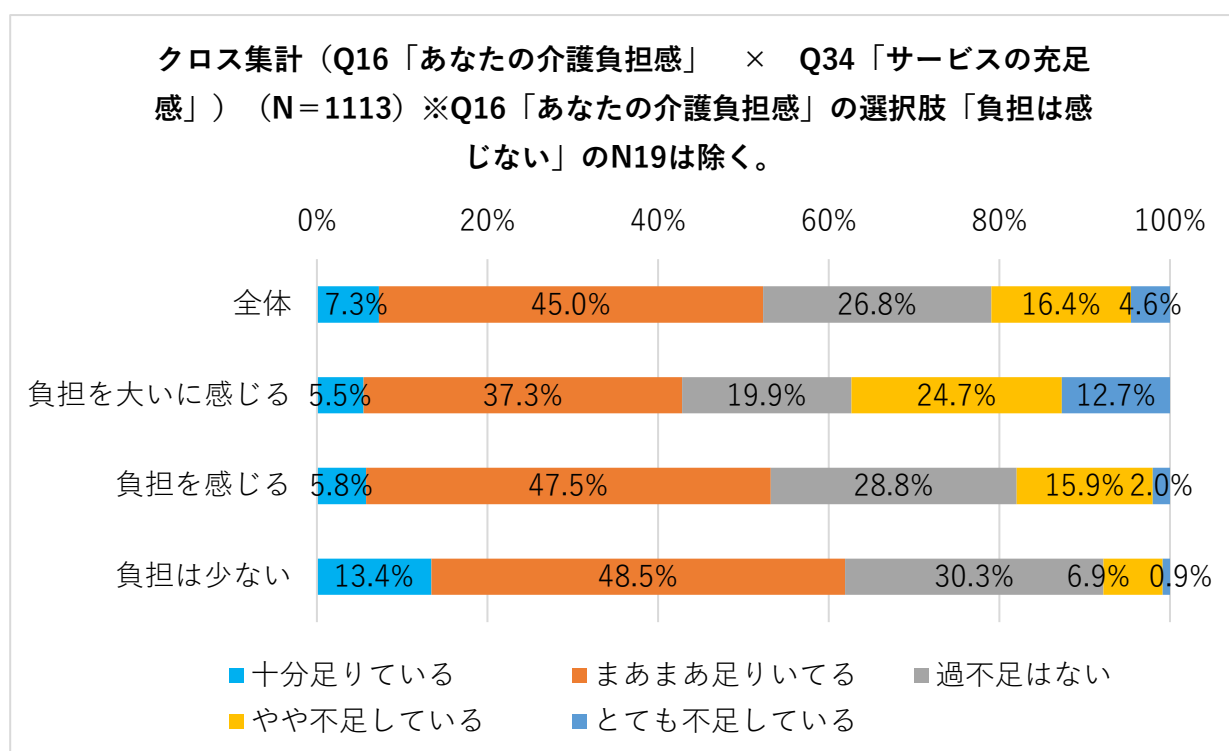


クロス集計（Q16「あなたの介護負担感」 × Q34「サービスの充足感」）（N=1113）※
Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く。

サービスの充足感を介護負担感別でみると、いずれの介護負担感の程度においても「まあまあ足りている」「十分足りている」の計が40%以上で占める割合が大きかった。

なお、「負担を大いに感じる」では「やや不足している」「とても不足している」の計が37.4%みられた。

	全体	十分足りている	まあまあ足りている	過不足はない	やや不足している	とても不足している
全体	1113	81	501	298	182	51
	100.0%	7.3%	45.0%	26.8%	16.4%	4.6%
負担を大いに感じる	292	16	109	58	72	37
	100.0%	5.5%	37.3%	19.9%	24.7%	12.7%
負担を感じる	590	34	280	170	94	12
	100.0%	5.8%	47.5%	28.8%	15.9%	2.0%
負担は少ない	231	31	112	70	16	2
	100.0%	13.4%	48.5%	30.3%	6.9%	0.9%

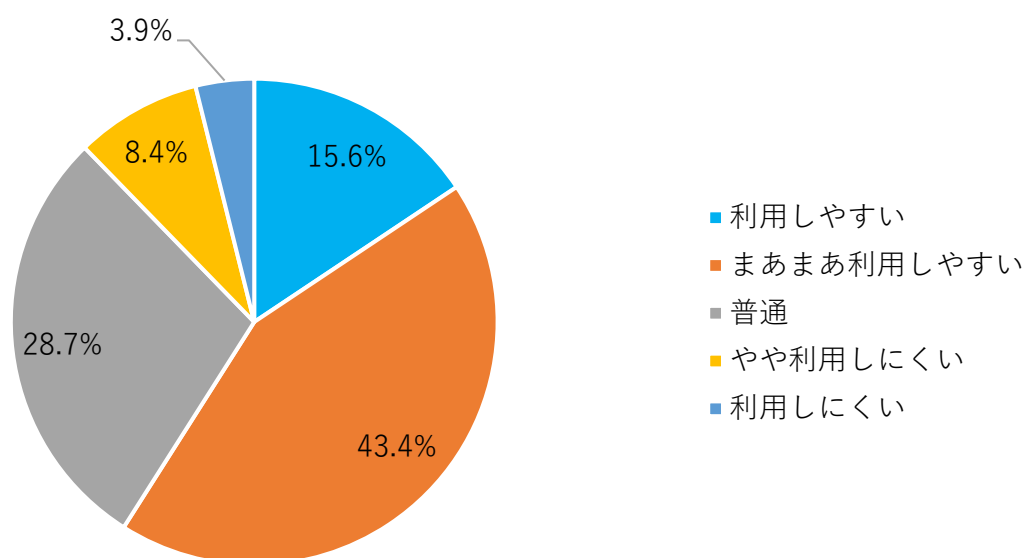


Q35.利用のしやすさをあなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)

利用のしやすさを、「まあまあ利用しやすい・利用しやすい」、「普通」、「やや利用しにくい・利用しにくい」の3類型に着目してみると、「まあまあ利用しやすい・利用しやすい」が59.0%、次いで「普通」が28.7%、「やや利用しにくい・利用しにくい」が12.3%であった。

	N	%
利用しやすい	177	15.6%
まあまあ利用しやすい	491	43.4%
普通	325	28.7%
やや利用しにくい	95	8.4%
利用しにくい	44	3.9%
合計	1132	100.0%

Q35.利用のしやすさをあなたはどのように感じていますか。[SA] (N=1132)

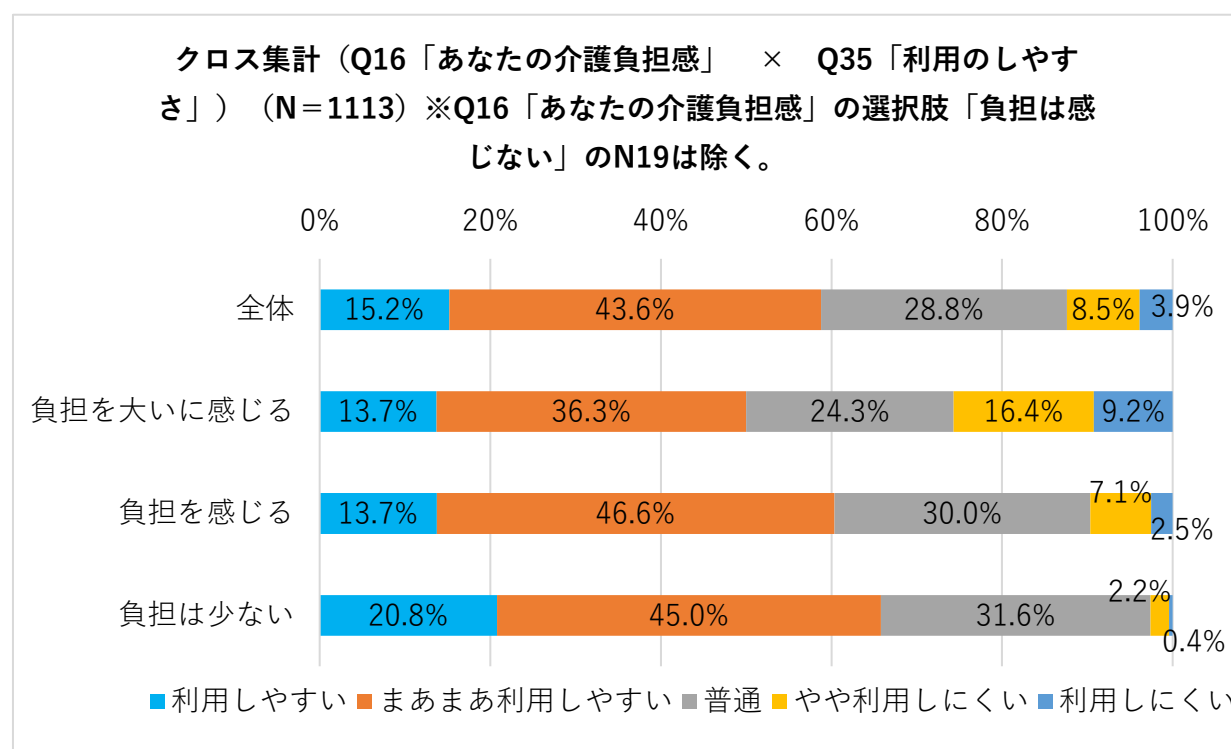


クロス集計（Q16「あなたの介護負担感」 × Q35「利用のしやすさ」）（N=1113）※
Q16「あなたの介護負担感」の選択肢「負担は感じない」のN19は除く。

利用のしやすさを介護負担感別でみると、いずれの介護負担感の程度においても「まあまあ利用しやすい」「利用しやすい」（負担を大いに感じる：50.0%、負担を感じる：60.3%、負担は少ない：65.8%）の計が50%以上で占める割合が大きかった。

なお、「負担を大いに感じる」では「やや利用しにくい」「利用しにくい」の計が25.6%みられた。

	全体	利用しやすい	まあまあ利用しやすい	普通	やや利用しにくい	利用しにくい
全体	1113	169	485	321	95	43
	100.0%	15.2%	43.6%	28.8%	8.5%	3.9%
負担を大いに感じる	292	40	106	71	48	27
	100.0%	13.7%	36.3%	24.3%	16.4%	9.2%
負担を感じる	590	81	275	177	42	15
	100.0%	13.7%	46.6%	30.0%	7.1%	2.5%
負担は少ない	231	48	104	73	5	1
	100.0%	20.8%	45.0%	31.6%	2.2%	0.4%



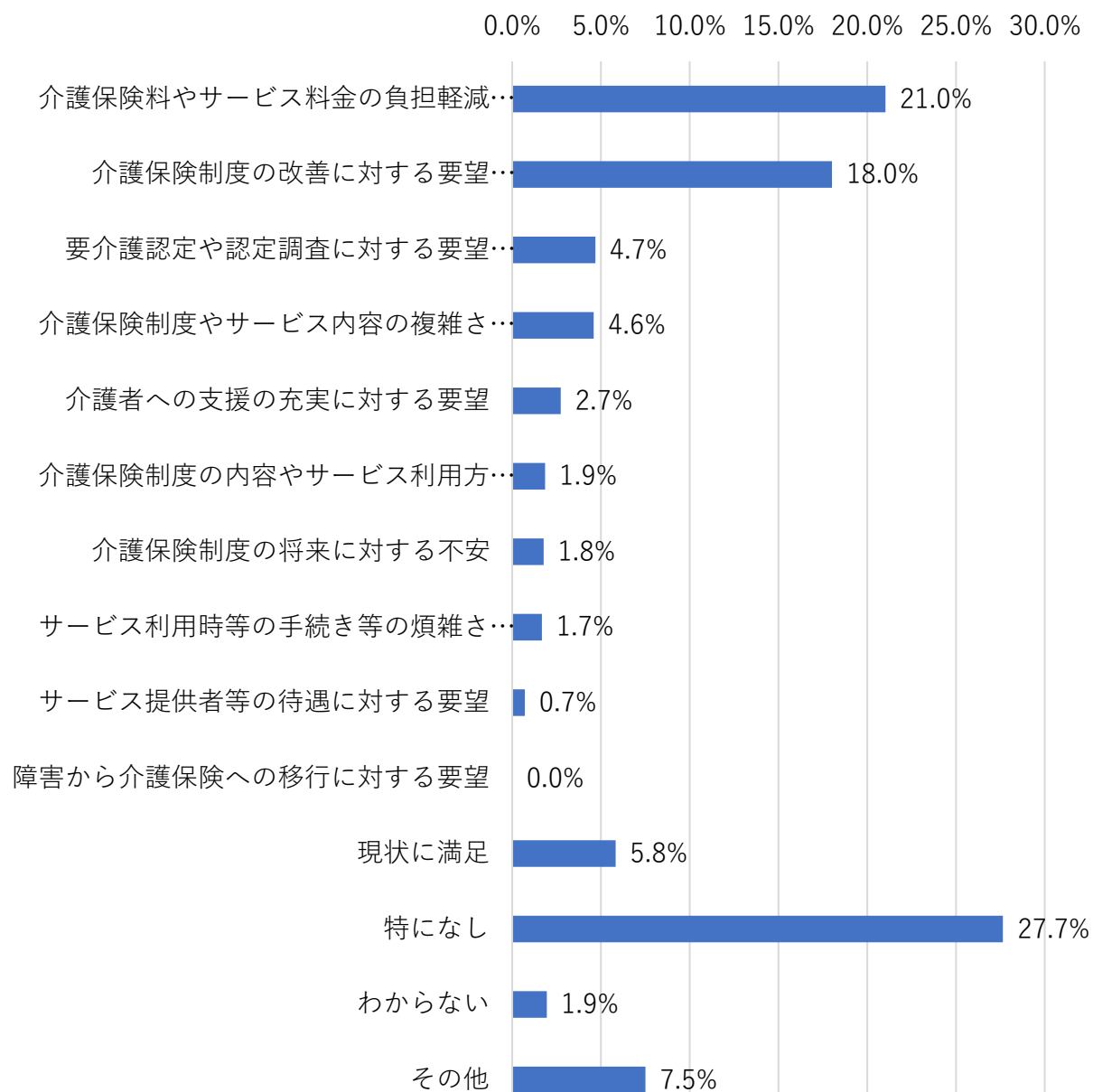
Q36.介護保険制度に対するあなたの要望をお答えください。[FA] (N=1132)

介護保険制度に対する要望（自由記述）を類型化してみると、「介護保険料やサービス料金の負担軽減等に対する要望」が21.0%、次いで「介護保険制度の改善に対する要望（サービス利用時の制度上の制限やサービス提供内容、サービス量・質の充実等含む）」が18.0%、「要介護認定や認定調査に対する要望（認定時間がかかる、認定結果に不満等含む）」が4.7%、「介護保険制度やサービス内容の複雑さ分かりづらさに対する要望」が4.6%であった。

なお、「現状に満足」の回答も5.8%みられた。

	N	%
介護保険料やサービス料金の負担軽減等に対する要望	238	21.0%
介護保険制度の改善に対する要望（サービス利用時の制度上の制限やサービス提供内容、サービス量・質の充実等含む）	204	18.0%
要介護認定や認定調査に対する要望（認定時間がかかる、認定結果に不満等含む）	53	4.7%
介護保険制度やサービス内容の複雑さ分かりづらさに対する要望	52	4.6%
介護者への支援の充実に対する要望	31	2.7%
介護保険制度の内容やサービス利用方法等の情報提供や周知に対する要望	21	1.9%
介護保険制度の将来に対する不安	20	1.8%
サービス利用時等の手続き等の煩雑さに対する要望	19	1.7%
サービス提供者等の待遇に対する要望	8	0.7%
障害から介護保険への移行に対する要望	0	0.0%
現状に満足	66	5.8%
特になし	313	27.7%
わからない	22	1.9%
その他	85	7.5%
合計	1132	100.0%

Q36.介護保険制度に対するあなたの要望をお答えください。[FA] (N=1132)



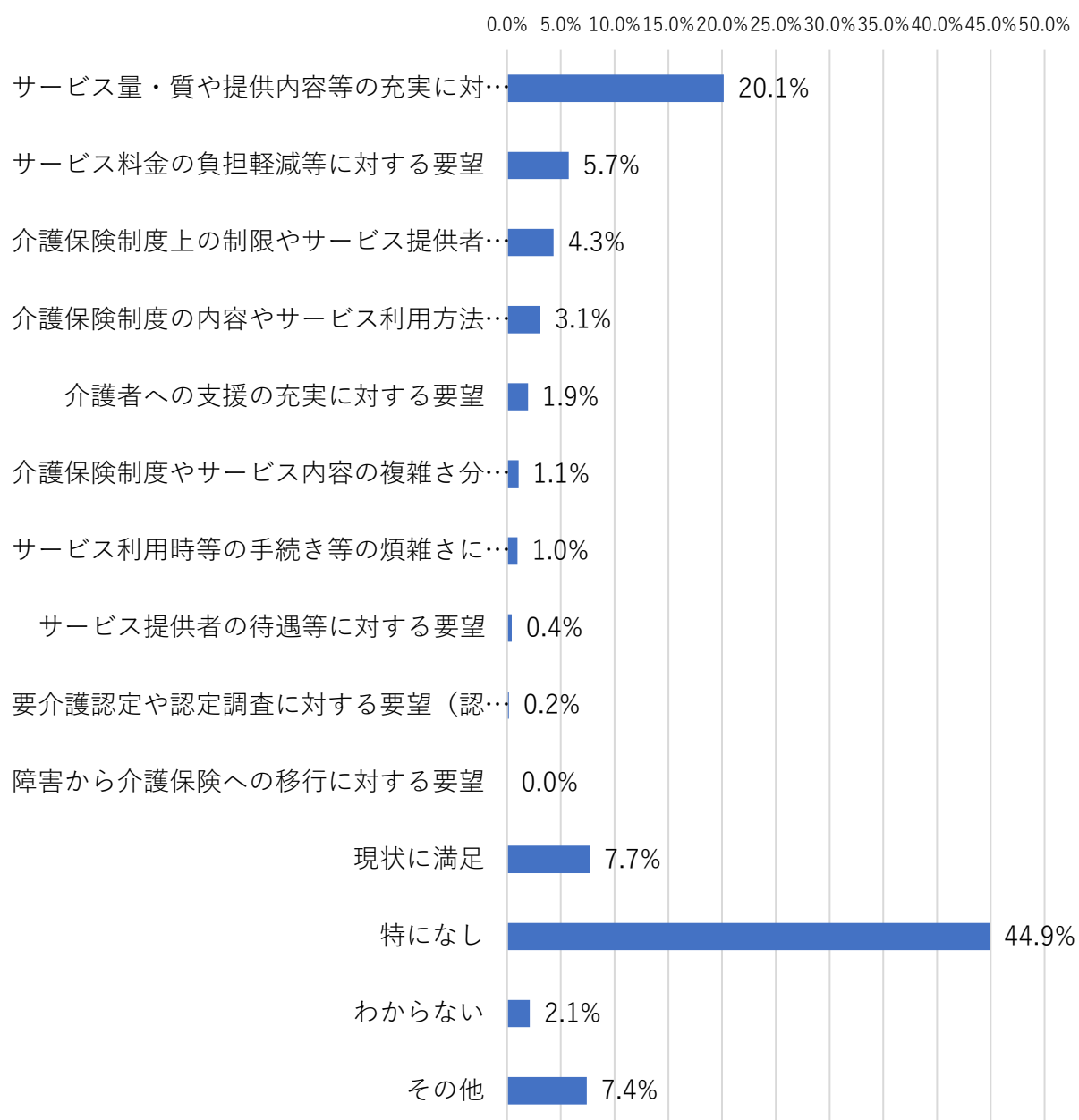
Q37.居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）に対するあなたの要望をお答えください。[FA]（N=1132）

居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）に対する要望（自由記述）を類型化してみると、「サービス量・質や提供内容等の充実に対する要望（利用時間や回数を増やしてほしい、新たなサービスがほしい等）」が20.1%、次いで「サービス料金の負担軽減等に対する要望」が5.7%、「介護保険制度上の制限やサービス提供者側の制限等に対する要望」が4.3%、「介護保険制度の内容やサービス利用方法等の情報提供や周知、説明に対する要望」が3.1%であった。

なお、「現状に満足」の回答も7.7%みられた。

	N	%
サービス量・質や提供内容等の充実に対する要望（利用時間や回数を増やしてほしい、新たなサービスがほしい等）	228	20.1%
サービス料金の負担軽減等に対する要望	65	5.7%
介護保険制度上の制限やサービス提供者側の制限等に対する要望	49	4.3%
介護保険制度の内容やサービス利用方法等の情報提供や周知、説明に対する要望	35	3.1%
介護者への支援の充実に対する要望	22	1.9%
介護保険制度やサービス内容の複雑さ分かりづらさに対する要望	12	1.1%
サービス利用時等の手続き等の煩雑さに対する要望	11	1.0%
サービス提供者の待遇等に対する要望	5	0.4%
要介護認定や認定調査に対する要望（認定時間がかかる、認定結果に不満等含む）	2	0.2%
障害から介護保険への移行に対する要望	0	0.0%
現状に満足	87	7.7%
特になし	508	44.9%
わからない	24	2.1%
その他	84	7.4%
合計	1132	100.0%

Q37.居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）に対するあなたの要望をお答えください。[FA]（N＝1132）



(3) 調査票

Q	設問内容	回答形式	選択肢等
1	この調査の説明を読んだ上で、調査に協力しますか。	S A	はい いいえ

※1 令和5年9月1日時点のあなた自身に関する情報をご回答ください。

Q	設問内容	回答形式	選択肢等
2	あなたの年齢についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
3	あなたの性別についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	男性 女性 無回答
4	あなたは主介護者として何人の介護を担っていますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】 ※ここでいう「介護」とは、要介護（要支援）認定を受けている家族等に対する介護のことをいう。	S A	1人 2人 3人 4人 5人以上
5	あなたには何人の介護協力者がいますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】 ※介護協力者には医療・介護専門職は含みません。	S A	1人 2人 3人 4人 5人以上 介護協力者はいない
6	あなたは現在仕事をしていますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	仕事をしている 仕事はしていない

7	Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。雇用形態についてお答えください。 ※「契約社員」とは雇用期間が定められている者、「嘱託社員」とは定年退職者等一定期間再雇用する目的で雇用される者、「パートタイム労働者」とは、正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない者をいいます。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	正社員 正社員以外（契約社員） 正社員以外（嘱託社員） 正社員以外（パートタイム労働者） その他
8	Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。介護を契機として、あなたの仕事に変化はありましたか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	育児・介護休業法に規定されている、仕事と介護の両立支援制度を活用することにより仕事を継続した 仕事と介護の両立が可能な仕事に転職した 転職はしなかったが、仕事の負担を減らしてもらった 変化は無し その他（ ）
9	Q6で「仕事をしている」と回答した方に伺います。現在勤務する職場において、「仕事と介護の両立」のために、会社独自の制度があればお答えください。 【任意/直接入力】	FA	
10	介護を契機として、仕事以外であなたの生活にはどのような影響がありましたか。 【必須/直接入力】	FA	

※1 令和5年9月1日時点のあなたが介護を行っている家族等に関する情報をご回答ください。

※2 ここでいう「介護を必要とする家族等」とは、要介護（要支援）認定を受けている方のことです。

※3 複数人を介護をしている場合は、もっとも介護期間の長いお一人に関する情報をご回答ください。

Q	設問内容	回答形式	選択肢等
11	あなたから見た介護を必要とする家族等との続柄についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	親 義理の親 配偶者 子 子の配偶者 親族（親・義理の親・配偶者・子・子の配偶者を除く） 友人・知人 近所の人 その他（ ）
12	介護を必要とする家族等の年齢についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	40代 50代 60代 70代 80代 90代 100歳以上
13	介護を必要とする家族等の介護期間についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	1年未満 1年～3年未満 3年～5年未満 5年～7年未満 7年以上
14	介護を必要とする家族等の現在の要介護度についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

15	介護を必要とする家族等とあなたの居住関係についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	同居 別居（往復1時間未満） 別居（往復2時間未満） 別居（往復2時間以上）
16	介護を必要とする家族等の介護について、あなたの負担感はどの程度ですか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	負担を大いに感じる 負担を感じる 負担は少ない 負担は感じない
17	介護を必要とする家族等の介護について、あなたの1週間の平均的な介護の頻度をお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	ほぼ毎日 週に3～5日程度 週に1～2日程度 週に1日未満

※1 令和5年9月1日時点で、介護保険制度や家族等が利用している居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）について、あなたが感じていることをご回答ください。

※2 ここでいう「介護を必要とする家族等」とは、要介護（要支援）認定を受けている方のことです。

Q	設問内容	回答形式	選択肢等
18	あなたは地域包括支援センターをご存じですか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	知っている 知らない
19	あなたは「地域包括支援センター」または「役所」に、介護に関する相談を行ったことはありますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	ある ない
20	Q19で「ある」と回答した方に伺います。相談時の満足度をお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	満足 ほぼ満足 やや不満 不満

21	Q20で「やや不満」「不満」と回答した理由はなんですか。最大3つまでお答えください。 【必須/該当するものを最大3つ選択】	LA	説明が分かりづらかった 長い時間待たされた 何度も足を運ばされた 言葉遣いや態度が悪かった 身だしなみが悪かった 親身になって話を聞いてもらえていないと思えなかった その他（ ）
22	介護を必要とする家族等が、はじめて要介護認定申請を行った時の理由についてお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	老化等による日常生活の不安から 老化等により日常生活に支援が必要になったから 親族等との死別 親族等の転勤等による別居 疾患による入院 慢性疾患等の進行 かかりつけ医等から勧められたから その他（ ） わからない
23	介護を必要とする家族等が、はじめて要介護認定申請を行おうと思った際に、最初に相談をした人または機関をお答えください。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	親 義理の親 配偶者 子 子の配偶者 親族（親・義理の親・配偶者・子・子の配偶者を除く） 友人・知人 近所の人 民生委員 ケアマネジャー 地域包括支援センター 役所 その他（ ） わからない

24	介護を必要とする家族等を担当している現在のケアマネジャーについて、あなたの満足度をお答えください。【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	満足
			ほぼ満足
			やや不満
			不満
25	Q24で「やや不満」「不満」と回答した理由を最大3つまでお答えください。【必須/該当するものを最大3つ選択】	LA	説明が分かりづらい
			言葉遣いや態度が悪い
			希望に沿った対応をしてくれない
			相談したい時につかまらない
			求めている情報を提供してくれない
			一方的で話を聞いてもらえない
			相談しても対応が遅い
26	現在、介護を必要とする家族等が利用している居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の種類について、すべてお答えください。【必須/該当するものをすべて選択】	MA	その他（ ）
			訪問介護（地域支援事業含む）
			訪問入浴介護（介護予防サービス含む）
			訪問看護（介護予防サービス含む）
			訪問リハビリテーション（介護予防サービス含む）
			居宅療養管理指導（介護予防サービス含む）
			通所介護（地域支援事業含む）
			通所リハビリテーション（介護予防サービス含む）
			短期入所生活介護（介護予防サービス含む）
			短期入所療養介護（介護予防サービス含む）
			福祉用具貸与（介護予防サービス含む）
			特定福祉用具販売（介護予防サービス含む）

27	現在、介護を必要とする家族等が利用したいと思っても利用できなかった、もっと利用してほしかったと思った居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）はありますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	ある ない
28	Q27で「ある」と回答した方に伺います。利用に至らなかった理由を最大3つまでお答えください。 【必須/該当するもの最大3つまで選択】	LA	金銭的理由 地域に事業所がなかった 本人がサービスを拒否した 利用したい時間に使えないから ケアプランにサービスを組み入れてもらえなかったから 保険者の意向 その他（ ）
29	あなたは介護を必要とする家族等に、今後どこで生活を送ってもらいたいですか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	今いる自宅で最期まで生活を送ってほしい ケアハウスや高齢者住宅などで生活を送ってほしい 特別養護老人ホームなどの施設で生活を送ってほしい わからない
30	介護を必要とする家族等の居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の選択について、主たる意思決定者はどなたですか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	介護を必要とする本人 回答者本人 医療・介護専門職 その他（ ）
31	介護を必要とする家族等に、在宅生活を継続するうえで日常的に受けてもらいたいと、あなたが思う支援を、現在利用されている介護保険サービスも含め、最大3つまでお答えください。 【必須/該当するものを最大3つまで選択】	LA	洗濯や家の掃除の支援 ゴミ出し支援 移動支援 買い物支援 見守り支援 書類の作成や手続き支援 食事（調理）の支援 話し相手 その他（ ） 特に無い

32	介護を必要とする家族等が支払っている介護保険料の負担感について、あなたはどのように感じていますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	大きい やや大きい 普通 やや小さい 小さい わからない
※Q33～35は、介護を必要とする家族等が、現在、もっとも利用している居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）について、お答えください。			
33	利用料金の負担感をあなたはどのように感じていますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	大きい やや大きい 普通 やや小さい 小さい わからない
34	サービスの充足感をあなたはどのように感じていますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	十分足りている まあまあ足りている 過不足はない やや不足している とても不足している
35	利用のしやすさをあなたはどのように感じていますか。 【必須/該当するものをひとつ選択】	S A	利用しやすい まあまあ利用しやすい 普通 やや利用しにくい 利用しにくい
36	介護保険制度に対するあなたの要望をお答えください。 【必須/直接入力】	FA	
37	居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）に対するあなたの要望をお答えください。 【必須/直接入力】	FA	

「介護保険制度における居宅サービス（介護予防サービス、地域支援事業含む）の利用者および利用者の家族等に対する実態調査」

（家族等調査）

とりまとめ報告書

令和6（2024）年3月発行

発行 一般財団法人 長寿社会開発センター

〒105-8446 東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル6階

TEL：03-5470-6751 FAX：03-5470-6762

不許複製